
LP-S820

リファレンスガイド

第 1 章	Mac OS X での使い方	25
第 2 章	NetWare での使い方	102
第 3 章	イーサネット設定メニューについて	110
第 4 章	ネットワーク印刷	123
第 5 章	EpsonNet Config の使い方	157

マークの意味

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。



使い方のヒントや注意していただきたいことを記載しています。

掲載画面

- ・ 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。Apple、AppleTalk、Mac、Macintosh、Mac OS、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- ・ 本書の内容は将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- ・ 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

ソフトウェア使用許諾契約書	9
1 Mac OS X での使い方	25
プリンタードライバーの動作環境	26
プリンタードライバーのインストール	27
プリンタードライバーのインストール	27
プリンタードライバーのアンインストール	28
Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合	28
Mac OS X 10.5/10.6 の場合	29
プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.3.9)	30
USB 接続の場合	30
ネットワーク接続の場合	31
AppleTalk 設定	32
Rendezvous 設定	33
IP プリント設定	35
プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.4)	39
USB 接続の場合	39
ネットワーク接続の場合	41
Bonjour 設定	41
AppleTalk 設定	43
IP プリント設定	45
プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.5/10.6)	49
USB 接続の場合	49
ネットワーク接続の場合	52
Bonjour 設定	52
AppleTalk 設定	55
IP プリント設定	57
オプションの設定	62
Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合	62

Mac OS X 10.5/10.6 の場合	63
ページ設定画面の設定	66
Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合	66
ページ属性メニュー	67
カスタム用紙サイズの設定	68
プリント画面の設定 (Mac OS X 10.4)	70
プリント設定のメニュー	70
共通のボタン	71
印刷部数と印刷ページメニュー	72
レイアウトメニュー	73
スケジューラメニュー	74
用紙処理メニュー	75
ColorSync メニュー	76
表紙メニュー	76
エラー処理メニュー	77
給紙メニュー	77
カラーオプションメニュー	78
カラー詳細設定 / イメージ	79
カラー詳細設定 / テキスト	80
カラー詳細設定 / グラフィックス	81
カラー詳細設定 / シミュレーション	82
プリンタの機能メニュー	83
サプライのレベルメニュー	83
一覧メニュー	84
プリント画面の設定 (Mac OS X 10.5/10.6)	85
プリント設定のメニュー	85
共通のボタン	86
レイアウトメニュー	87
カラー・マッチング	88
用紙処理メニュー	89
給紙メニュー	90
表紙メニュー	91
スケジューラメニュー	92
カラーオプションメニュー	93
カラー詳細設定 / イメージ	94
カラー詳細設定 / テキスト	95
カラー詳細設定 / グラフィックス	96
カラー詳細設定 / シミュレーション	97
プリンタの機能メニュー	98
サプライレベルのメニュー	98
一覧メニュー	99
トラブルシューティング	100
2 NetWare での使い方	102
NetWare による利用	103
NetWare 環境でのネットワーク印刷方法	103

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの リモートプリンタモードの場合	103
NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでの プリントサーバモードの場合	104
NetWare 4.x リモートプリンタモード (NDS) の場合	105
NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード (NDS) の場合	106
NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合	107
NetWare サーバを使用するときのクライアント (Windows) の設定	108
3 イーサネット設定メニューについて	110
イーサネットメニュー	111
設定メニューの構成	111
イーサネットメニューの表示	113
イーサネットメニューの設定項目	113
TCP/IP	114
NETWARE	121
APPLETALK	121
SPEED/DUPLEX	122
IEEE802.1X	122
4 ネットワーク印刷	123
ネットワーク接続	124
概念図	124
接続方法	125
イーサネット接続の場合	125
DHCP を使用する場合	125
アドレスを手動設定する場合	126
ネットワーク印刷	130
ネットワーク印刷に関する用語	130
AppleTalk	130
Bonjour	130
BOOTP	131
DDNS (Dynamic DNS)	131
DHCP	131
FTP	131
HTTP	131
IEEE802.1x	132
IPP	132
IPsec	132
IPv6	132
IPX/SPX	132
LLMNR	132
LLTD	132
LPD/LPR	133
SLP	133
ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト	133

SMTP	133
SNMP	134
Port 9100	134
WSD プリント	134
IPP (Internet Printing Protocol) 印刷	135
Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 をお使いの場合	135
インストーラからの IPP ポートの追加	135
[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows XP/Server 2003 の場合)	138
[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合)	140
Web サービスプリント	142
Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 をお使いの場合	142
ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる (Windows 7/Server 2008 R2 の場合)	143
ネットワークウィンドウからプリンターを追加 (Windows Vista/Server 2008 の場合)	144
プリンターの追加ウィザードでプリンターを追加する	147
サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応	152
追加ドライバーのインストール方法	152
トラブルシューティング	156
5 EpsonNet Config の使い方	157
EpsonNet Config について	158
表示言語	158
動作環境	159
プリンター内蔵 Web ページの設定	160
プリンター名の設定	160
Web ブラウザの設定	160
Internet Explorer (Windows 版バージョン 6.0)	161
Mozilla Firefox (Mac OS X 10.0 バージョン 3.5)	162
EpsonNet Config ウィンドウについて	163
操作方法	163
ステータス表示	164
ログインの方法	165
ログイン画面	165
言語設定	165
パブリックユーザーモード	165
レジスタユーザーモード	165
ユーザー認証モード	165
部門認証モード	166
管理者モード	167
プリンターのステータスの表示	168
システム画面	168
デバイス情報	168
カウンタ	173

オンラインヘルプ	173
ユーザー認証	174
ジョブ画面	175
処理中ジョブリスト	175
処理済ジョブリスト	176
処理済ジョブリスト (詳細)	176
プリント画面	177
デフォルト設定	177
フォント/フォーム	183
レポート印刷	184
ダイレクトプリント	184
プリンターの設定	186
システム画面	186
デバイス情報	186
カウンタ	191
オンラインヘルプ	191
インポート/エクスポート	192
認証	193
日付/時刻	198
管理者パスワード	199
マシン設定	200
ROM バージョン	202
メンテナンス	203
状態通知設定	204
ジョブ画面	206
処理中ジョブリスト	206
処理済ジョブリスト	207
処理済ジョブリスト (詳細)	207
プリント画面	208
ローカルインターフェース	208
デフォルト設定	208
フォント/フォームのダウンロード	222
ネットワーク画面	225
TCP/IP	225
Bonjour	237
WSD	238
LLTD	239
NetWare	239
IPP	242
FTP	244
SNMP	245
AppleTalk	248
電子メール	249
SSL/TLS	250
SSL/TLS 情報	250
SSL/TLS 設定 (証明書がインストールされていない場合)	250

SSL/TLS 設定（証明書がインストールされている場合）	251
自己作成証明書の設定	251
証明書の要求	253
証明書の要求	254
証明書のインストール	254
暗号化の強度の設定	255
証明書の破棄	255
SSL/TLS で通信するモード	256
認証	256
CA 証明書	260

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはセイコーエプソン株式会社（以下、「エプソン」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをエプソンにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するとき限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンスシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限りです。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべてエプソン及びそのライセンスに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべてのソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. エプソンおよびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。エプソン及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第三者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. **Notice to Government End Users**（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）**The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.**
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

本製品には、第三者より作成された以下のソフトウェアコンポーネントが搭載されております（以下、当該ソフトウェアコンポーネントを作成した第三者を、作成者といいます）。これらのソフトウェアコンポーネントには、一部セイコーエプソン株式会社またはその業務委託先による改変部分が含まれております。

ソフトウェアコンポーネント

- (1) Open SSL
- (2) Open SLP
- (3) Bonjour

これらのソフトウェアコンポーネントについて、作成者は、明示または黙示を問わず、いかなる保証（商品性、特定の目的に対する適合性、第三者の権利を侵害しない旨の保証を含みますがそれらに限定されません。）もいたしません。また、作成者は、これらのソフトウェアコンポーネントの使用に関連して発生する直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、逸失利益などの派生的損害を含め、一切の損害について責任を負担いたしません。これら

のソフトウェアコンポーネントの使用許諾条件は、それぞれ以下のとおりです。

(1) Open SSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact* openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

(2) OpenSLP License

Copyright (C) 2000 Caldera Systems, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Caldera Systems nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE CALDERA SYSTEMS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(3) Bonjour

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

“License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

“Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

“Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

“You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for

inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

- b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

► APPENDIX: How to apply the Apache License to your work

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included

on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

NetSNMP License

Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like)

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD)

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2003-2004, Sparta, Inc All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD)

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;

OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Kerberos

Copyright (C) 1985-2005 by the Massachusetts Institute of Technology. All rights reserved.

permission notice

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

THIS SOFTWARE IS NOT ORIGINAL MIT SOFTWARE, MODIFIED BY SEIKO EPSON CORPORATION.,

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> and contributors

All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

**Mac OS X での
使い方**

1

プリンタードライバーの動作環境

プリンタードライバーのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピューター	以下の CPU を搭載した Apple Macintosh : - PowerPC G3 以上 (PowerPC G4 以上を推奨) - Intel プロセッサ
コンピューターとプリンターの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続 (10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T)
オペレーティングシステム	Mac OS X (10.3.9 ~ 10.6.x) (最新のパッチの適用を推奨)
メモリ	OS が推奨する以上 (128 MB 以上を推奨)
ハードディスク空き容量	256 MB 以上 (イメージ展開用)
対応言語	日本語、英語

💡 最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをごらんください。

アドレス : <http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

プリンタードライバーのインストール

- 💡 プリンタードライバーのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 💡 プリンタードライバーのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

プリンタードライバーのインストール

- 1 ソフトウェアディスク を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。
- 2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、[LP-S820Mac] フォルダをダブルクリックし、お使いの OS バージョンのフォルダ内のパッケージファイルをダブルクリックします。
- 3 この後は画面の指示に従ってインストールを進めます。
最後に [閉じる] をクリックしてインストールを終了します。

続いて、以下のページに進んでください。

Mac OS X10.3.9 の場合：「プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.3.9)」(p.30)

Mac OS X10.4 の場合：「プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.4)」(p.39)

Mac OS X10.5/10.6 の場合：「プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.5/10.6)」(p.49)

プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合

- 1 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [ユーティリティ] から [プリンタ設定ユーティリティ] 画面を開きます。
- 2 削除するプリンター名を選択し、[削除] をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
- 3 [プリンタ設定ユーティリティ] 画面を閉じます。
- 4 インストールした [Macintosh HD] の [ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] - [ja.lproj] 内の以下のファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [EPSON LP-S820 PS.gz]
- 5 [ライブラリ] - [Printers] 内の不要なファイルを削除します。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Products] - [LP-S820] - [PDEs] 内の [EPSON LP-S820 PS.plugin] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Products] - [LP-S820] - [filter] 内の [pstoLP-S820PS] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Products] - [LP-S820] - [Icons] 内の [fileExistLPS820.icns] と [EPSON LP-S820 PS.icns] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
 - [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Products] - [LP-S820] - [Profiles] 内の [LP-S820PS.icc] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
- 6 [ライブラリ] - [Receipts] 内の [LP-S820 OSX Installer_103104.pkg] をゴミ箱へドラッグします。
- 7 コンピューターを再起動します。
これでプリンタードライバーの削除は完了です。

Mac OS X 10.5/10.6 の場合

- 1 [アップルメニュー] の [システム環境設定 ...] を開きます。
- 2 [プリントとファクス] をクリックします。
- 3 削除するプリンター名を選択し、[-] をクリックします。
- 4 確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
- 5 [プリントとファクス] 画面を閉じます。
- 6 インストールした [Macintosh HD] の [ライブラリ] - [Printers] - [PPDs] - [Contents] - [Resources] 内の [EPSON LP-S820 PS.gz] ファイルを [ゴミ箱] へドラッグします。
- 7 [ライブラリ] - [Printers] - [EPSON] - [Products] 内の [LP-S820] フォルダーを [ゴミ箱] へドラッグします。
- 8 Mac OS X 10.5 の場合は [ライブラリ] - [Receipts] 内の [LP-S820 OSX Installer_105.pkg] ファイルをゴミ箱へドラッグします。
- 9 コンピューターを再起動します。
これでプリンタードライバーの削除は完了です。

プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.3.9)

USB 接続の場合

- 1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。
- 2 プリンターの電源がオンになっていることを確認し、コンピューターを再起動します。
- 3 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 4 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 5 ポップアップリストから [USB] を選択します。

- 6 プリンタブラウザ画面の「製品」リストから、[LP-S820] を選択します。



💡 [LP-S820] が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

- 7 「プリンタの機種」ポップアップリストで [EPSON] が選択されていることを確認します。

- 8 「追加」をクリックします。
「プリンタリスト」画面に新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」(p.62) を参照してください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、AppleTalk 設定と Rendezvous 設定、IP プリント設定 (IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定) があります。

AppleTalk 設定

- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 4 ポップアップリストから、[AppleTalk] を選択します。
- 5 [名前] リストから、[LP-S820-xxxxxx] を選択します。
💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



- 6 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

- 7 [機種名] リストで [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が選択されていることを確認します。



- 8 [追加] をクリックします。
[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は、「オプションの設定」(p.62) を参照してください。

Rendezvous 設定

- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。

- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



- 4 ポップアップリストから、[Rendezvous] を選択します。

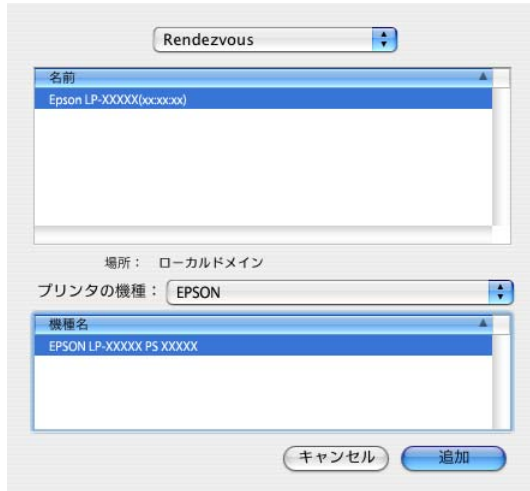
- 5 [名前] リストから、[Epson LP-S820(xx:xx:xx)] を選択します。

💡 xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



- 6 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

- 7 [機種名] リストで [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が選択されていることを確認します。



- 8 [追加] をクリックします。
[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。



💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」(p.62) を参照してください。

IP プリント設定

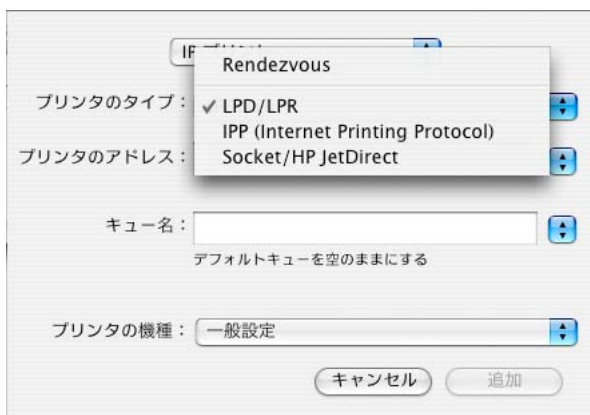
- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。

3 プリンタリスト画面で [追加] をクリックします。



4 ポップアップリストから、[IP プリント] 選択します。

5 [プロトコル] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。



💡 IPP 設定の場合、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。

💡 LPD 設定の場合、[LPD/LPR] を選択します。

💡 ポート 9100 設定の場合、[Socket/HP Jet Direct] を選択します。

- 6 [プリンタのアドレス] ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。

IP プリント

プリンタのタイプ: LPD/LPR

プリンタのアドレス: 192.168.1.2
完全で正しいアドレスです。

キュー名:
デフォルトキューを空のままにする

プリンタの機種: 一般設定

キャンセル 追加

- 7 [プリンタの機種] ポップアップリストで、[EPSON] が選択されていることを確認します。

- 8 [機種名] リストで [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が選択されていることを確認します。

IP プリント

プリンタのタイプ: LPD/LPR

プリンタのアドレス: 192.168.1.2
完全で正しいアドレスです。

キュー名:
デフォルトキューを空のままにする

プリンタの機種: EPSON

機種名
EPSON LP-XXXXX PS XXXXX

キャンセル 追加

9 [追加] をクリックします。

[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。

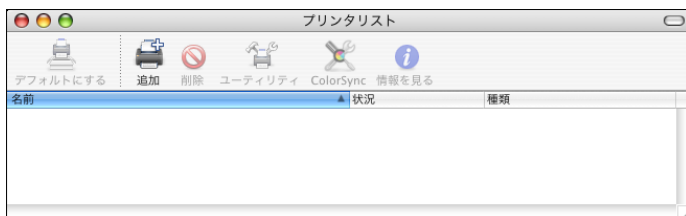


💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は、「オプションの設定」(p.62) を参照してください。

プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.4)

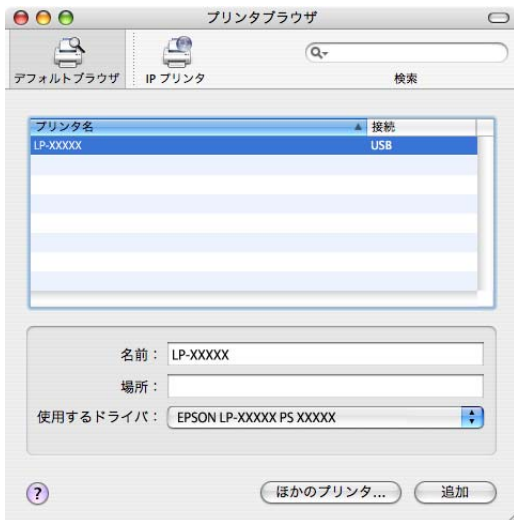
USB 接続の場合

- 1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



[プリンタブラウザ] 画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

- 4 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから、[LP-S820] を選択します。

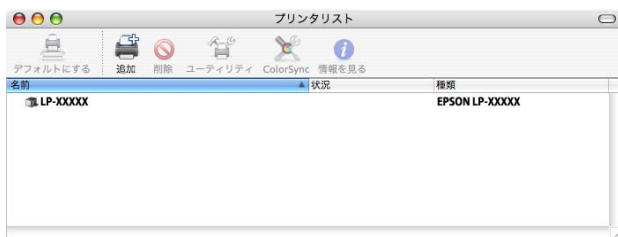


💡 [LP-S820] が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

- 5 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[使用するドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

- 6 [追加] をクリックします。

[プリンタリスト] 画面に新しいプリンターが表示されます。



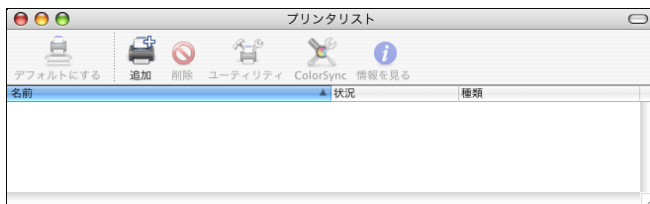
💡 オプションを装着している場合は、オプションの設定を行う必要があります。詳細は「オプションの設定」(p.62) を参照してください。

ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と AppleTalk 設定、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

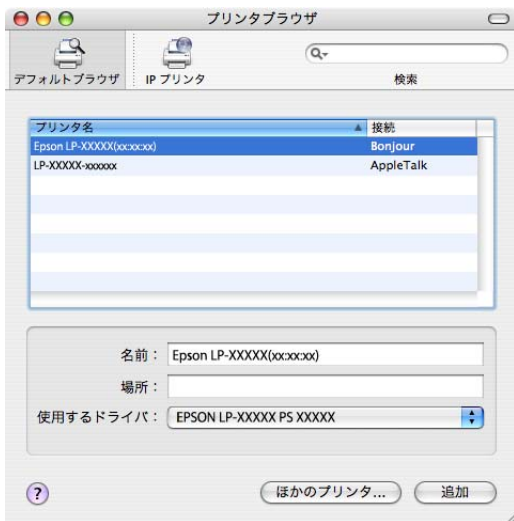
- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



[プリンタブラウザ] 画面に、自動検出されたプリンターが表示されます。

- 4 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから、[Epson LP-S820(xx:xx:xx)] を選択します。

💡 xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



- 5 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が選択されていることを確認します。
- 6 [追加] をクリックします。

7 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。

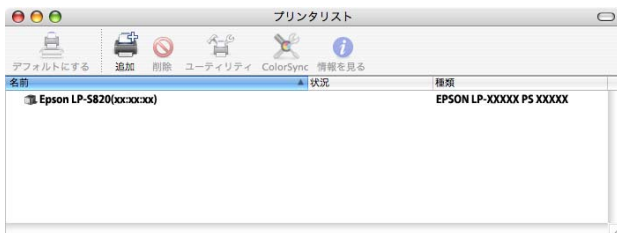


💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や **Readme**、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

8 [続ける] をクリックします。

[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。

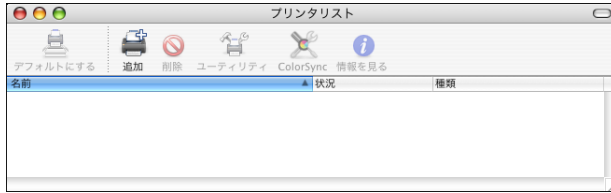


AppleTalk 設定

1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。

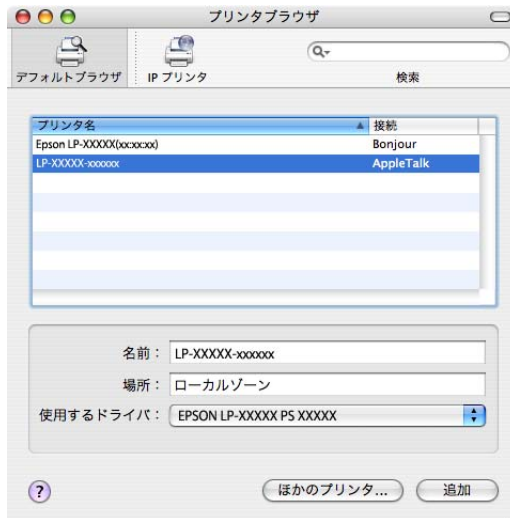
3 [プリンタリスト] 画面で、[追加] をクリックします。



[プリンタブラウザ] 画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

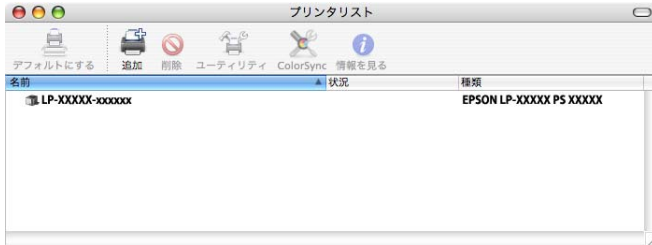
4 [プリンタブラウザ] 画面の [プリンタ名] リストから、[LP-S820-xxxxxx] を選択します。

 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



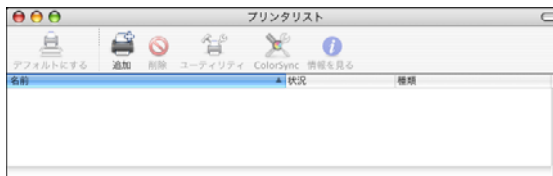
5 [使用するドライバ] ポップアップリストで [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が選択されていることを確認します。

- 6 [追加] をクリックします。
[プリンタリスト] 画面に、新しいプリンターが表示されます。

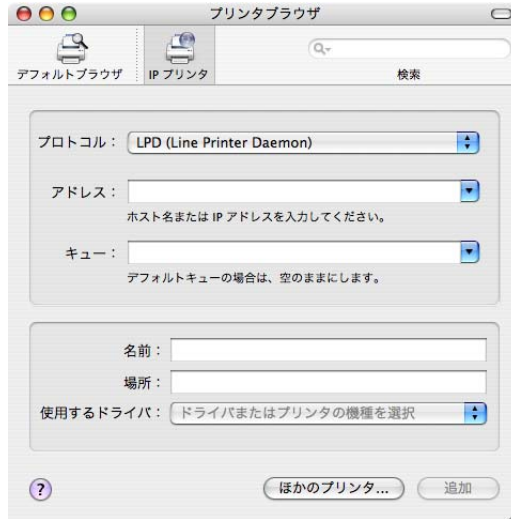


IP プリント設定

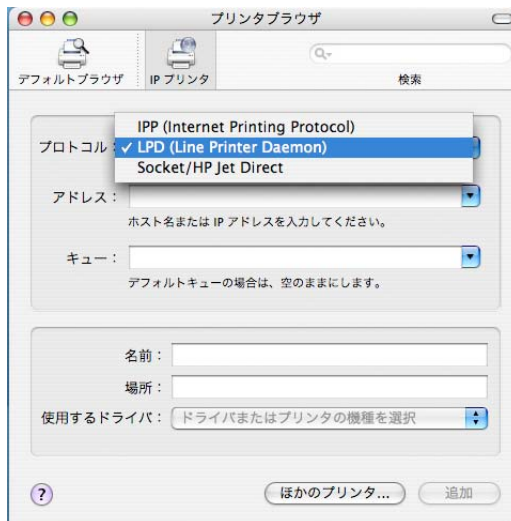
- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 3 [プリンタリスト] 画面で [追加] をクリックします。



4 [IP プリンタ] をクリックします。



5 [プロトコル] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

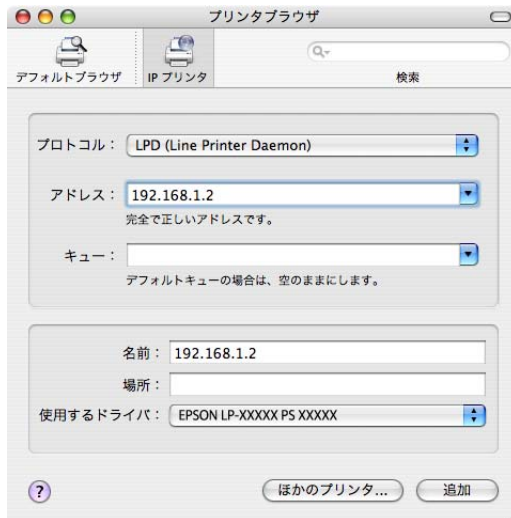


💡 IPP 設定の場合、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。

💡 LPD 設定の場合、[LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。

💡 ポート 9100 設定の場合、[Socket/HP Jet Direct] を選択します。

6 [アドレス] ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。



💡 IPP 設定の場合、[キュー] テキストボックスに [ipp] と入力します。

7 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[使用するドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

8 [追加] をクリックします。

9 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。

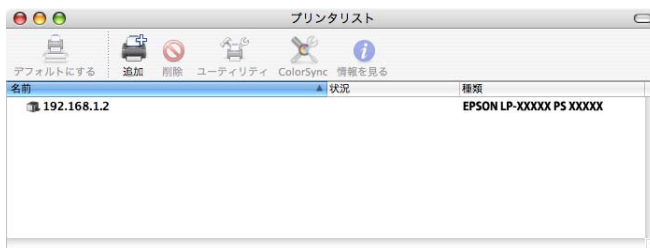


💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

10 [続ける] をクリックします。

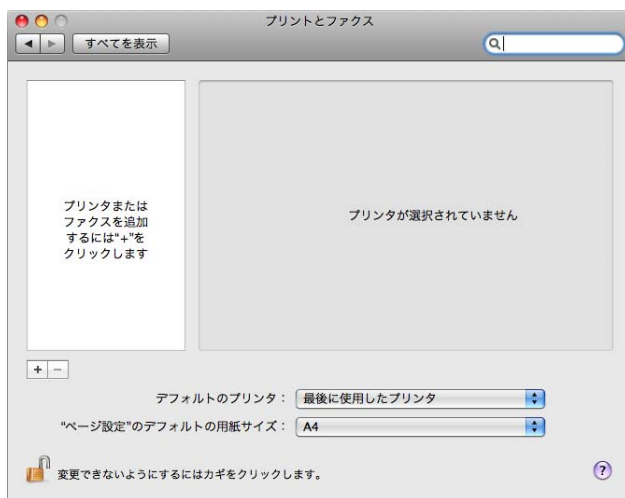
[プリンタリスト] 画面に新しいプリンターが表示されます。



プリンタ設定ユーティリティ (Mac OS X 10.5/10.6)

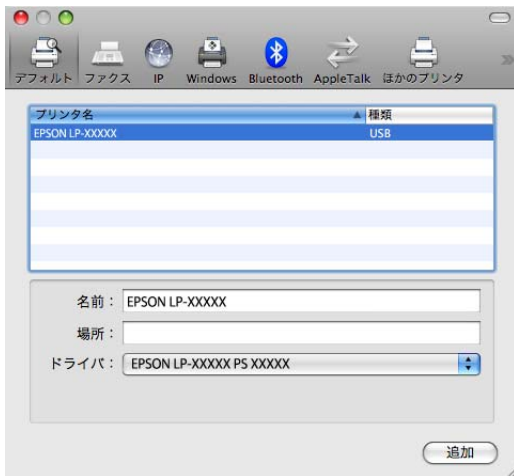
USB 接続の場合

- 1 USB ケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。
- 2 アップルメニューから [システム環境設定] を開きます。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。
- 4 [プリントとファクス] 画面で、[+] をクリックします。



プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンターが表示されません。

5 [プリンタ名] リストから、[EPSON LP-S820] を選択します。

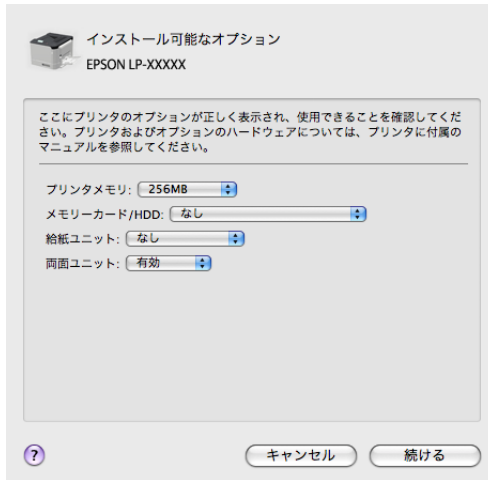


💡 [EPSON LP-S820] が表示されないときは、プリンターの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピューターを再起動してください。

6 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[ドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 [追加] をクリックします。

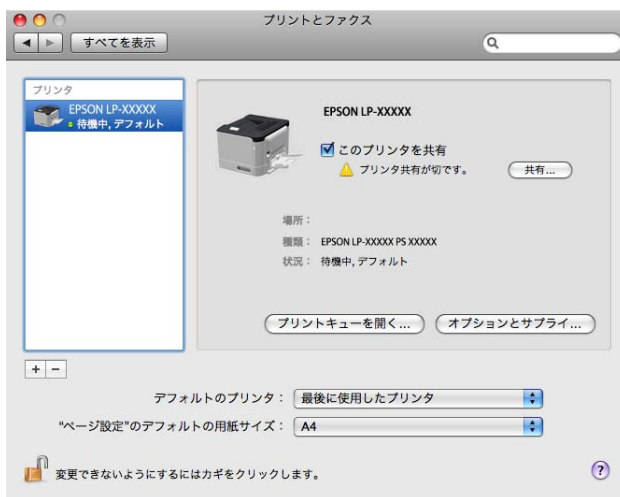
8 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット]を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

9 [続ける] をクリックします。 [プリントとファクス] 画面に新しいプリンターが表示されます。



ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と AppleTalk 設定、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューから [システム環境設定] を開きます。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。
- 4 プリントとファクス画面で、[+] をクリックします。



プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンターが表示されません。

5 [プリンタ名] リストから、[Epson LP-S820(xx:xx:xx)] を選択します。

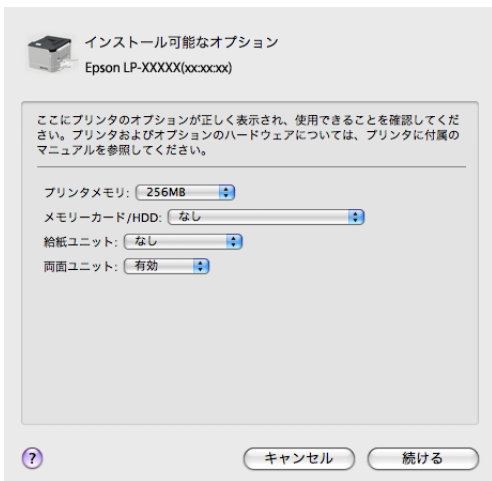
💡 xx:xx:xx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



6 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[ドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 [追加] をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット]を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

9 [続ける] をクリックします。

[プリンタとファクス] 画面に、新しいプリンターが表示されます。



AppleTalk 設定

💡 Mac OS X 10.6 は AppleTalk 接続に対応していません。

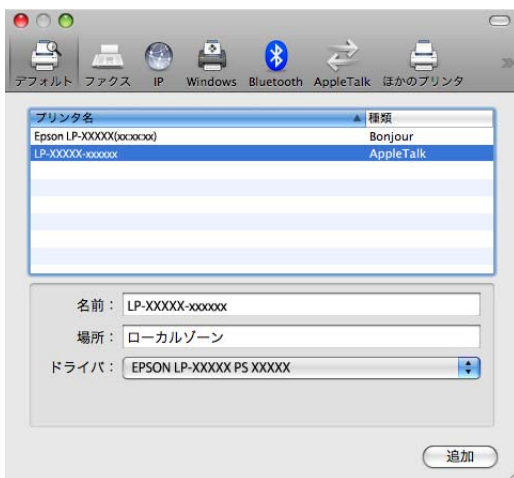
- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューから「システム環境設定」を開きます。
- 3 「プリントとファクス」をクリックします。
- 4 プリントとファクス画面で、[+] をクリックします。



プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンターが表示されません。

5 [プリンタ名] リストから、[LP-S820-xxxxxx] を選択します。

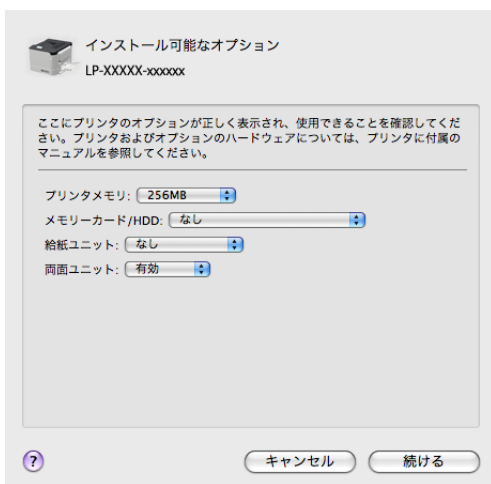
💡 xxxxxx は MAC アドレスの後半 6 桁です。



6 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[ドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 [追加] をクリックします。

8 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。

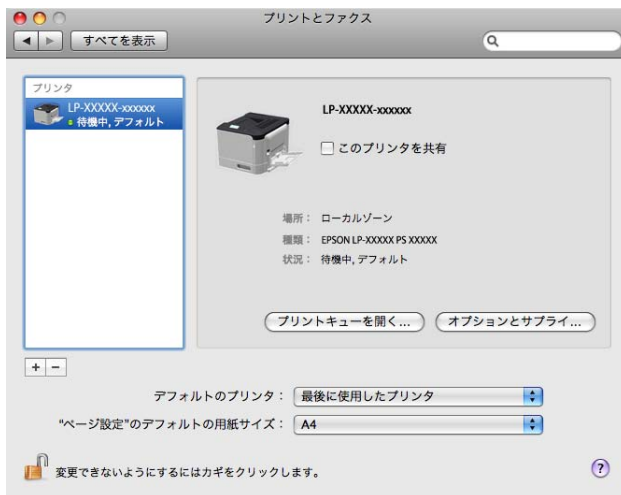


💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

9 【続ける】 をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンターが表示されます。



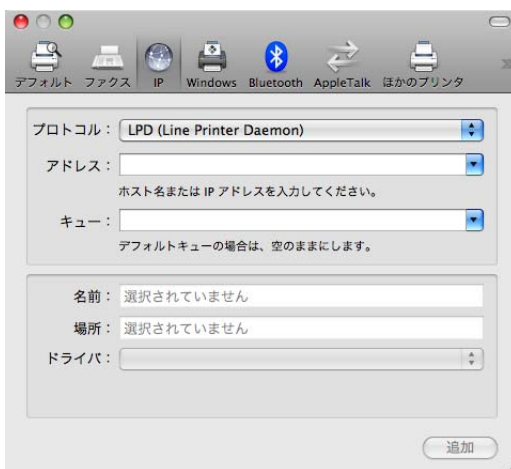
IP プリント設定

- 1 プリンターを Ethernet ネットワークに接続します。
- 2 アップルメニューから [システム環境設定] を開きます。
- 3 [プリントとファクス] をクリックします。

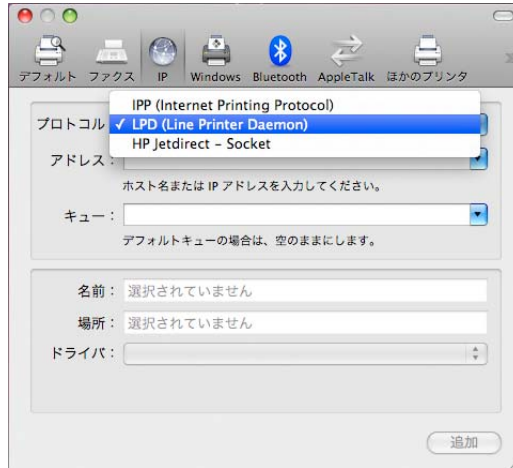
4 プリントとファクス画面で [+] をクリックします。



5 [IP] をクリックします。

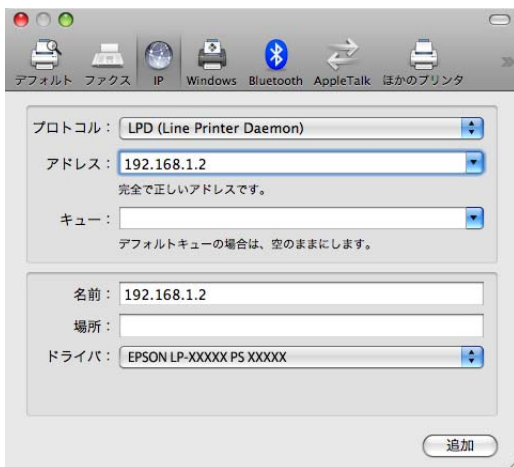


6 [プロトコル] ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。



- 💡 IPP 設定の場合、[IPP (Internet Printing Protocol)] を選択します。
- 💡 LPD 設定の場合、[LPD (Line Printer Daemon)] を選択します。
- 💡 ポート 9100 設定の場合、[HP Jetdirect-Socket] を選択します。

7 [アドレス] ボックスにプリンターの IP アドレスを入力します。

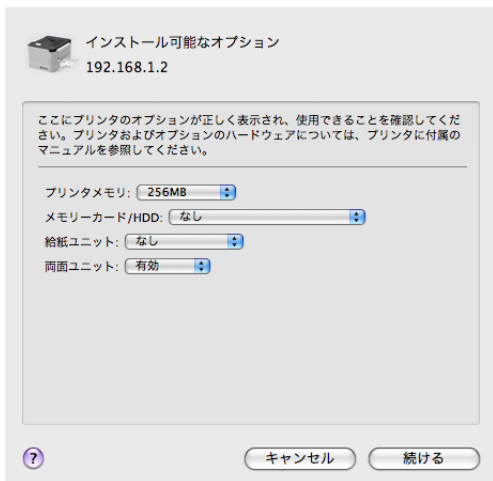


💡 IPP 設定の場合、[キュー] テキストボックスに [ipp] と入力します。

8 [EPSON LP-S820 PS v3016.102] が、[ドライバ] ポップアップリストで選択されていることを確認します。

9 [追加] をクリックします。

10 お使いの環境に合わせて、[プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

11 [続ける] をクリックします。

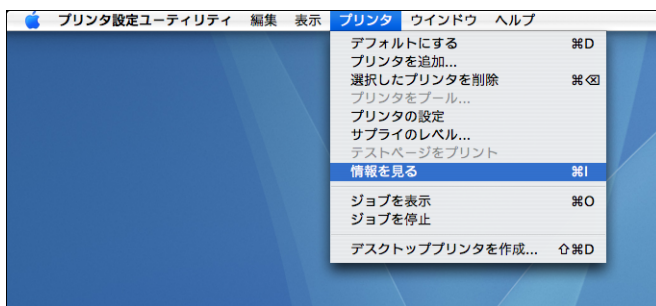
[プリントとファクス] 画面に新しいプリンターが表示されます。



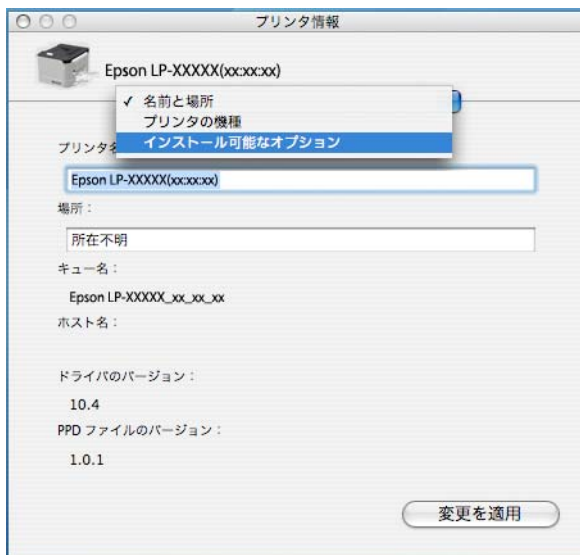
オプションの設定

Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合

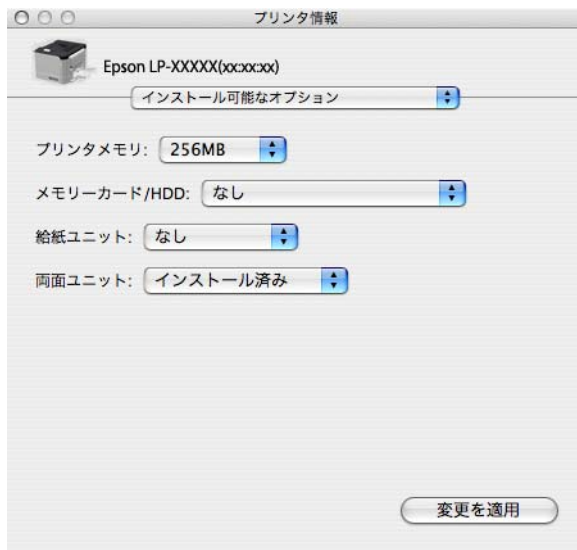
- 1 ハードディスクから [アプリケーション] → [ユーティリティ] にある [プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。
- 2 プリンタリスト画面で本機を選択し、[プリンタ] メニューから [情報を見る] を選択します。



- 3 ポップアップメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。



- 4 お使いの環境に合わせて [プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



- 💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
- 💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 5 [変更を適用] をクリックします。

- 6 [プリンタ情報] 画面を閉じます。

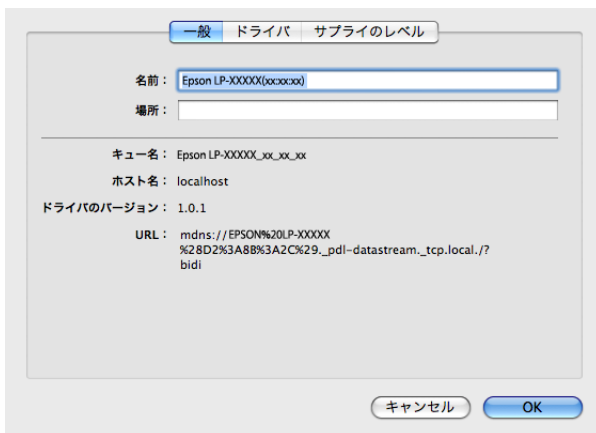
Mac OS X 10.5/10.6 の場合

- 1 アップルメニューより [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] をクリックします。

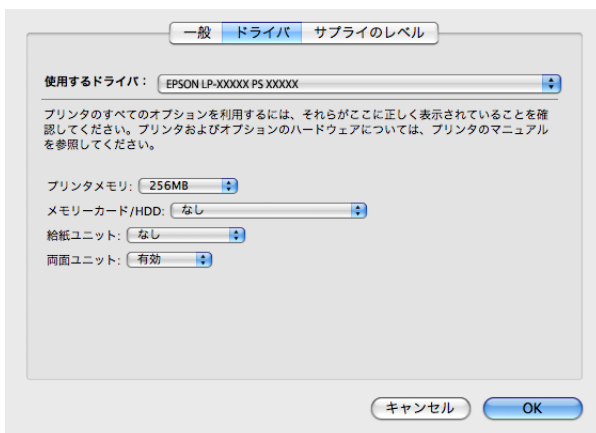
- 3 プリンタリストから本機を選択し、[オプションとサブライ] をクリックします。



- 4 [ドライバ] を選択します。



- 5 お使いの環境に合わせて [プリンタメモリ]、[メモリーカード/HDD]、[給紙ユニット]、[両面ユニット] を設定します。



- 💡 給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
- 💡 ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

- 6 [OK] を選択します。
- 7 [プリントとファクス] 画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

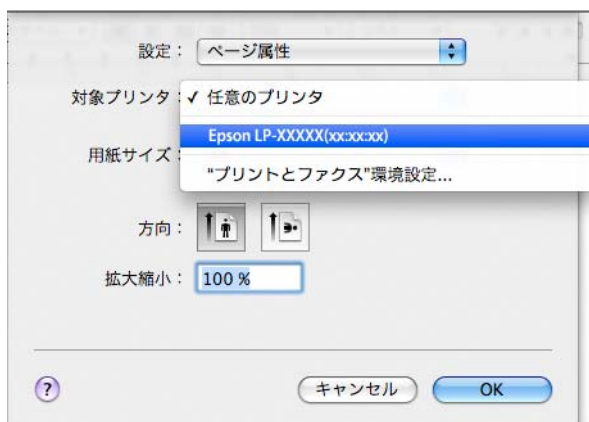
Mac OS X 10.3.9/10.4 の場合

アプリケーションソフトウェアで [ファイル] メニューから [用紙設定 ...] または [ページ設定 ...] を選択したときに表示されます。

- 1 [ファイル] メニューから [用紙設定 ...] または [ページ設定 ...] を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

- 2 [対象プリンタ] ポップアップメニューから本機を選択します。



ページ設定画面の [設定] ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

設定	設定内容
[ページ属性]	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
[デフォルトとして保存]	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。



■ [用紙サイズ]

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ [方向]

印刷方向を選択します。

■ [拡大縮小]

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します (25 ~ 400%)。

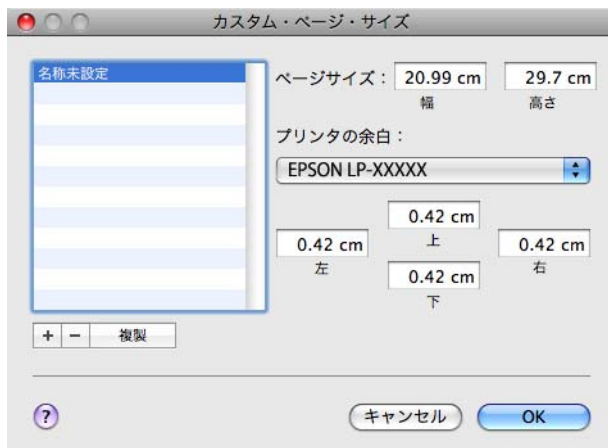
💡 どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム用紙サイズの設定

[カスタム・ページ・サイズ] 画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

- 1 ページ属性画面（前ページ）の [用紙サイズ] ポップアップメニューから [カスタムサイズを管理] を選択します。

[カスタム・ページ・サイズ] 画面が表示されます。



- [+]
新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。
- [複製]
すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。
- [-]
選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ [ページサイズ]

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。
本プリンターで設定できる数値は、以下のとおりです。

片面

幅： 9.2 cm ～ 21.6 cm

高さ（トレイ 1）の場合： 14.8 cm ～ 35.6 cm

高さ（トレイ 2）の場合： 14.8 cm ～ 29.7 cm

両面

幅： 18.2 cm ～ 21.6 cm

高さ（トレイ 1）の場合： 25.4 cm ～ 35.6 cm

■ [プリンターの余白]

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

2 設定を終えたら、[OK] をクリックします。



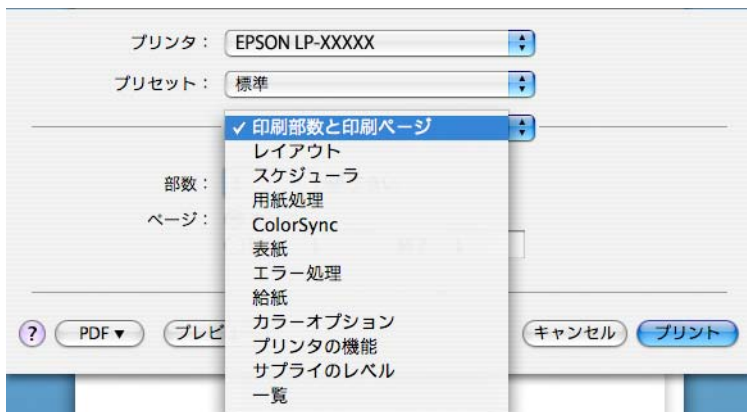
どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4.2 mm までの範囲は印刷できません。

プリント画面の設定 (Mac OS X 10.4)

ここでは、アプリケーションソフトウェアで [ファイル] メニューから [プリント ...] または [印刷 ...] を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

- 1 [ファイル] メニューから [プリント ...] または [印刷 ...] を選択します。
プリント画面が表示されます。
- 2 [プリンタ] ポップアップメニューから本機を選択します。
プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー



メニュー	設定内容
[印刷部数と印刷ページ]	印刷するページや部数を設定します。
[レイアウト]	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
[スケジューラ]	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
[用紙処理]	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
[ColorSync]	ColorSync の設定をします。
[表紙]	表紙の設定を行います。

メニュー	設定内容
[エラー処理]	エラーの出力方法を指定します。
[給紙]	給紙方法を設定します。
[カラーオプション]	カラー印刷の設定を行います。
[プリンタの機能]	用紙種類と解像度の設定を行います。
[サプライのレベル]	消耗品の状態を表示します。
[一覧]	現在の印刷設定を確認することができます。

 同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- [?] (ヘルプボタン)
プリント画面のヘルプを表示します。
- [PDF]
PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。
- [プレビュー]
印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。
- [キャンセル]
変更した設定を無効 (キャンセル) にして、画面を閉じます。
- [プリント]
変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

印刷部数と印刷ページ

部数： 1 丁合い

ページ： すべて

開始： 1 終了： 1

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [部数]

印刷部数を設定します。[丁合い] をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を [5] にして [丁合い] をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ [ページ]

[すべて]： 全ページを印刷します。

[開始]、[終了]：印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。



■ [ページ数/枚]

1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば [2] を選択すると、1枚の用紙に2ページ分が印刷されます。

■ [レイアウト方向]

1枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ [境界線]

1枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ [両面]

両面印刷に関する設定を行います。

[切]：両面印刷を行いません。

[長辺とじ]：長辺とじで両面印刷を行います。

[短辺とじ]：短辺とじで両面印刷を行います。

💡両面印刷可能なトレイ1の最大カスタムサイズは、21.6 cm (幅) × 35.6 cm (長さ) となります。

💡両面印刷を行うときは、あらかじめ「オプションの設定」(p.62)で「両面ユニット」を選択しておいてください。「両面ユニット」を選択していなくても「長辺とじ」または「短辺とじ」の項目をチェックできますが、その場合はプリントジョブがキャンセルされます。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

スケジューラ

書類をプリント：
 今すぐプリント
 後でプリント： 9:00
 保留

優先順位： 中

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

■ [書類をプリント]

[今すぐプリント]：すぐに印刷を開始します。

[後でプリント]：印刷を開始する時刻を指定します。

[保留]：プリントジョブを保留します。

■ [優先順位]

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

用紙処理

ページの順序： 自動
 通常
 逆送り

プリント： すべてのページ
 奇数ページ
 偶数ページ

出力用紙サイズ：
 使用する出力用紙サイズ： A4
 用紙サイズに合わせる： A4
 縮小のみ

? PDF ▼ プレビュー

キャンセル プrint

■ [ページの順序]

[自動]： 文書のページ順序で印刷するときに選択します。

[通常]： 通常のページ順序で印刷するときに選択します。

[逆送り]： 印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ [プリント]

[すべてのページ]： 全てのページを印刷します。

[奇数ページ]： 奇数ページのみ印刷します。

[偶数ページ]： 偶数ページのみ印刷します。

■ [出力用紙サイズ]

[使用する出力用紙サイズ]：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

[用紙サイズに合わせる]：書類の用紙サイズを、プリンターで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。プリンターで使用されている用紙サイズを指定します。

[縮小のみ]： 出力サイズを縮小するときに選択します。

ColorSync メニュー



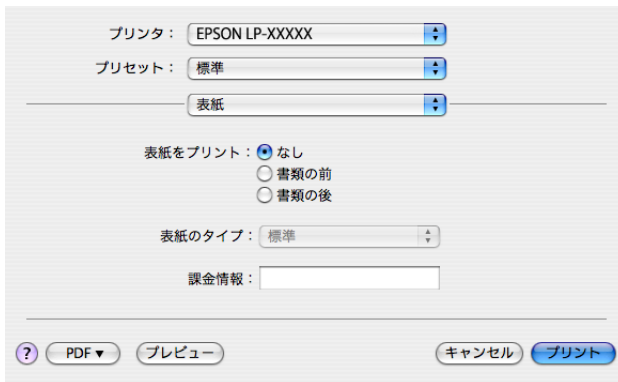
■ [カラー変換]

コンピューターでカラーマッチングを行うか、プリンターでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ [Quartz フィルタ]

Quartz フィルタを選択し、色調を変更できます。

表紙メニュー



■ [表紙をプリント]

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ [表紙のタイプ]

表紙の種類を選択します。

■ [課金情報]

表紙に印刷される課金情報を設定します。

エラー処理メニュー

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

エラー処理

PostScript エラー

特にレポートは行わない
 詳細レポートをプリント

トレイの切り替え

プリンタのデフォルトを使用
 同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える
 警告を表示

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

- [PostScript エラー]
PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。
- [トレイの切り替え]
このプリンタードライバーでは使用しません。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

プリンタ： EPSON LP-XXXXX

プリセット： 標準

給紙

全体： 自動選択

先頭ページのみ： トレイ 1

残りのページ： トレイ 1

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

- [全体]
すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。
- [先頭ページのみ]
最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [残りのページ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

💡 オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」(p.62)で「給紙ユニット3」を選択しておいてください。

カラーオプションメニュー

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

クイックカラー: 自動

明度: 0%

グレースケール

カラーセパレーション

エコノミー印刷

エッジ強度: 中

自動トラッピング

ブラックオーバープリント: オフ

カラー詳細設定

? PDF プレビュー キャンセル プrint

■ [クイックカラー]

クイックカラーを選択します。

■ [明度]

明るさを選択します。

■ [グレースケール]

この項目をチェックすると、カラー部分をグレースケールで印刷します。

■ [カラーセパレーション]


この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。

■ [エコノミー印刷]

エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。

■ [エッジ強度]

エッジ強度を選択します。

- [自動トラッピング]
絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。
- [ブラックオーバープリント]
黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。
- [カラー詳細設定]
クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。
 クイックカラーを [カスタム] に設定している場合に有効です。

カラー詳細設定 / イメージ



プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

イメージ テキスト グラフィックス シミュレーション

RGBカラー: sRGB

RGB色変換: 写真調

RGBグレー再現: 4色(CMYK)トナー

出カプロファイル: 自動

スクリーン: 詳細

エッジ強調: しない

プロファイルの管理

詳細設定を開く

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プリント

- [RGB カラー]
イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。
- [RGB 色変換]
イメージの RGB カラー特性を選択します。
- [RGB グレー再現]
RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。
- [出カプロファイル]
印刷に使用する出カプロファイルを選択します。
- [スクリーン]
イメージの中間色の再現性を選択します。

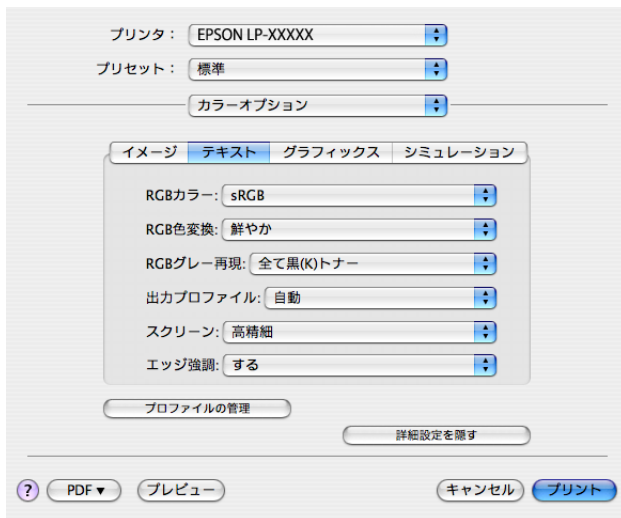
- [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。
- [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出カプロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。
- [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / テキスト



- [RGB カラー]

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。
- [RGB 色変換]

テキストの RGB カラー特性を選択します。
- [RGB グレー再現]

RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を選択します。
- [出カプロファイル]

印刷に使用する出カプロファイルを選択します。
- [スクリーン]

テキストの中間色の再現性を選択します。
- [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出カプロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / グラフィックス

プリンタ: EPSON LP-XXXXX

プリセット: 標準

カラーオプション

イメージ テキスト **グラフィックス** シミュレーション

RGBカラー: sRGB

RGB色変換: 鮮やか

RGBグレー再現: 全て黒(K)トナー

出カプロファイル: 自動

スクリーン: 詳細

エッジ強調: する

プロファイルの管理

詳細設定を隠す

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [RGB カラー]

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB のグラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出カプロファイル]

印刷に使用する出カプロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / シミュレーション

プリンタ: EPSON LP-XXXXX
プリセット: 標準
カラーオプション

イメージ テキスト グラフィックス **シミュレーション**

シミュレーションプロファイル: なし
用紙下地色にあわせる: いいえ
CMYKグレー再現: 4色(CMYK)トナー

プロファイルの管理
詳細設定を隠す

? PDF ▼ プレビュー キャンセル プrint

■ [シミュレーションプロファイル]

RGB カラープロファイルを選択します。

■ [用紙下地色にあわせる]

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ [CMYK グレー再現]

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

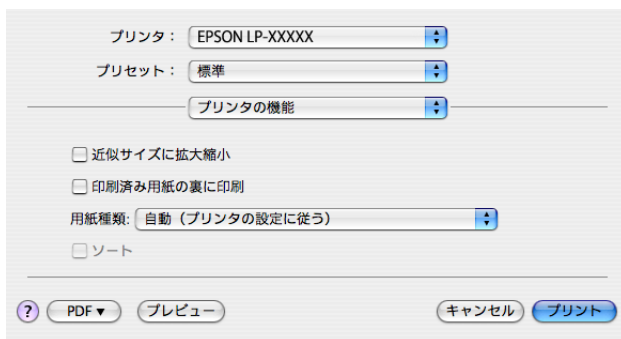
■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルに カラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

プリンタの機能メニュー



- [近似サイズに拡大縮小]
トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。
- [印刷済み用紙の裏に印刷]
用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。
- [用紙種類]
用紙の種類を選択します。
- [ソート]
部単位で印刷を行うかどうかを選択します。

サプライのレベルメニュー

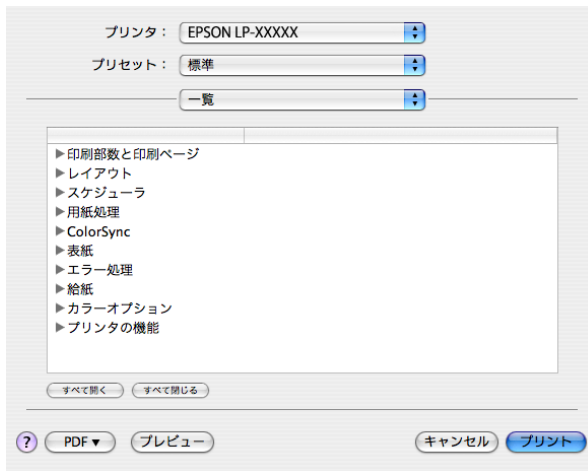
[サプライのレベル] 画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

💡 サプライのレベルメニューは、Mac OS X v10.4 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続、Port 9100 接続された場合に表示されます。

💡 サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。



プリント画面の設定 (Mac OS X 10.5/10.6)

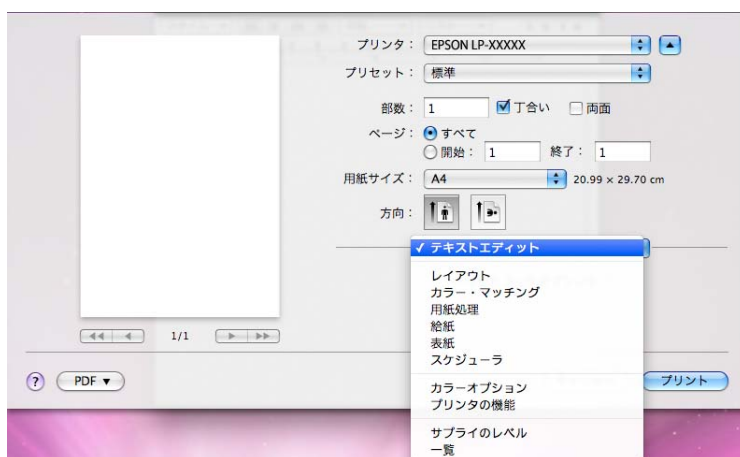
ここではアプリケーションソフトウェアで [ファイル] メニューから [プリント…] または [印刷…] を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 [ファイル] メニューから [プリント…] または [印刷…] を選択します。

2 [プリンタ] ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー



メニュー	設定内容
[レイアウト]	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
[カラー・マッチング]	カラーマッチングの方法を設定します。
[用紙処理]	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
[給紙]	給紙方法を設定します。
[表紙]	表紙の設定をします。

メニュー	設定内容
[スケジューラ]	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
[カラーオプション]	カラー印刷の設定を行います。
[プリンタの機能]	用紙種類と解像度の設定を行います。
[サプライのレベル]	消耗品の状態を表示します。
[一覧]	現在の印刷設定を確認することができます。

 同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

- [?] (ヘルプボタン)
プリント画面のヘルプを表示します。
- [PDF]
PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。
- [キャンセル]
変更した設定を無効 (キャンセル) にして、画面を閉じます。
- [プリント]
変更した設定を有効にして、印刷を行います。
- [部数]
印刷部数を設定します。[丁合い] にチェックをつけると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。
例えば部数を [5] にして [丁合い] にチェックをつけると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。
[両面] にチェックをつけると、文書を紙の両側に印刷します。
- [ページ]
[すべて] : すべてのページを印刷します。
[開始]、[終了] : 印刷するページを指定します。
- [用紙サイズ]
用紙サイズをポップアップメニューから選択します。
- [方向]
印刷方向を選択します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。



■ [ページ数/枚]

1枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば [2] を選択すると、1枚の用紙に2ページ分が印刷されます。

■ [レイアウト方向]

1枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ [境界線]

1枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ [両面]

両面印刷に関する設定を行います。

[切]：両面印刷を行いません。

[長辺とじ]：長辺とじで両面印刷を行います。

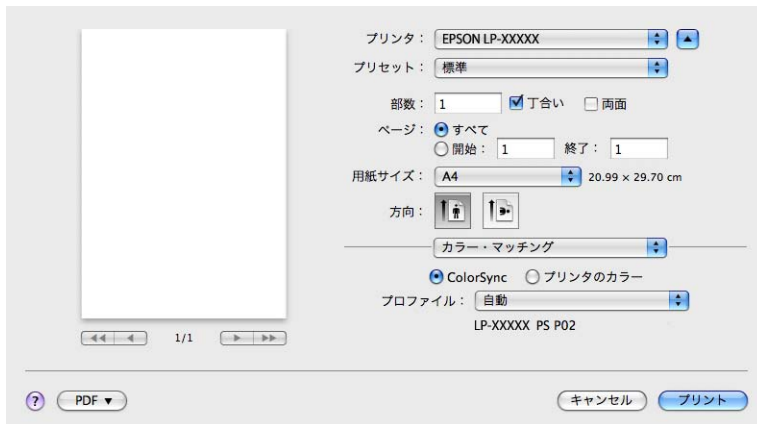
[短辺とじ]：短辺とじで両面印刷を行います。

💡両面印刷可能なトレイ1の最大カスタムサイズは、21.6 cm (幅) × 35.5 cm (長さ) となります。

💡両面印刷を行うときは、あらかじめ「オプションの設定」(p.62)で [両面ユニット] を選択しておいてください。[両面ユニット] を選択していなくても [長辺とじ] または [短辺とじ] の項目をチェックできますが、その場合はプリントジョブがキャンセルされます。

- [ページの方向を反転]
印刷する方向を上下反転させます。
- [左右反転] (OS X 10.6のみ)
左右反転して印刷するかどうか指定します。

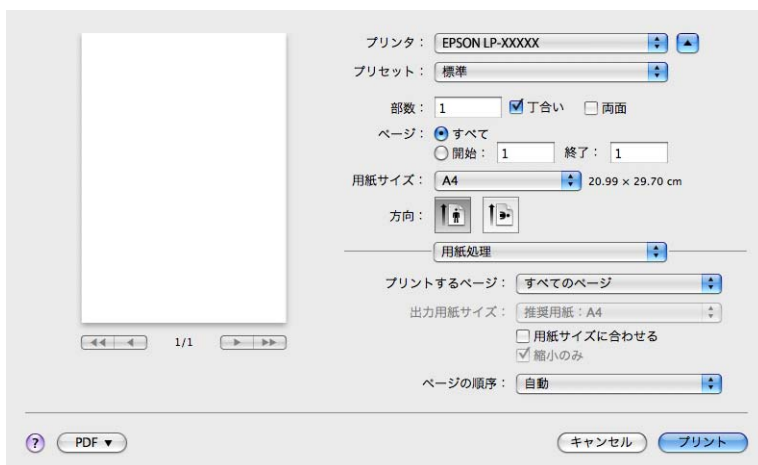
カラー・マッチング



- [カラー・マッチング]
[ColorSync] : コンピューターでカラーマッチングを行います。
[プリンタのカラー] : プリンターでカラーマッチングを行います。
- [プロファイル]
カラーマッチングを行うためのプロファイルを選択します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。



■ [プリントするページ]

[すべてのページ]：すべてのページを印刷します。

[奇数ページのみ]：奇数ページのみ印刷します。

[偶数ページのみ]：偶数ページのみ印刷します。

■ [出力用紙サイズ]

ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときを選択します。

[用紙サイズに合わせる]：書類の用紙サイズを、プリンターで使用されている用紙サイズに合わせるときを選択します。プリンターで使用されている用紙サイズを指定します。

[縮小のみ]：印刷サイズを縮小する場合に選択してください。

■ [ページの順序]

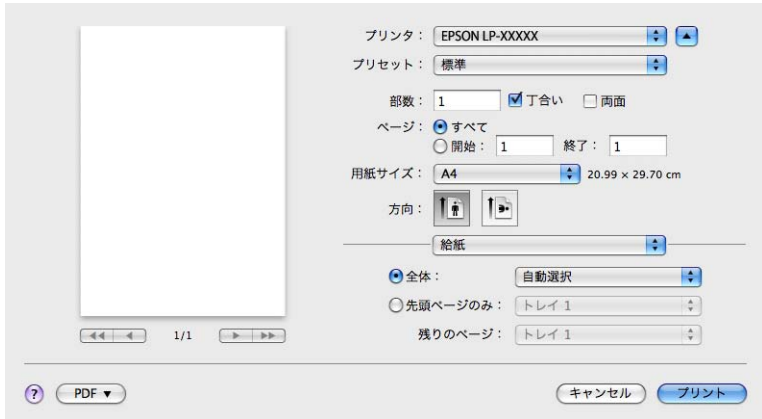
[自動]：文書のページ順序で印刷するときを選択します。

[通常]：通常のページ順序で印刷するときを選択します。

[逆送り]：印刷するページの順番を逆にして印刷するときを選択します。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。



■ [全体]

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [先頭ページのみ]

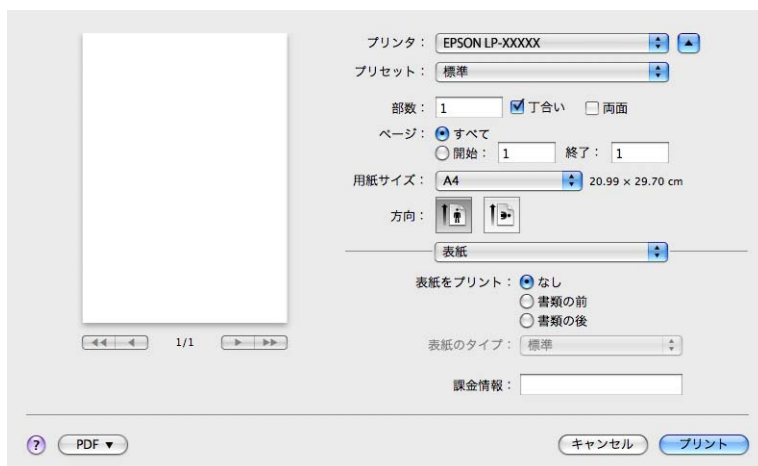
最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ [残りのページ]

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

💡 オプションの給紙ユニットを装着している場合は、あらかじめ「オプションの設定」(p.62)で「給紙ユニット」を選択しておいてください。オプションの設定画面で「給紙ユニット」が選択されていない場合は、給紙画面のトレイ3がグレー表示になり選択できません。

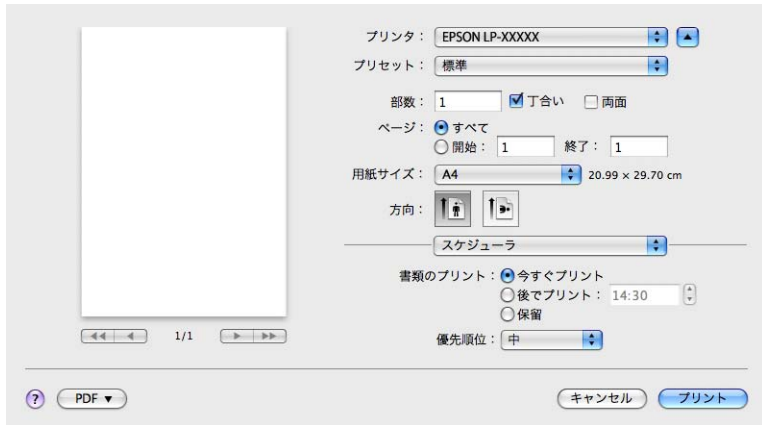
表紙メニュー



- [表紙をプリント]
書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。
- [表紙のタイプ]
表紙の種類を選択します。
- [課金情報]
表紙に印刷される課金情報を設定します。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。



■ [書類のプリント]

[今すぐプリント]：すぐに印刷を開始します。

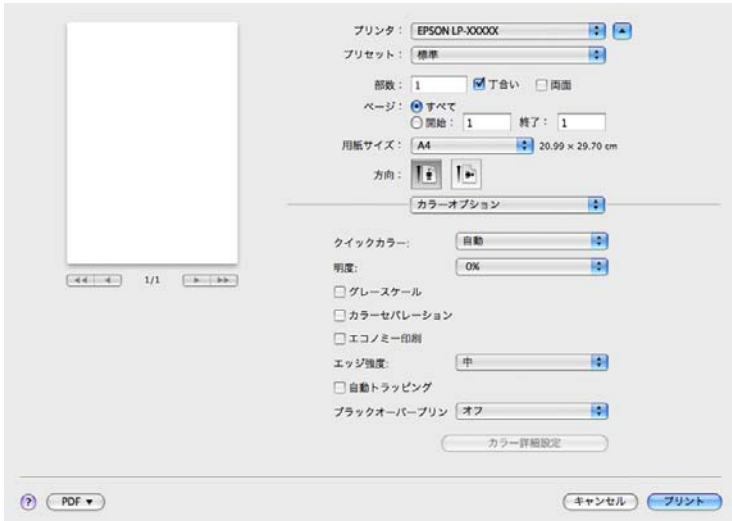
[後でプリント]：印刷を開始する時刻を指定します。

[保留]：プリントジョブを保留します。

■ [優先順位]

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

カラーオプションメニュー



- [クイックカラー]
クイックカラーを選択します。
- [明度]
明るさを選択します。
- [グレースケール]
この項目にチェックをつけると、カラー部分をグレースケールで印刷します。
- [カラーセパレーション]
この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。
- [エコノミー印刷]
エコノミー印刷を行うかどうかを選択します。
- [エッジ強度]
エッジ強度を選択します。
- [自動トラッピング]
絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。
- [ブラックオーバープリント]
黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。

■ [カラー詳細設定]

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

💡 クイックカラーを [カスタム] に設定している場合に有効です。

カラー詳細設定 / イメージ



■ [RGB カラー]

イメージの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

イメージの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB イメージの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

イメージの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / テキスト



■ [RGB カラー]

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB テキストの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出力プロファイル]

印刷に使用する出力プロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出力プロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / グラフィックス



■ [RGB カラー]

グラフィックスの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ [RGB 色変換]

グラフィックスの RGB カラー特性を選択します。

■ [RGB グレー再現]

RGB グラフィックスの黒色とグレーの再現方法を選択します。

■ [出カプロファイル]

印刷に使用する出カプロファイルを選択します。

■ [スクリーン]

グラフィックスの中間色の再現性を選択します。

■ [エッジ強調]

エッジ強調を行うかどうかを選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出カプロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

カラー詳細設定 / シミュレーション



■ [シミュレーションプロファイル]

RGB カラープロファイルを選択します。

■ [用紙下地色にあわせる]

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ [CMYK グレー再現]

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

■ [プロファイルの管理]

カラープロファイルの管理を行います。カラー詳細設定の RGB カラー、出カプロファイル、シミュレーションプロファイルにカラープロファイルを追加、削除することができます。

■ [詳細設定を隠す]

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

プリンタの機能メニュー



- [近似サイズに拡大縮小]
トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。
- [印刷済み用紙の裏に印刷]
用紙の裏面に印刷するとき、この項目を設定します。
- [用紙種類]
用紙の種類を選択します。
- [ソート]
部単位で印刷を行うかどうかを選択します。

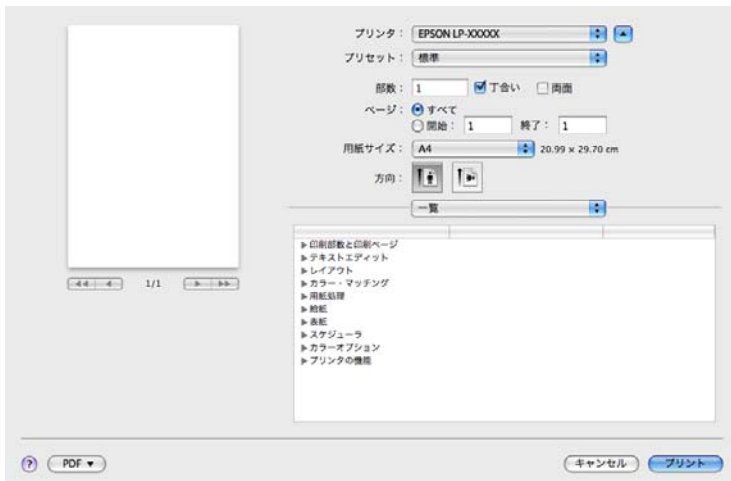
サプライレベルのメニュー

サプライレベルの画面では、現在の消耗品の状態を確認することができます。

- 💡 サプライのレベルメニューは、Mac OS X 10.5/10.6 で Bonjour 接続、IPP 接続、LPD 接続、Port 9100 接続された場合に表示されます。
- 💡 サプライのレベルメニューは、お使いのアプリケーションによっては表示されない場合があります。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。



トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンターの機能によっては、プリセットでは保存されません
用紙の種類のエラーが表示される。	用紙（例えば厚紙）がトレイ 1 またはトレイ 2 にセットされている場合、エラーが表示され、プリンターが停止します。必ずトレイ 1 またはトレイ 2 に適した用紙の種類を指定するようにしてください。
プリンターがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷した時、プリンターがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
Bonjour でプリンターが検出できない。	EpsonNet Config を使って、Network - TCP/IP - Bonjour 有効をチェックしてください。詳しくは、「Bonjour」(p.237) をごらんください。
プリンタードライバーおよび PPD ファイルのバージョンを確認したい。	<p>- Mac OS X 10.4 の場合：</p> <p>[プリンタ設定ユーティリティ] よりプリンターを選択し、[プリンタ] メニューから [情報を見る] を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから [名前と場所] を選択します。</p> <p>- Mac OS X 10.5/10.6 の場合：</p> <p>[プリントとファクス] よりプリンターを選択します。[オプションとサブライ] をクリックし、[一般] タブをクリックします。</p>
他社のプリンターから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開きなおしてください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。(例：14.7 cm → 14.69 cm)
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。リーガル、GLG、HLT、F4

症状	対応・処置
Acrobat Reader からの印刷時、[丁合い] が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の [プレビュー] で印刷してください。
Mac OS X 10.4 を使用して、カスタム用紙サイズを選択し、幅を 21.6 cm に設定し、ジョブを送信すると Letter サイズの用紙を要求される。	カスタム用紙サイズの幅を 21.59 cm に変更し、再度ジョブを送信してください。

**NetWare での
使い方**

2


NetWare による利用

プリンターコントローラーは、以下の環境をサポートしています。


NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	Bindery/NDS	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS (lpr)	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンタモードの場合


 バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

- 1** クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバにログインします。
- 2** Pconsole を起動します。
- 3** [利用可能な項目] から [クイックセットアップ] を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4** [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他/不明] に設定して、保存します。
- 5** [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。
- 6** NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

 キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

- 7** EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。
- [NetWare 印刷] : 有効
 - [フレームタイプ] : 自動 (ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください)
 - [モード] : Nprinter/Rprinter
 - [プリンター名] : プリンター名を設定します。
(初期値: LP-S820-XXXXXX)
 - [プリンター番号] : プリンター番号 (0 ~ 255) を設定します。
255 を設定すると [自動] になります
- 8** プリンターの電源の再投入 (オフ/オン) を行います。
- 9** NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが [ジョブの待機中] になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバモードの場合

 バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

- 1** クライアントより Supervisor 権限で Pserver を登録する NetWare サーバーにログインします。
- 2** Pconsole を起動します。
- 3** [利用可能な項目] から [クイックセットアップ] を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4** [プリントサーバー名]、[プリンター名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他/不明] に設定して、保存します。
- 5** [Esc] キーを押し、Pconsole を終了します。

- 6** EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。
- [NetWare 印刷] : [有効]
 - [フレームタイプ] : [自動] (ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください)
 - [モード] : [PServer]
 - [プリントサーバー名] : 手順 4 で作成したプリントサーバー名
 - [プリントサーバーパスワード] : NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
 - [プリントキュー取得間隔] : [1] (必要に応じて変更してください)
 - [Bindery/NDS] : [Bindery/NDS]
 - [優先ファイルサーバー] : Pserver を接続するファイルサーバー名


7 プリンターの電源の再投入 (オフ/オン) を行います。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

NetWare 4.x リモートプリンタモード (NDS) の場合

- 1** クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。
- 2** NWadmin を起動します。
- 3** プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから [プリントサービスクイックセットアップ] を選択します。
- 4** [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ポリシー名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他/不明] に設定して、保存します。

-  キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。


- [NetWare 印刷] : [有効]
- [フレームタイプ] : [自動] (ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください)
- [モード] : [Nprinter/Rprinter]
- [プリンター名] : プリンター名を設定します。
(初期値 : LP-S820-XXXXXX)
- [プリンター番号] : プリンター番号 (0 ~ 255) を設定します。
255 を設定すると [自動] になります。

6 プリンターの電源の再投入 (オフ/オン) を行います。

7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバー画面を表示し、接続しているプリンター 0 に、作成したプリンターが [ジョブの待機中] になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード (NDS) の場合


-  プリントサーバモードを使用する場合は、NetWare サーバに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから [プリントサービスクイックセットアップ (非 NDPS)] を選択します。

4 [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[ボリューム名] を入力し、プリンターの [タイプ] 名を [その他/不明] に設定して、[作成] をクリックします。

 キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 EpsonNet Config の管理者モードで [ネットワーク] タブから [NetWare] メニューを選択し、各項目を設定します。

- [NetWare 印刷] : [有効]
- [フレームタイプ] : [自動] (ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください)
- [モード] : [PServer]
- [プリントサーバー名] : 手順 4 で作成したプリントサーバー名
- [プリントサーバーパスワード] : NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
- [プリントキュー取得間隔] : [1] (必要に応じて変更してください)
- [Bindery/NDS] : [NDS]
- [優先 NDS コンテキスト名] : Pserver を接続するコンテキスト名
- [優先 NDS ツリー名] : Pserver がログインするツリー名


6 プリンターの電源の再投入 (オフ/オン) を行います。

7 NetWare サーバのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。


NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service (NDPS) の場合

 NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

 NetWare サーバで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。


1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

- 2 NWAdmin を起動します。
- 3 プリンタエージェントを作成する [組織]、[部門] コンテナを右クリックし、[作成] より、[NDPS プリンタ] を選択します。
- 4 [NDPS プリンタ名] 欄に、[プリンタ名] を入力します。
- 5 [プリンタエージェントのソース] 欄で [新規プリンタエージェントを作成する] を選択し、[作成] をクリックします。
- 6 プリンタエージェント名を確認し、[NDPS マネージャ名] 欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。
- 7 [ゲートウェイタイプ] で、[Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、登録します。
- 8 [Novell NDPS の設定] ウィンドウで、プリンタ [(なし)]、ポートハンドラ [Novell ポートハンドラ] を選択し、登録します。
- 9 [接続タイプ] で、[リモート (IP 上で LPR)] を選択し、登録します。
- 10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に [Print] と入力して [完了] を押して登録します。
- 11 プリンタドライバの登録画面が現れますが、各 OS とも [なし] を選択して登録を終了してください。

 プリンターを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバを使用するときのクライアント (Windows) の設定

- 1 Windows7/Server 2008 R2 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックし、プリンタ画面を表示します。
Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] をクリックして、[プリンタと FAX] をクリックします。

 [スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されていない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックします。

2 Windows Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、[プリンターの追加] をクリックします。

Windows XP の場合は、[プリンタのタスク] メニューから [プリンタのインストール] をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が起動します。

3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名 (または NDPS プリンタ名) を指定します。

4 プリンタモデルの一覧で、使用する OS やプリンタードライバーに応じて、ソフトウェアディスク内のプリンタードライバーのあるフォルダを指定します。

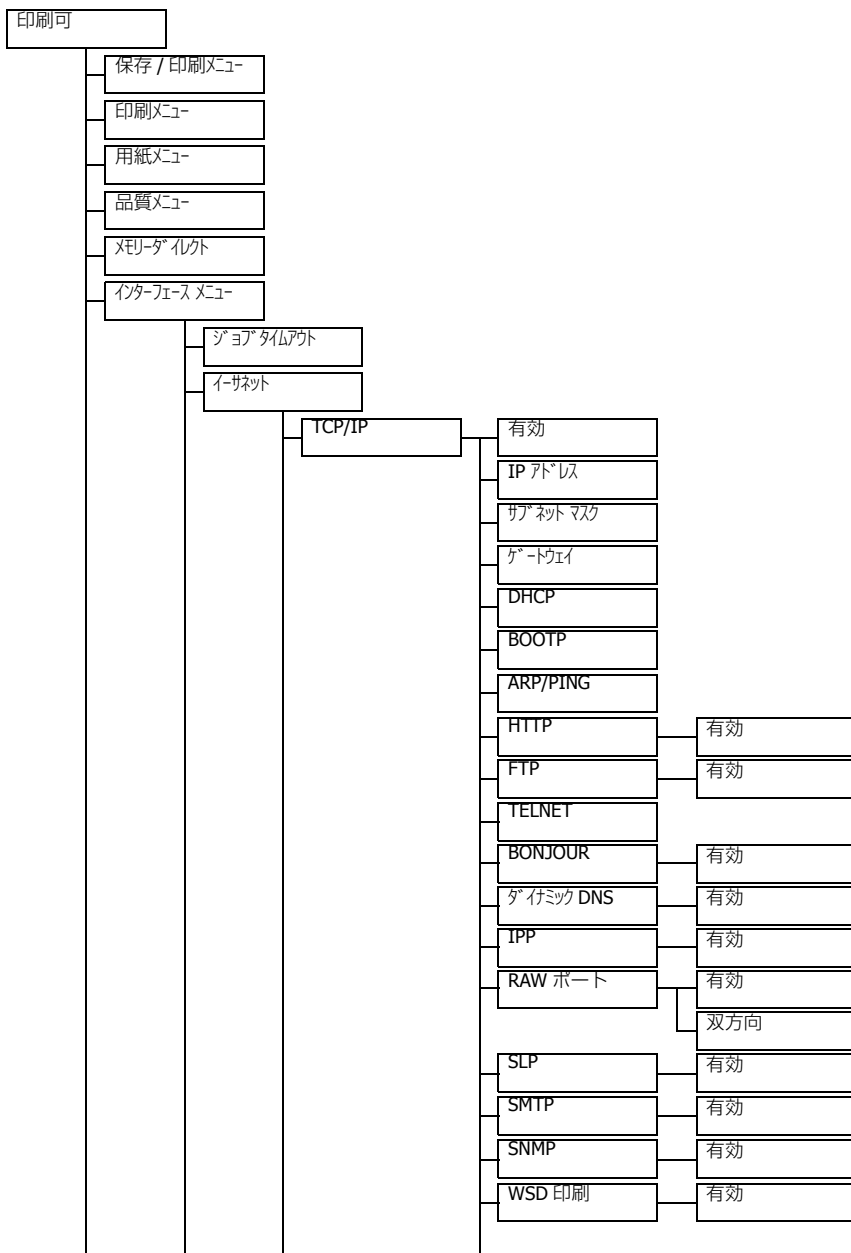
5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

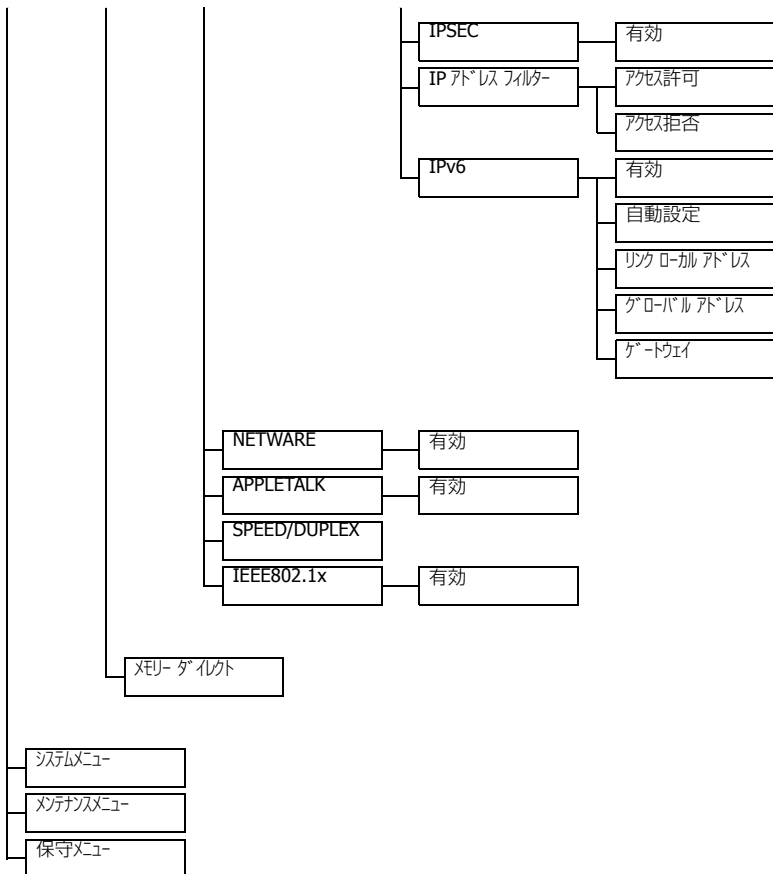
**イーサネット設定
メニューについて**

3

イーサネットメニュー

設定メニューの構成






イーサネットメニューの表示

プリンターの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンターのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。


押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
* メニュー 選択 ↓	保存 / 印刷メニュー もしくは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合： 印刷メニュー
▽	インターフェイスメニュー
* メニュー 選択 ↓	ジオブタイムアウト
▽	イーサネット
* メニュー 選択 ↓	TCP/IP

 以下のイーサネットの設定を行うと、プリンターが自動的に再起動します。

- IPP — 有効

イーサネットメニューの設定項目

プリンターがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

 手で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、はじめに DHCP の設定をオフにしてください。

TCP/IP

有効

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 [Y] に設定すると、TCP/IP が有効になります。 [N] に設定すると、TCP/IP が無効になります。
設定値	Y N
初期値	Y

IP アドレス

目的	本プリンターのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ~ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

サブネット マスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンターの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ~ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ/ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザーからもプリンターを利用できるようにする場合に、ルータ/ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ~ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

DHCP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合に、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	お お
初期値	お

BOOTP

目的	ネットワーク内に BOOTP サーバーがある場合に、BOOTP サーバーから自動的に IP アドレスを取得、または他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	お お
初期値	お

ARP/PING

目的	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 [お] に設定すると、IP アドレスを自動的に取得します。 [オ] に設定すると、IP アドレスを自動的に取得しません。
設定値	お お
初期値	お

HTTP — 有効

目的	HTTP を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、HTTP が有効になります。 [I] に設定すると HTTP が無効になります。
設定値	M I
初期値	M

FTP — 有効

目的	FTP を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、FTP が有効になります。 [I] に設定すると、FTP が無効になります。
設定値	M I
初期値	I

TELNET

目的	Telnet による通信を有効にするかどうかを選択します。 有効を選択すると、Telnet による通信が有効になります。 無効を選択すると、Telnet による通信が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	無効

BONJOUR — 有効

目的	Bonjour を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、Bonjour が有効になります。 [I] に設定すると、Bonjour が無効になります。
設定値	M I
初期値	M

ダイナミック DNS — 有効

目的	ダイナミック DNS を有効にするかどうかを設定します。 [ON] に設定すると、ダイナミック DNS が有効になります。 [OFF] に設定すると、ダイナミック DNS が無効になります。
設定値	ON OFF
初期値	OFF

IPP — 有効

目的	IPP を有効にするかどうかを設定します。 [ON] に設定すると、IPP が有効になります。 [OFF] に設定すると、IPP が無効になります。
設定値	ON OFF
初期値	ON

RAW ポート — 有効

目的	Raw ポートを有効にするかどうかを設定します。 [ON] に設定すると、Raw ポートが有効になります。 [OFF] に設定すると、Raw ポートが無効になります。
設定値	ON OFF
初期値	ON

RAW ポート — 双方向

目的	Raw ポートを使用した通信を有効にするかどうかを設定します。 [オ] に設定すると Raw ポートを使用した通信が有効になります。 [オI] に設定すると、Raw ポートを使用した通信が無効になります。
設定値	オ オI
初期値	オ

SLP — 有効

目的	SLP を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、SLP が有効になります。 [MI] に設定すると、SLP が無効になります。
設定値	M MI
初期値	M

SMTP — 有効

目的	SMTP を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、SMTP が有効になります。 [MI] に設定すると、SMTP が無効になります。
設定値	M MI
初期値	M

SNMP — 有効

目的	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 [Y] に設定すると、SNMP が有効になります。 [N] に設定すると、SNMP が無効になります。
設定値	Y N
初期値	Y

WSD 印刷 — 有効

目的	WSD 印刷を有効にするかどうかを設定します。 [Y] に設定すると、WSD 印刷が有効になります。 [N] に設定すると、WSD 印刷が無効になります。
設定値	Y N
初期値	Y

IPSEC — 有効

目的	IPsec を有効にするかどうかを設定します。 [Y] に設定すると、IPsec が有効になります。 [N] に設定すると、IPsec が無効になります。
設定値	Y N
初期値	N

IP アドレスフィルタ — アクセス許可

目的	IP アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。 [有効] に設定すると、IP アドレスフィルタ (アクセス拒否) が有効になります。 [無効] に設定すると、IP アドレスフィルタ (アクセス拒否) が無効になります。
----	--

設定値	有効 無効
初期値	無効

IP アドレスフィルタ — アクセス拒否

目的	IP アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。 [有効] に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が有効になります。 [無効] に設定すると、IP アドレスフィルタ（アクセス拒否）が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	無効

IPv6 — 有効

目的	IPv6 アドレスを有効にするかどうかを設定します。 [I] に設定すると、IPv6 が有効になります。 [i] に設定すると、IPv6 が無効になります。
設定値	I i
初期値	I

IPv6 — 自動設定

目的	IPv6 アドレスの自動設定を有効にするかどうかを設定します。 [I] に設定すると、IPv6 の自動設定が有効になります。 [i] に設定すると、IPv6 の自動設定が無効になります。
設定値	I i
初期値	I

IPv6 — リンク ローカル アドレス

目的	リンクローカルアドレスが表示されます。
----	---------------------

IPv6 — グローバル アドレス

目的	グローバルアドレスが表示されます。
----	-------------------

IPv6 — ゲートウェイ

目的	ゲートウェイが表示されます。
----	----------------

NETWARE

有効

目的	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 [N] に設定すると、NetWare が有効になります。 [Y] に設定すると、NetWare が無効になります。
設定値	N Y
初期値	Y

APPLETALK

有効

目的	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 [N] に設定すると、AppleTalk が有効になります。 [Y] に設定すると、AppleTalk が無効になります。
設定値	N Y
初期値	N

SPEED/DUPLEX

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	自動 10BASE FULL 10BASE HALF 100BASE FULL 100BASE HALF 1000BASE FULL
初期値	自動

IEEE802.1X

目的	IEEE802.1x を有効にするかどうかを設定します。 [M] に設定すると、IEEE802.1x が有効になります。 [iI] に設定すると、IEEE802.1x が無効になります。
設定値	M iI
初期値	iI

ネットワーク印刷

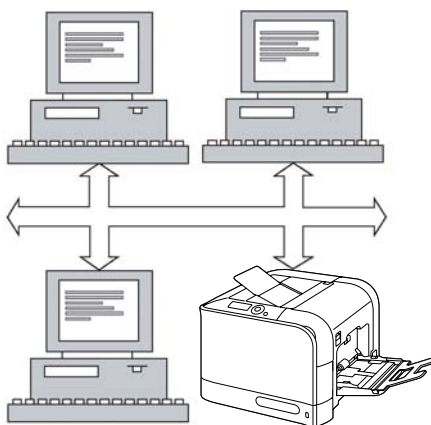
4

ネットワーク接続

概念図

プリンターをTCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンターに設定しておく必要があります。

💡 多くの場合、他で使用されていないIPアドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク/ゲートウェイ(ルーター)アドレスも入力する必要があります。



接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタです。

プリンターをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンターの IP (Internet Protocol) アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンターの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。


- **IP アドレス**：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- **サブネットマスク**：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- **ゲートウェイ**：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピューターとプリンターの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンターの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用している場合は、プリンターの電源をオンにすると、DHCP サーバによってプリンターの IP アドレスが自動的に割り当てられます。(DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」(p.130) を参照してください。)

 プリンターの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンターの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください（印刷メニュー - 設定リスト）。DHCP が使用可能になっていない場合は、[インターフェースメニュー] - [イーサネット] - [TCP/IP] - [DHCP] メニューで [オ] を選択してください。

1 プリンターをネットワークに接続します。


イーサネットケーブルのコネクタ (RJ45) を、プリンターのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンターをネットワークに接続します。

2 コンピューターとプリンターの電源をオンにします。

- 3 プリンターのメッセージ画面に [印刷可] と表示されたら、設定リストページを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。


押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
	印刷可
* メニュー 選択 ←	保存 / 印刷メニュー もしくは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合： 印刷メニュー
▽	印刷メニュー
* メニュー 選択 ←	設定リスト
* メニュー 選択 ←	印刷

- 4 プリンタードライバーをインストールします。

 DHCP サーバーに接続できない場合、169.254.0.0 から 169.254.255.255 の範囲で、IP アドレスが自動的に設定されます。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。(詳しくは、第 3 章 “イーサネット設定メニューについて” を参照してください。)

 手動で IP アドレスを設定する場合は、[インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP — DHCP]、[インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [BOOTP]、[インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [ARP/PING] で [オ] を選択してください。

また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタードライバーを再インストールしてください。

重要

プリンターの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。








- 1 コンピューターとプリンターの電源をオンにします。
- 2 プリンターのメッセージ画面に [印刷可] と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
	印刷可
* メニュー 選択 ←	保存 / 印刷メニュー もしくは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合： 印刷メニュー
▽	インターフェイスメニュー
* メニュー 選択 ←	ジョブタイムアウト
▽	イーサネット
* メニュー 選択 ←	TCP/IP
* メニュー 選択 ←	有効
▽	IP アドレス
* メニュー 選択 ←	IP アドレス 000.000.000.000
◀、▶ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
* メニュー 選択 ←	IP アドレス

3 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順5にすすんでください。








サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順4にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。


押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
	サブ ネットマスク
	サブ ネットマスク 000.000.000.000
 、 	キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
 、 	キーを押して各桁の数値を増減させます。
	サブ ネットマスク

4 ゲートウェイを設定しない場合は、手順5にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
	ゲートウェイ
	ゲートウェイ 000.000.000.000
 、 	キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
 、 	キーを押して各桁の数値を増減させます。
	ゲートウェイ

5 設定変更を保存し、プリンターを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
キャンセル 	キーを 4 回押します。

6 設定リストページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ (このように表示されるまで)
	印刷可
* メニュー 選択 ←	保存 / 印刷メニュー もしくは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合： 印刷メニュー
▽	印刷メニュー
* メニュー 選択 ←	設定リスト
* メニュー 選択 ←	印刷

7 プリンタードライバーとユーティリティをインストールします。

ネットワーク印刷

ネットワーク印刷に関する用語

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- AppleTalk
- Bonjour
- BOOTP
- DDNS
- DHCP
- FTP
- HTTP
- IEEE802.1x
- IPP
- IPsec
- IPv6
- IPX/SPX
- LLMNR
- LLTD
- LPD/LPR
- SLP
- SMTP
- SNMP
- Port 9100
- WSD プリント

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

AppleTalk

AppleTalk は、Apple 社の Macintosh で使用されている通信プロトコル群の総称です。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は *Rendezvous* と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から *Bonjour* と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP (Bootstrap Protocol) は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DDNS (Dynamic DNS)

DDNS (Dynamic Domain Name System) は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。

近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバとして公開しようとするユーザーが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。

DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバにアクセスすることが可能になります。

DHCP

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間を省かずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

FTP

FTP (File Transfer Protocol) は、インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

HTTP

HTTP (HyperText Transfer Protocol) は、ワールドワイドウェブ (WWW) で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IEEE802.1x

LAN でのユーザー認証の方式を定めたプロトコルで、無線だけでなく有線で利用することもできます。RADIUS サーバー（認証サーバー）により認証を行い、認証に成功したユーザーは通信を行うことができます。認証に失敗したユーザーとの通信は行われません。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザーは、プリンターの機能の確認、プリンターへのプリントジョブの送信、プリンターやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷」（p.135）を参照してください。

IPsec

TCP/IP で使用されているセキュリティ技術です。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティを強化したサービス提供が可能となります。

IPv6

IPv6（Internet Protocol version 6）は、インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルです。IP アドレスが 128 ビット化され、セキュリティ機能が追加されています。

IPX/SPX

IPX/SPX（Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange）は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

LLMNR

LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）は、近隣のコンピュータの名前解決を実行するためのプロトコルです。リクエストおよび応答メッセージの単純な交換を使用して、DNS サーバーまたは DNS クライアントの構成を必要とせずに近隣のコンピュータの名前解決を実行できます。

LLTD

LLTD（Link Layer Topology Discovery）は、ネットワーク上に存在する機器がどのようにつながっているかを調べるための技術です。この技術を搭載したネットワーク機器は、ネットワーク上の Windows Vista/Server 2008/7 から存在を認識され、Windows Vista/7 のネットワークマップ上にアイコンとして表示されます。

LPD/LPR

LPD/LPR (Line Printer Daemon/Line Printer Remote) は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともと BSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザーが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンターなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザーはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか (ユニキャスト)、受信可能な全エージェントに同時に送信されます (マルチキャスト)。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード (機器) に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード (機器) にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルータはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません (ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピューターになります)。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピューターが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SMTP

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバーにメールを送信するためにも利用されています。

SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス (エージェントと呼ばれます) は、そのデバイスに関するデータを MIB (Management Information Bases) に記録し、そのデータを SNMP リクエストに返します。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

WSD プリント

Windows Vista から搭載された Web サービス機能を使用した印刷方法です。Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、Web サービス機能により、ネットワーク接続されたプリンターを自動的に検出して WSD プリンターとしてインストールします。印刷時に WSD プリンターを指定することで、通信に HTTP を使用して印刷できます。

IPP (Internet Printing Protocol) 印刷

- 💡 プリンタードライバのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 💡 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 を使用時に [ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示される場合は、[続行] をクリックします。
- 💡 IPP 印刷をするときは、ネットワーク設定が必要です。詳しくは「接続方法」(p.125) と「IPP」(p.132) をごらんください。

Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 をお使いの場合

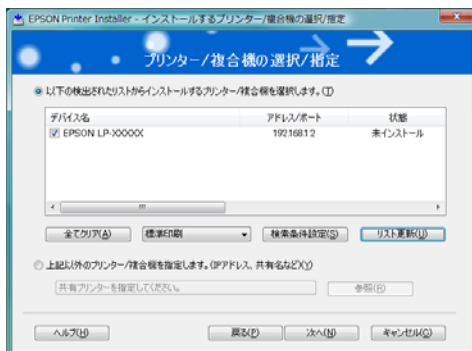
Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 をお使いの場合、プリンタードライバのインストールを行う前に OS 側で設定を行う必要があります。

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [管理ツール] から [サーバーマネージャ] を選択します。
 - 💡 ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 サーバーマネージャ画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。
- 4 [インターネット印刷クライアント] にチェックして機能をインストールします。
- 5 コンピューターを再起動します。

インストーラからの IPP ポートの追加

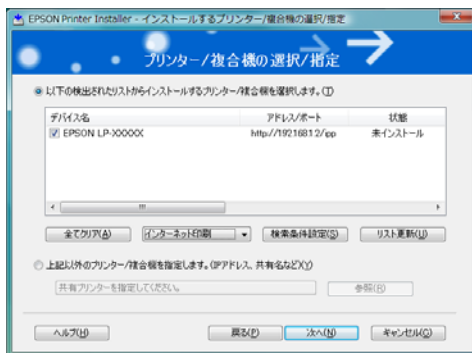
- 1 ソフトウェアディスクを **CD/DVD-ROM** ドライブに入れます。
インストーラーが起動します。
 - 💡 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 をご使用の場合は、ソフトウェアディスク 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので、[EPSetup.exe の実行] をクリックしてください。
 - 💡 インストーラーが自動的に起動しない場合は、ソフトウェアディスク内の [EPSetup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

- 2 「簡単インストール」をクリックします。
- 3 [ソフトウェア使用許諾契約書]が表示されます。[同意する]をクリックし、[次へ]をクリックします。
- 4 [[MyEPSON] アシスタント] のインストーラーが起動します。
[OK] をクリックすると、[[MyEPSON] アシスタント] のインストールを開始します。
[キャンセル] をクリックすると、インストールしないで次に進みます。
- 5 「インストーラーライセンス契約」画面が表示されますので、内容をお読みください。[同意します] ボタンをクリックします。
- 6 「お読みください」画面が表示されますので、内容を確認して [次へ] をクリックします。
- 7 [プリンターのインストール] を選択して [次へ] をクリックします。
- 8 プリンターが検出され、デバイスリストに表示されます。デバイスリストから本機を選択してください。

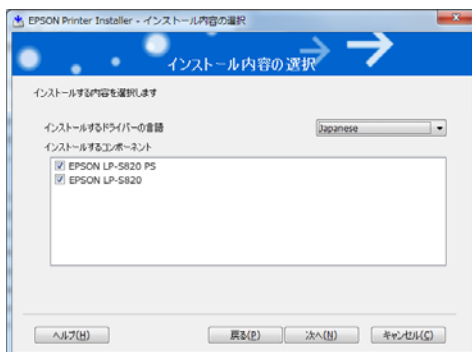


- [検索条件設定]：[検索条件設定] をクリックして、他のネットワークでプリンターを検索します。
- [リスト更新]：[リスト更新] をクリックすると、検索されたプリンターの情報が最新のものに更新されます。

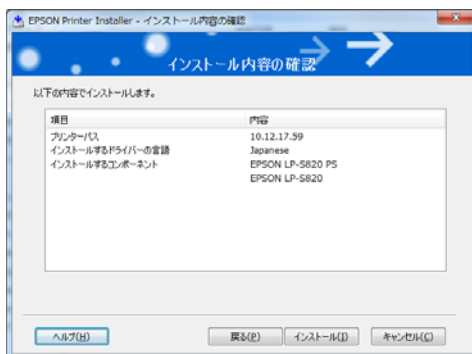
- 9 印刷方法のプルダウンリストから【インターネット印刷】を選択し、【次へ】をクリックします。



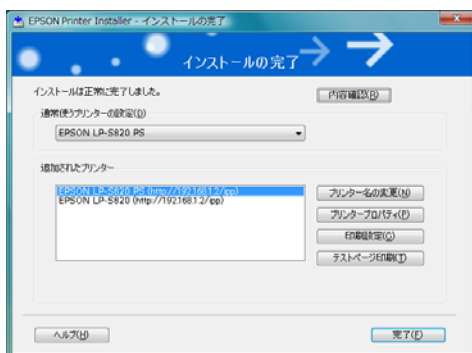
- 10 インストールするドライバーの言語とコンポーネントを選択し、【次へ】ボタンをクリックします。



11 インストールする内容を確認し、[インストール] をクリックします。



12 [完了] をクリックします。

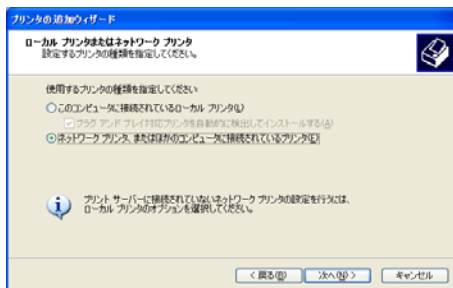


これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

【プリンターの追加】 ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows XP/Server 2003 の場合)

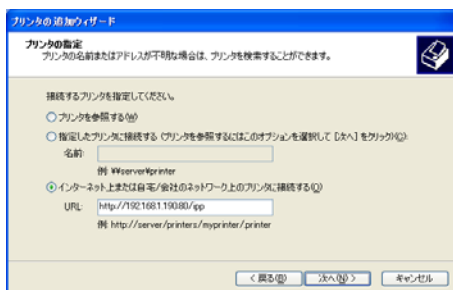
[スタート] をクリックして、[プリンタと FAX] を選択します。次に [プリンターの追加] をクリックします。

- 1 2 番目に表示される画面で [ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。



- 2 次に表示される画面で、[URL] に以下のいずれかの形式でプリンターのネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp



システムがプリンターに接続できない場合、「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。

- 3 [ディスク使用] をクリックして、本製品のソフトウェアディスクを CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

- 4 [参照] を選択します。

- 5 ソフトウェアディスクの目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し (例: Printer\Driver\Drivers\Win_x86\PS\Japanese)、[開く] をクリックします。その後は画面の指示に従って設定を終了します。

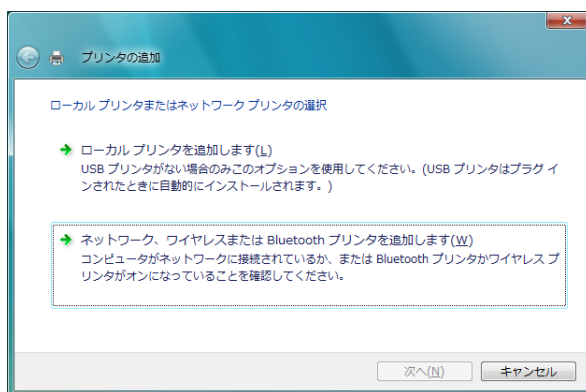
【プリンタの追加】 ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合)

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタ] をクリックします。

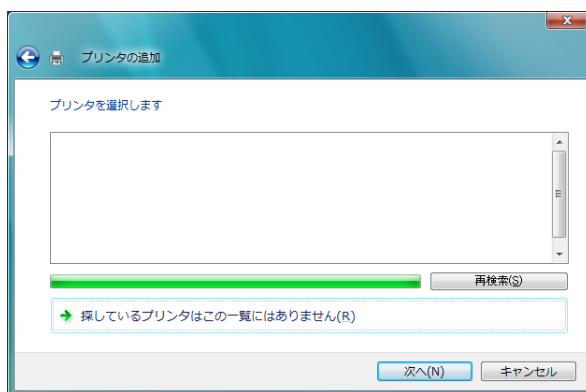
💡 Windows 7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合 / [デバイスとプリンタの表示] を選択すると [ハードウェアとサウンド] が表示されません。

2 [プリンタの追加] をクリックします。

3 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」 をクリックします。

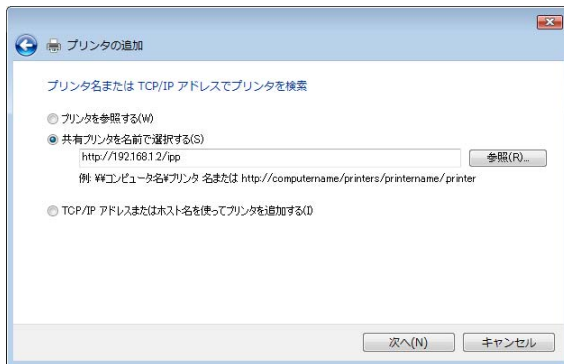


4 「探しているプリンタはこの一覧にはありません」 をクリックします。



5 次に表示される画面で、[共有プリンタを名前で選択する] に以下のいずれかの形式で本機のネットワークパス名を入力し、[次へ] をクリックします。

- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp



💡 プリンターへ接続できなかった場合、以下のメッセージが表示されます。「プリンターへ接続できませんでした。名前が正しく入力されていて、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。」

6 [ディスク使用] をクリックして、本製品のソフトウェアディスクを CD/DVD ドライブに入れます。

7 [参照] をクリックします。

8 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し（例：Printer\Driver\Drivers\Win_x86\PS\Japanese）、[開く] をクリックします。その後は画面の指示に従って設定を終了します。

Web サービスプリント

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールできます。

💡 プリンタードライバーのインストールを行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

💡 プリンタードライバーのインストールを行う前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

💡 Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 では、[ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

💡 詳しくは「接続方法」(p.125)、「WSD プrint」(p.134) をご覧ください。

Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 をお使いの場合

Windows Server 2008/Server 2008 R2 を使用する場合、プリンタードライバーをインストールする前に OS 側で設定を行う必要があります。

1 [スタート] をクリックします。

2 [管理ツール] から、[サーバーマネージャ] を選択します。

💡 [ユーザーアカウント制御] が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。


3 [サーバーマネージャ] 画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。

4 [印刷サービスツール] または [印刷とドキュメントサービスツール] を選んでインストールします。

ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる (Windows 7/Server 2008 R2 の場合)

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 で Web サービスプリントを利用する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

 インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。インストールするポートはどのポートでも構いません。詳しくは、「[プリンタの追加] ウィザードからの IPP ポートの追加 (Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 の場合)」(p.140) をごらんください。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源をオンにします。インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

3 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。

4 [ネットワーク] 画面を開きます。

- Windows Vista/Server 2008 の場合：[スタート] から [ネットワーク] をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合：[コンピューター] を開き、[ネットワーク] をクリックします。

[コンピューター] に [ネットワーク] がない場合、[コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット] - [ネットワークのコンピューターとデバイスの表示] を選択します。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

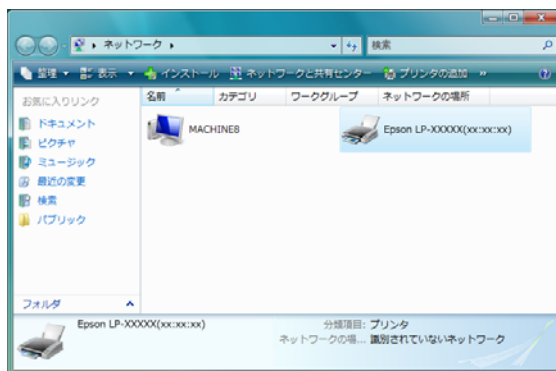
5 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの [インストール] をクリックします。

本機のプリンタードライバーが検出され、印刷できる状態になります。

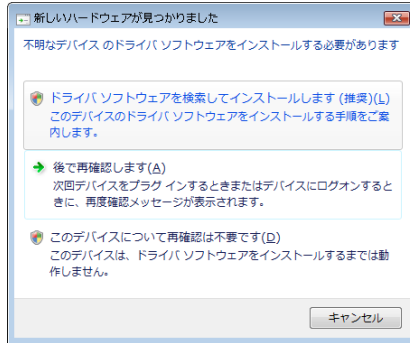
6 インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

ネットワークウィンドウからプリンターを追加 (Windows Vista/Server 2008 の場合)

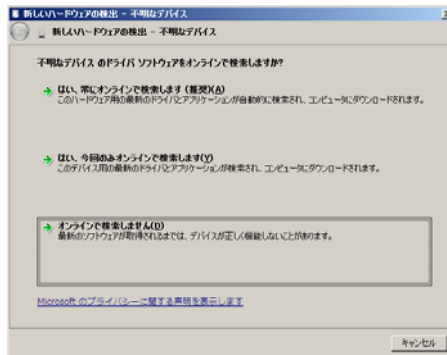
- 1 本機をネットワークに接続した状態で電源をオンにします。インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。
- 2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。
- 3 [ネットワーク] 画面を開きます。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、[スタート] をクリックして、[ネットワーク] をクリックします。
 - Windows 7 の場合は、[コンピューター] をクリックして、[ネットワーク] をクリックします。
 - [コンピューター] に [ネットワーク] が表示されないときは、[コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット] カテゴリをクリックし、[ネットワークのコンピューターとデバイスの表示] をクリックします。
- 4 本機のデバイス名を選択し、ツールバーの [インストール] をクリックします。



5 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



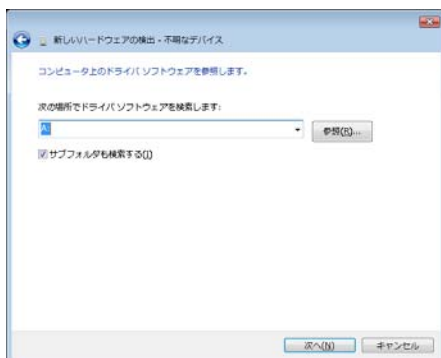
6 Windows Vista の場合、手順 7 へお進みください。
Windows Server 2008 の場合、[オンラインで検索しません] をクリックします。



- 7 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



- 8 [参照] をクリックします。




- 9 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。


- 10 [次へ] をクリックします。

- 11 [閉じる] をクリックします。

プリンターの追加ウィザードでプリンターを追加する

Windows Vista/Server 2008 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。


 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。詳しくは、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバを認識させる」をごらんください。


 Windows Vista/Server 2008 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 **Web** サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で [ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。

2 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラーが起動します。

 ソフトウェアディスクをコンピューターの CD-ROM ドライブに入れると、[自動再生] ダイアログボックス内から、[EPSetup.exe の実行] を選択します。

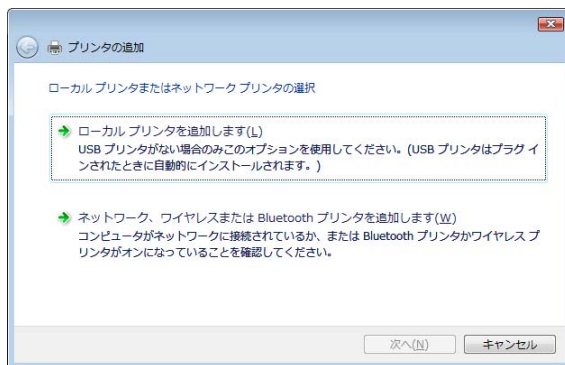
 インストーラーが自動で起動しなかった場合、[EPSetup.exe] をダブルクリックします。

3 インストーラーを閉じます。

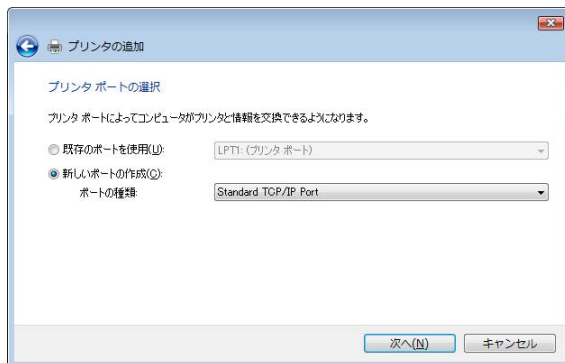
4 [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] をクリックします。

5 ツールバーの [プリンタの追加] をクリックします。

- 6 ダイアログボックス内の [ローカル プリントを追加します] を選択します。

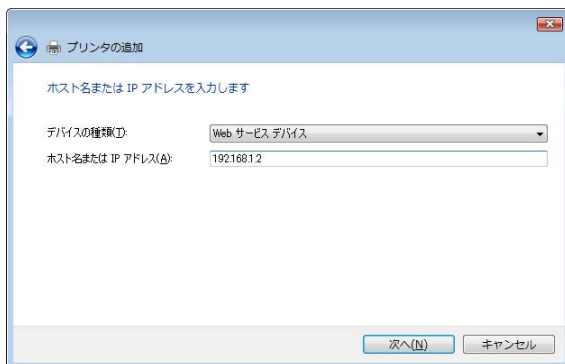


- 7 [新しいポートの作成] をクリックし、[Standard TCP/IP Port] を選択します。



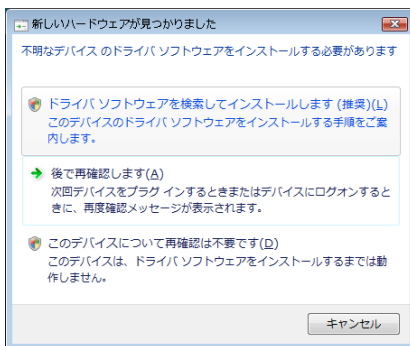
- 8 [次へ] をクリックします。

- 9 [Web サービスデバイス] を選択し、ホスト名または IP アドレスを入力して [次へ] をクリックします。

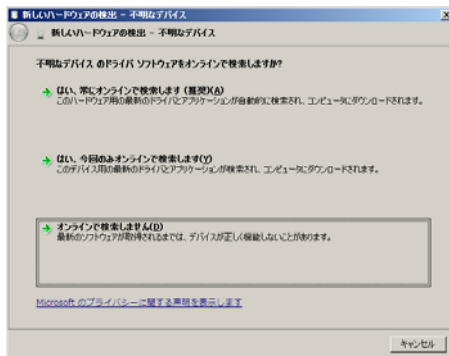


[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されます。

- 10 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



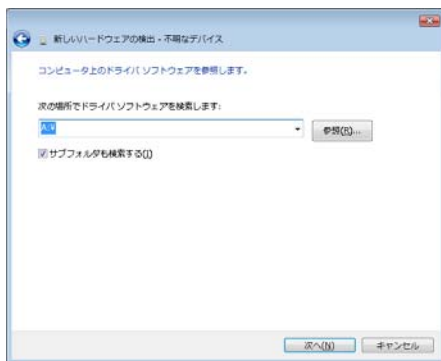
- 11** Windows Vista の場合、手順 **12** へお進みください。
Windows Server 2008 の場合、[オンラインで検索しません] をクリックします。



- 12** [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



13 [参照] をクリックします。



14 ソフトウェアディスク内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

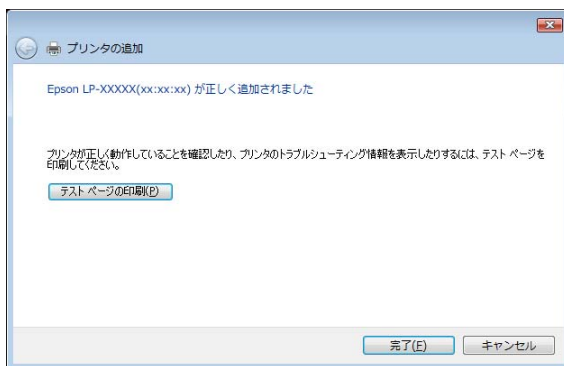
15 [次へ] をクリックします。

16 [閉じる] をクリックします。

17 [次へ] をクリックします。

18 プリンタードライバーを共有にするかどうかを選択して、[次へ] をクリックします。

19 [完了] をクリックします。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

サーバーとクライアント OS のビット数が異なる場合の対応

プリントサーバーで Windows Server 2008/Server 2008 R2 が稼動していて、かつ、プリントサーバーとクライアントコンピューターで稼動している OS のビット数が異なる場合、プリントサーバーに追加ドライバーを正しくインストールできないことがあります。

この問題は、プリントサーバーに追加ドライバーをインストールするとき、異なるビット数の OS のセットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定することで、解決できます。

ここでは、プリントサーバーとは別のコンピューターにあるセットアップ情報ファイルを指定して、追加ドライバーをインストールする方法を説明します。

💡 あらかじめ、プリントサーバーとは別のクライアントコンピューターを設定のために準備して、プリントサーバーとは違うビット数の OS をインストールしてください。

💡 プrintサーバー側で、クライアントコンピューターのシステムドライブを、ネットワークドライブとして割り当てます。あらかじめ、割り当てるドライブを共有するよう設定する必要があります。

追加ドライバーのインストール方法

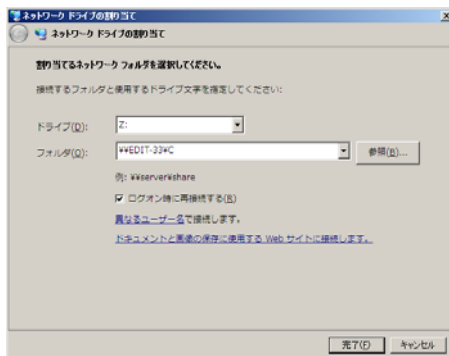
ここでは、例として、プリントサーバーに Windows Server 2008 (32bit)、クライアントコンピューターに Windows Vista (64bit) をインストールした場合の操作について説明します。

1 クライアントコンピューターの、OS がインストールされているドライブ (通常は C ドライブ) を、共有するように設定します。

💡 この設定はポストスクリプトドライバーのみ利用できます。

- 2 プリントサーバー (32bit) で、手順 1 で共有した、クライアントコンピュータ (64bit) のドライブ (例:「C」) を、ネットワークドライブ (例:「Z」) として割り当てます。

💡 この設定は PostScript ドライバーのみ利用できます。

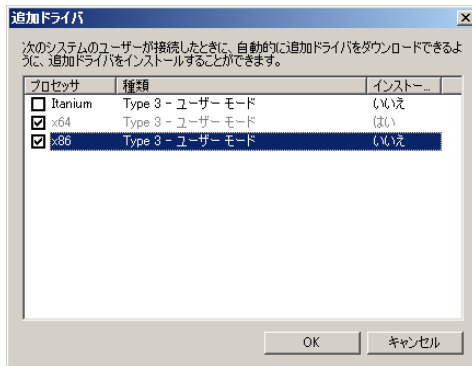


- 3 プリントサーバー (32bit) に、32bitOS 用のドライバーをインストールします。
- 4 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] の画面を開きます。



- 5 [共有] タブを選択し、[このプリンタを共有する] にチェックを入れます。
- 6 [追加ドライバ] をクリックします。[追加ドライバ] 画面が表示されます。

- 7 [プロセッサ] の列の [x86] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

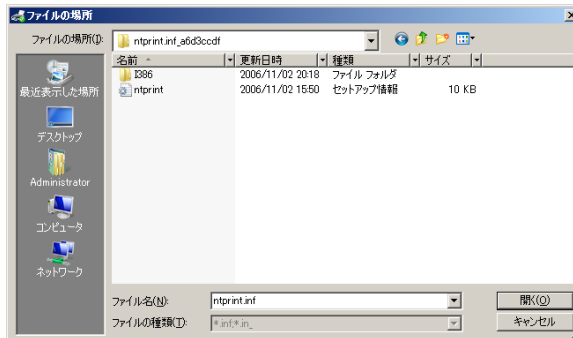


- 8 64bitOS 用のドライバーがあるフォルダーを指定します。セットアップ情報ファイルを要求する画面が表示されます。

9 [参照] をクリックし、ネットワークドライブを割り当てたクライアントコンピュータにある、セットアップ情報ファイル (ntprint.inf) を指定します。

💡 この設定は PostScript ドライバーのみ利用できます。

- 以下のファイルを指定します。
「z:\Windows\System32\DriverStore\FileRepository\ntprint.inf_xx x」
- 上記のパスで、「z」は割り当てたネットワークドライブです。また、最後の「_xxx」は、ドライバーのバージョンによって異なります。
- お使いのクライアントコンピュータによっては、セットアップ情報ファイルが格納されている場所が異なる場合があります。「ntprint.inf」と同じ階層に「amd64」というフォルダーが存在する場合、その配下に 64bitOS 用のセットアップ情報ファイルを指定してください。また、32bit 用 OS のドライバーを追加インストールする場合は、「ntprint.inf」と同じ階層に「I386」というフォルダーがあるセットアップ情報ファイルを指定してください。



10 [開く] をクリックします。
インストールを開始します。

11 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。
これで、32bitOS 用のドライバーの追加インストールが完了しました。

トラブルシューティング

症状	対応処置
サーバが Windows Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 で、クライアントが Windows XP/Vista/7 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタドライバをインストールしてください。

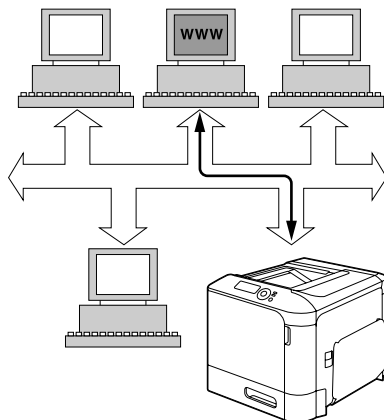
**EpsonNet Config
の使い方**

5

EpsonNet Config について

EpsonNet Config は、プリンターに内蔵されている HTTP (Hyper-Text Transfer Protocol) ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

EpsonNet Config を使用すると、プリンターのステータス (状況) や、プリンターで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上のプリンターにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンターの設定を変更することができます。



💡 管理者からパスワードを知らされていないユーザーは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語


EpsonNet Config 上で表示される言語は、プリンターの操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、ユーザーズガイド (ソフトウェアディスク内に収録される PDF マニュアル) をごらんください。

また、EpsonNet Config の [言語] プルダウンリストから言語を選択することもできます。詳しくは、「言語設定」(p.165) をごらんください。


動作環境

EpsonNet Config を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2、Mac OS X 10.3.9/10.4/10.5/10.6
- Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降
Mozilla Firefox version 2.0 以降

 インターネットへ接続する必要はありません。

- お使いのコンピューターに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（EpsonNet Config で使用されます）
- お使いのコンピューターとプリンターの両方がネットワークに接続されていること

 ローカル接続（USB 接続）の場合は、EpsonNet Config にアクセスできません。

プリンター内蔵 Web ページの設定

プリンター内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の2つの設定が必要です。

- プリンターの名前とアドレスを設定します。
- Web ブラウザ上で [プロキシなし] の設定を行います。

プリンター名の設定

プリンターの内蔵 Web ページには、以下の2種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンター名を指定することもできます。

- プリンターに割り当てられた名前を使用する

プリンター名はコンピューター内の IP ホストテーブル（ファイル名は“hosts”）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：LP-S820）。IP アドレスよりもプリンター名を使用の方が扱いやすい場合もあります。

コンピューター内のホストテーブルファイルの場所

- %windows%system32%drivers%etc%hosts

- プリンターの IP アドレスを使用する

プリンターの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンターが動作している場合は、入力する値として識別しやすい必要があります。プリンターの IP アドレスは、設定リストページに記載されています。

プリンターの設定メニュー内の設定リストページの場所

- [印刷メニュー] — [設定リスト] メニュー

Web ブラウザの設定

プリンターはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の [プロキシなし] のリストにプリンターの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

💡 この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

💡 ここでの例では、プリンターの IP アドレスの部分を [xxx.xxx.xxx.xxx] と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンターの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

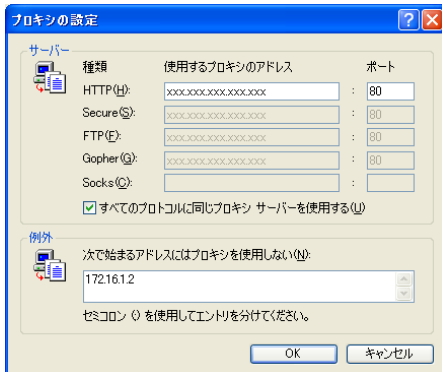
Internet Explorer (Windows 版バージョン 6.0)

1 Internet Explorer を起動します。

2 [ツール] メニューから [インターネット オプション] を選択します。

3 画面の [接続] タブをクリックします。

4 [LAN の設定] ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定画面を表示します。



5 プロキシ サーバー内の [詳細設定] ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて [例外] テキストボックスにお使いのプリンターの名前または IP アドレスを入力します。

7 [OK] を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスにプリンターの IP アドレスを入力して、プリンターの Web ページにアクセスします。



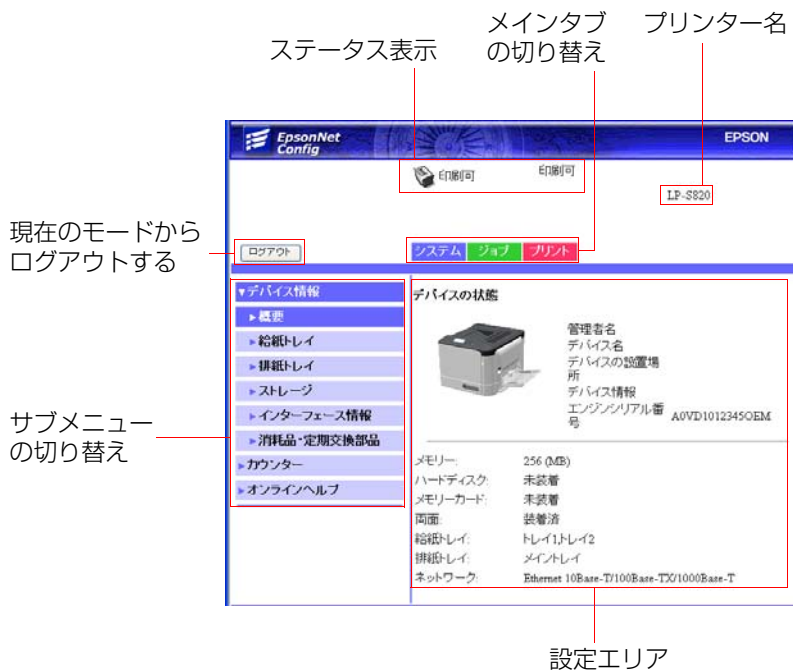
Mozilla Firefox (Mac OS X 10.0 バージョン 3.5)

- 1 **Mozilla Firefox** を起動します。
- 2 [Fire fox] メニューから、[環境設定] を選択します。
- 3 ダイアログボックスの上部から [詳細] を選択します。
- 4 [ネットワーク] タブを選択します。
- 5 [接続設定] を選択します。
- 6 [手動でプロキシを設定する] を選択します。
- 7 [プロキシなしで接続] のテキストボックスに最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンターの名前または IP アドレスを入力します。
- 8 [OK] をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。
- 9 URL 入力ボックスにプリンターの名前または IP アドレスを入力して、プリンターの Web ページにアクセスします。



EpsonNet Config ウィンドウについて

以下の画面図では、EpsonNet Config ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。



操作方法





メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

💡 設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。(「ログインの方法」(p.165)を参照してください。)

ステータス表示


プリンターの現在の状態（ステータス）は、EpsonNet Config ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディー	プリンターがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	印刷可 印刷中
	警告	プリンターに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	用紙なし ト/イ 1 ト/残量少 Y
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ト/なし Y 紙詰まり ト/イ 1
	注意	プリンターに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	用紙確認
	トラブル	プリンターを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	サービスコール XXX

ログインの方法

ログイン画面

EpsonNet Config を使用する際に、ユーザー認証や部門認証、言語選択を行うことができます。認証を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。認証についての詳細は、「認証」(p.193)または「ユーザー認証」(p.256)をごらんください。

 EpsonNet Config にはユーザー、管理者あわせて 100 クライアントが同時に接続できます。また、パブリックユーザー、レジスタユーザー、管理者とも複数同時に接続できます。ただし、管理者としてログインできるのは 1 クライアントのみです。

言語設定

必要に応じて、Web Connection で表示する言語を変更できます。

パブリックユーザーモード


パブリックユーザーモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

- 1 [パブリックユーザー] を選択します。
- 2 [ログイン] ボタンをクリックします。


レジスタユーザーモード

レジスタユーザーモードでは、設定内容を確認できますが、設定内容の変更はできません。

ユーザー認証モード


 ユーザー認証モードを使用するには、管理者モードでログインした後、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で [ユーザー認証] を [オン] に設定して、新規登録画面（[システム] — [認証] — [ユーザー登録] — [新規登録]）で新規ユーザーの登録を行ってください。詳細は「認証」(p.193)または「ユーザー認証」(p.256)をごらんください。

- 1 [レジスタユーザー] を選択します。

- 2 テキストボックスに [ユーザー名] と [ユーザーパスワード] をそれぞれ入力します。
 - 3 ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [部門認証] を [オン] に設定している場合は手順 4 へ進みます。
[部門認証] を [オフ] に設定している場合は手順 5 へ進みます。
 - 4
 - ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [ユーザー認証 / 部門認証連動] を [連動しない] に、[部門認証方法] を [アカウント名とパスワード] に設定している場合は、テキストボックスに [アカウント名] と [アカウントパスワード] をそれぞれ入力します。
 - ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [ユーザー認証 / 部門認証連動] を [連動しない] に、[部門認証方法] を [パスワードのみ] に設定している場合は、テキストボックスに [アカウントパスワード] を入力します。
-  ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [ユーザー認証 / 部門認証連動] を [連動する] に設定した場合、[部門認証方法] をどちらに設定してもログイン画面には [アカウント名]、[アカウントパスワード] は表示されません。

- 5 [ログイン] ボタンをクリックします。


部門認証モード

-  部門認証モードを使用するには、管理者モードでログインした後、ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [部門認証] を [オン] に設定して、新規登録画面 ([システム] — [認証] — [アカウント登録] — [新規登録]) で新規アカウントの登録を行ってください。詳細は「アカウント登録」(p.196) または「ユーザー認証」(p.256) をご覧ください。

- 1 [アカウント] を選択します。
- 2
 - ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [部門認証方法] を [アカウント名とパスワード] に設定している場合は、テキストボックスに [アカウント名] と [アカウントパスワード] をそれぞれ入力します。
 - ユーザー認証画面 ([ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]) で [部門認証方法] を [パスワードのみ] に設定している場合は、テキストボックスに [アカウントパスワード] を入力します。
- 3 [ログイン] ボタンをクリックします。

管理者モード


管理者モードでは、設定内容を変更することができます。

- 1 [管理者] を選択します。
- 2 [ログイン] ボタンをクリックします。管理者パスワード入力画面が表示されます。
- 3 テキストボックスに [管理者パスワード] を入力します。
 パスワードの初期設定は [administrator] ですが、管理者モードでログイン後、管理者パスワード画面（システム — 管理者パスワード）でパスワードを変更することができます。
- 4 [OK] ボタンをクリックします。

プリンターのステータスの表示

システム画面


システム画面では、プリンターのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンター名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

 システム画面内の情報はすべて表示されるのみで、変更はできません。

デバイス情報

概要（前ページ画面）

[システム] — [デバイス情報] — [概要] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[メモリー]	プリンターに装着されているメモリーの量が表示されます。
[ハードディスク]	プリンターに装着されているオプションの増設ストレージ HDD の容量が表示されます。 オプションの増設ストレージ HDD が装着されていない場合は、“未装着”と表示されます。
[メモリーカード]	EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
[両面]	プリンターに両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
[給紙トレイ]	プリンターに装着されている給紙トレイが表示されます。  オプションの給紙トレイが装着されている場合に、トレイ 3 が表示されます。
[排紙トレイ]	プリンターに装着されている排紙トレイが表示されます。
[ネットワーク]	プリンターに装着されているネットワークインターフェースが表示されます。（Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）

給紙トレイ

[システム] — [デバイス情報] — [給紙トレイ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[給紙トレイ]	プリンターに装着されている給紙トレイ (トレイ 1/2/3) が表示されます。
[用紙サイズ]	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
[用紙種類]	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
[用紙]	各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
[詳細] ボタン	給紙トレイ (詳細) 画面が表示されます。

給紙トレイ (詳細)

[システム] — [デバイス情報] — [給紙トレイ] — [詳細] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[給紙トレイ]	給紙トレイの名前が表示されます。
[用紙サイズ]	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
[用紙種類]	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
[容量]	給紙トレイの最大容量が表示されます。
[用紙]	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
[戻る] ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

排紙トレイ

[システム] — [デバイス情報] — [排紙トレイ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トレイ]	排紙トレイの名前が表示されます。
[用紙]	排紙トレイの状態 ([レディー]、[いっぱいです]) が表示されます。

ストレージ

[システム] — [デバイス情報] — [ストレージ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[合計]	ハードディスクの総容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。
[使用中]	ハードディスクの使用容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。
[残り]	ハードディスクの残りの容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-] が表示されます。

インターフェース情報

[システム] — [デバイス情報] — [インターフェース情報] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明	
[プロトコル情報]	[TCP/IP]	TCP/IP が有効かどうか表示されます。
	[IPv6]	IPv6 が有効かどうか表示されます。
	[Bonjour]	Bonjour が有効かどうか表示されます。
	[FTP]	FTP が有効かどうか表示されます。
	[ダイナミック DNS]	ダイナミック DNS が有効かどうか表示されます。
	[IPP]	IPP が有効かどうか表示されます。
	[LPD]	LPD が有効かどうか表示されます。
	[RAW ポート]	RAW ポートが有効かどうか表示されます。
	[SLP]	SLP が有効かどうか表示されます。
	[SMTP]	SMTP が有効かどうか表示されます。
	[SNMP]	SNMP が有効かどうか表示されます。
	[WSD プリント]	WSD プリントが有効かどうか表示されます。
	[LLTD]	LLTD が有効かどうか表示されます。
	[LLMNR]	LLMNR が有効かどうか表示されます。
	[AppleTalk]	AppleTalk が有効かどうか表示されます。
	[NetWare]	NetWare が有効かどうか表示されます。
[IEEE802.1x]	IEEE802.1x が有効かどうか表示されます。	

項目	説明
[ネットワーク情報]	[タイプ] プリンターに装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。 (Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)
	[Ethernet の速度] ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
	[IP アドレス] イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
	[IPv6 リンクローカルアドレス] IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
	[IPv6 グローバルアドレス] IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
	[MAC アドレス] イーサネットインターフェースの MAC (Media Access Control) アドレスが表示されます。
	[ホスト名] プリンターのホスト名が表示されます。
	[プリントサーバー名 (NetWare)] NetWare のプリントサーバー名が表示されます。
	[プリンター名 (AppleTalk)] AppleTalk のプリンター名が表示されます。
	[現在のゾーン名 (AppleTalk)] AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	[Bonjour 名] プリンターの Bonjour 名が表示されます。
	[WSD プリンター名] WSD プrint のプリンター名が表示されます。

消耗品・定期交換部品

[システム] — [デバイス情報] — [消耗品・定期交換部品] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[消耗品・定期交換部品]	プリンターの消耗品と定期交換部品が表示されます。
[ステータス]	各消耗品と定期交換部品の残りの寿命が表示されます。
[TYPE]	消耗品と定期交換部品の種類が表示されます。

カウンタ

[システム] — [カウンタ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ページ数]	これまでに印刷した枚数が表示されます。
[印刷枚数 (用紙サイズ)]	用紙サイズごとの印刷枚数が表示されます。
[印刷枚数 (用紙種類)]	用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。


オンラインヘルプ

[システム] — [オンラインヘルプ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[お問い合わせ先名称]	プリンターに関する問い合わせ先が表示されます。
[お問い合わせ先情報]	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
[製品ヘルプの URL]	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
[コーポレート URL]	エプソンの Web サイトの URL が表示されます。
[消耗品情報]	消耗品とアクセサリ (付属品) の発注先の Web サイトの URL が表示されます。
[お問い合わせ先電話番号]	プリンター管理者の電話番号が表示されます。


項目	説明
[お問い合わせ住所]	サポート先の E-mail アドレスが表示されます。
[ユーティリティへのリンク]	プリンター管理ユーティリティの Web サイトの URL が表示されます。

ユーザー認証

 この画面は、レジスタユーザーモードでログインした場合には表示されません。


パスワード変更

[システム] — [ユーザー認証] — [パスワード変更] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[ユーザー認証名]	ログインしているユーザーのユーザー名が表示されます。
[現在のパスワード]	ログインしているユーザーの現在のパスワードを入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値： (空白)
[新しいパスワード]	新しいパスワードを入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値： (空白)
[新しいパスワードの再入力]	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値： (空白)
[適用] ボタン	新しいパスワードを適用します。  設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、設定しなおしてください。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

登録情報

[システム] — [ユーザー認証] — [登録情報] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[登録ユーザー情報]	ログインしているユーザーの登録番号、ユーザー認証名、アカウント名が表示されます。  アカウント名は、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で [ユーザー認証 / 部門認証連動] を [連動する] に設定している場合に表示されます。
[機能許可情報]	ログインしているユーザーの機能許可情報が表示されます。
[出力許可情報]	ログインしているユーザーの出力許可情報が表示されます。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できません。

処理中ジョブリスト

[ジョブ] — [処理中ジョブリスト] 画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] — [マシン設定] — [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[ジョブの状態]	プリントジョブの現在の状況（解析中、印刷中、キャンセル、保留中、停止）が表示されます。

項目	説明
[登録時刻]	ジョブの登録時刻が表示されます。
[削除] ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

[ジョブ] — [処理済ジョブリスト] 画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] — [マシン設定] — [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
[詳細] ボタン	詳細画面が表示されます。

処理済ジョブリスト（詳細）

[ジョブ] — [処理済ジョブリスト] — [詳細] 画面では、選択されたプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。

項目	説明
[配信方法]	ジョブの配信方法（ボックス保存&印刷、確認プリント、IPPプリント、機密プリント、ボックス保存、レポートプリント、通常印刷）が表示されます。
[登録時刻]	ジョブを登録した時刻が表示されます。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル済み）が表示されます。
[戻る] ボタン	処理済ジョブリスト画面に戻ります。


プリント画面


プリント画面では、PDLプリンタードライバを使わずに印刷する場合の設定値を確認することができます。

デフォルト設定

一般設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [一般設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[PDL]	デフォルトとして選択されているプリンター制御言語が表示されます。
[給紙トレイ]	通常使用される給紙トレイが表示されます。
[両面]	[長辺綴じ] が選択されている場合は、長辺とじて両面印刷を行います。 [短辺綴じ] が選択されている場合は、短辺とじて両面印刷を行います。  この項目は、オプションの両面印刷ユニットが装着されている場合に表示されます。
[排紙トレイ]	排紙トレイの名称が表示されます。
[部数]	デフォルトとして設定されている印刷部数が表示されます。
[用紙サイズ]	デフォルトとして設定されている用紙のサイズが表示されます。
[幅]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。

項目	説明
[長さ]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
[用紙種類]	デフォルトとして設定されている用紙の種類が表示されます。
[部単位印刷]	[オン] が表示されている場合、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 [オフ] が表示されている場合、文書は部単位で印刷されません。  この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。
[計測単位]	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）が表示されます。

給紙トレイ設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [給紙トレイ設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明	
[トレイ 1]	[用紙サイズ]	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	[幅]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
	[長さ]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
	[用紙種類]	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。
[トレイ 2]	[用紙サイズ]	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	[幅]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の幅が表示されます。
	[長さ]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定している場合は、カスタム用紙の長さが表示されます。
	[用紙種類]	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。

項目		説明
[トレイ 3] この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	[用紙サイズ]	トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙のサイズが表示されます。
	[用紙種類]	トレイ 3 にセットするよう設定されている用紙の種類が表示されます。
[自動トレイ切替え]		[有効] が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズ of 用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 [無効] が表示されている場合は、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。

トレイマッピング設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [トレイマッピング設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トレイマッピングモード]	トレイマッピング機能を使用するかどうかが表示されます。
[論理トレイ 0 ~ 9]	他社のプリンタードライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかが表示されます。

PS 設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [PS 設定] 画面では、以下の項目を確認できます。


項目	説明
[印刷待ちタイムアウト]	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間が表示されます。 [0] が表示されている場合は、タイムアウトを行いません。
[PS プロトコル]	PS プロトコルの設定が表示されます。
[PS エラーの印刷]	エラープリントをするかどうかが表示されます。

項目	説明
[自動トラッピング]	自動トラッピング機能が有効かどうか表示され ます。
[ブラックオーバー プリント]	ブラックオーバープリント機能が有効かどうか表 示されます。

XPS 設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [XPS 設定] 画面では、以下の項目を
確認できます。

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場
合に表示されます。

 本製品は XPS プリンタードライバーに対応していません。

項目	説明
[電子署名]	電子署名が有効かどうか表示されます。
[XPS エラープリント]	エラープリントをするかどうかが表示されます。

印刷品質設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [印刷品質設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[印刷品質設定]	[カラーモード] [カラー] が表示されている場合は、フルカラーで印刷されます。 [モノクロ] が表示されている場合は、モノクロで印刷されます。
[カラーセパレーション]	色分解を行うかどうかが表示されます。
[明るさ調整]	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。
[スクリーン] ([イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷])	イメージ、テキスト、グラフィックスの中間色の再現性が表示されます。 [高精細] が表示されている場合は、高精密に中間色を再現します。 [精細] が表示されている場合は、精細に中間色を再現します。 [スムーズ] が表示されている場合は、スムーズに中間色を再現します。
[エッジ強調] ([イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷])	イメージ、テキスト、グラフィックスのエッジ強調を行うかどうかが表示されます。
[エッジ強度]	エッジ強調を行う場合のエッジ強度の設定が表示されます。
[エコノミー印刷モード]	エコノミー印刷モードが有効かどうかが表示されます。 エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。

項目		説明
[PS 印刷設定]	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB ソース)]	RGB データの色空間の設定が表示されます。
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB 特性)]	RGB データを CMYK データに変換するときの特性が表示されます。
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB グレー再現)]	RGB データの黒色とグレーの再現方法が表示されます。
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (出力プロファイル)]	印刷に使用される出力プロファイルが表示されます。
	[シミュレーションプロファイル]	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルが表示されます。
	[シミュレーション (特性)]	印刷に使用されるシミュレーション特性が表示されます。
	[シミュレーション (CMYK グレー再現)]	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法が表示されます。

項目		説明
[階調補正]	[濃度補正]	濃度補正を行うかどうかが表示されます。
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (ハイライト部)]	ハイライト部の CMYK 濃度が表示されます。
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (中間部)]	中間部の CMYK 濃度が表示されます。
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (シャドウ部)]	シャドウ部の CMYK 濃度が表示されます。

フォント / フォーム

PS フォント

[プリント] — [フォント / フォーム] — [PS フォント] 画面では、プリンターが管理する PostScript フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
[番号]	フォントの管理番号が表示されます。
[フォント名]	フォント名称が表示されます。
[保存場所]	フォントの保存場所が表示されます。

フォーム

[プリント] — [フォント / フォーム] — [フォーム] 画面では、プリンターが管理するフォームの一覧を確認できます。

項目	説明
[番号]	フォームの管理番号が表示されます。
[ファイル名]	フォームのファイル名が表示されます。
[保存場所]	フォームの保存場所が表示されます。


カラープロファイル

[プリント] — [フォント/フォーム] — [カラープロファイル] 画面では、プリンターが管理するカラープロファイルの一覧を確認できます。

項目	説明
[番号]	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
[ファイル名]	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
[プロファイル名]	カラープロファイル名称が表示されます。
[クラス]	カラープロファイルの種類が表示されます。
[色空間]	カラープロファイルの色空間が表示されます。
[保存場所]	カラープロファイルの保存場所が表示されます。


レポート印刷

[プリント] — [レポート印刷] 画面では、以下のレポートを印刷できます。

項目	説明
[設定リストページ]	設定リストページを印刷します。
[統計ページ]	印刷枚数などの統計ページを印刷します。
[PS フォントページ]	PostScript フォントの一覧を印刷します。
[メニューマップページ]	メニューマップを印刷します。
[ディレクトリーリストページ]	ハードディスクのディレクトリーの一覧を印刷します。  この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ表示されます。
[プリント] ボタン	選択したページを印刷します。
[クリア] ボタン	項目の選択を解除します。

ダイレクトプリント

[プリント] — [ダイレクトプリント] 画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンターからファイルを印刷できます。

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ表示されます。

💡 このメニューは、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で [パブリック許可] を [許可] に設定し、かつデフォルト設定画面（[システム] — [認証] — [デフォルト設定]）で [プリント] を [許可] に設定している場合に表示されます。

💡 ダイレクトプリントでは、PDF、TIF、JPEG および XPS 形式のファイルを印刷できます。

項目	説明
[ファイル名]	印刷するファイルの場所を指定します。 [参照] ボタンをクリックしてファイルを指定することもできます。
[参照] ボタン	印刷するファイルを参照するダイアログボックスが表示されます。
[送信] ボタン	指定したファイルをプリンターへ転送します。

プリンターの設定

EpsonNet Config を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」(p.167) を参照してください。



システム画面

システム画面では、ユーザー設定とプリンターに関する設定を行うことができます。

デバイス情報

概要

[システム] — [デバイス情報] — [概要] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[メモリー]	プリンターに装着されているメモリーの量が表示されます。
[ハードディスク]	プリンターに装着されているオプションの増設ストレージ HDD の容量が表示されます。  この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。
[メモリーカード]	EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
[両面]	プリンターに両面ユニットが装着されているかどうかが表示されます。
[給紙トレイ]	プリンターに装着されている給紙トレイが表示されます。  [トレイ 3] はオプションの給紙ユニットが装着されている場合に表示されます。
[排紙トレイ]	プリンターに装着されている排紙トレイが表示されます。
[ネットワーク]	プリンターに装着されているネットワークインターフェースが表示されます。(Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)

給紙トレイ

[システム] — [デバイス情報] — [給紙トレイ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[給紙トレイ]	プリンターに装着されている給紙トレイ（トレイ 1/2/3）が表示されます。
[用紙サイズ]	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
[用紙種類]	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
[用紙]	各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
[詳細] ボタン	給紙トレイ（詳細）画面が表示されます。

給紙トレイ（詳細）

[システム] — [デバイス情報] — [給紙トレイ] — [詳細] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[給紙トレイ]	給紙トレイの名前が表示されます。
[用紙サイズ]	給紙トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
[用紙種類]	給紙トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
[容量]	給紙トレイの最大容量が表示されます。
[用紙]	給紙トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。
[戻る] ボタン	給紙トレイ画面に戻ります。

排紙トレイ

[システム] — [デバイス情報] — [排紙トレイ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トレイ]	排紙トレイの名前が表示されます。
[用紙]	排紙トレイの状態（[レディー]、[いっぱいです]）が表示されます。

ストレージ

[システム] — [デバイス情報] — [ストレージ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[合計]	ハードディスクの総容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-]が表示されます。
[使用中]	ハードディスクの使用容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-]が表示されます。
[残り]	ハードディスクの残りの容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、[-]が表示されます。

インターフェース情報

[システム] — [デバイス情報] — [インターフェース情報] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明	
[プロトコル情報]	[TCP/IP]	TCP/IP が有効かどうか表示されます。
	[IPv6]	IPv6 が有効かどうか表示されます。
	[Bonjour]	Bonjour が有効かどうか表示されます。
	[FTP]	FTP が有効かどうか表示されます。
	[ダイナミック DNS]	ダイナミック DNS が有効かどうか表示されます。
	[IPP]	IPP が有効かどうか表示されます。
	[LPD]	LPD が有効かどうか表示されます。
	[RAW ポート]	RAW ポートが有効かどうか表示されます。
	[SLP]	SLP が有効かどうか表示されます。
	[SMTP]	SMTP が有効かどうか表示されます。
	[SNMP]	SNMP が有効かどうか表示されます。
	[WSD プリント]	WSD プリントが有効かどうか表示されます。
	[LLTD]	LLTD が有効かどうか表示されます。
	[LLMNR]	LLMNR が有効かどうか表示されます。
	[AppleTalk]	AppleTalk が有効かどうか表示されます。
	[NetWare]	NetWare が有効かどうか表示されます。
[IEEE802.1x]	IEEE802.1x が有効かどうか表示されます。	

項目	説明
[ネットワーク情報]	[タイプ] プリンターに装着されているネットワークインターフェースの種類が表示されます。 (Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T)
[Ethernet の速度]	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式が表示されます。
[IP アドレス]	イーサネットインターフェースの IP アドレスが表示されます。
[IPv6 リンクローカルアドレス]	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。
[IPv6 グローバルアドレス]	IPv6 グローバルアドレスが表示されます。
[MAC アドレス]	イーサネットインターフェースの MAC (Media Access Control) アドレスが表示されます。
[ホスト名]	プリンターのホスト名が表示されます。
[プリントサーバー名 (NetWare)]	NetWare のプリントサーバー名が表示されます。
[プリンター名 (AppleTalk)]	AppleTalk のプリンター名が表示されます。
[現在のゾーン名 (AppleTalk)]	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
[Bonjour 名]	プリンターの Bonjour 名が表示されます。
[WSD プリンター名]	WSD プrint のプリンター名が表示されます。

消耗品・定期交換部品

[システム] — [デバイス情報] — [消耗品・定期交換部品] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[消耗品・定期交換部品]	プリンターの消耗品と定期交換部品が表示されます。

項目	説明
[ステータス]	各消耗品と定期交換部品の残りの寿命が表示されます。
[TYPE]	消耗品と定期交換部品の種類が表示されます。

カウンタ

[システム] — [カウンタ] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ページ数]	これまでに印刷した枚数が表示されます。
[印刷枚数 (用紙サイズ)]	用紙サイズごとの印刷枚数が表示されます。
[印刷枚数 (用紙種類)]	用紙種類ごとの印刷枚数が表示されます。


オンラインヘルプ

[システム] — [オンラインヘルプ] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[お問い合わせ先名称]	プリンターに関する問い合わせ先を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下
[お問い合わせ先情報]	問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下
[製品ヘルプの URL]	製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下
[コーポレート URL]	エプソンの Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下
[消耗品情報]	消耗品とアクセサリ (付属品) の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下
[お問い合わせ先電話番号]	プリンター管理者の電話番号を設定します。 範囲： 半角 31 文字以下
[お問い合わせ住所]	サポート先の E-mail アドレスを設定します。 範囲： 半角 320 文字以下

項目	説明
[ユーティリティへのリンク]	プリンター管理ユーティリティの Web サイトの URL を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

インポート / エクスポート

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。


ジョブログ

 このメニューは、マシン設定画面（[システム] — [マシン設定]）で [ジョブログ] を [有効] に設定している場合に表示されます。

[システム] — [インポート / エクスポート] — [ジョブログ] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[エクスポート]	取得するジョブログの個数を指定します。取得するジョブログは、最新のジョブログからの個数です。指定した個数分のジョブログが存在しない場合は、全てのジョブログを取得します。 設定値： [ラスト 10]、[ラスト 50]、[ラスト 100]、[ラスト 250]、[ラスト 500]、[全て] 初期値： [ラスト 10]
[エクスポート] ボタン	プリンターが保持するジョブログ情報をコンピュータへ転送します。
[クリア] ボタン	プリンターに保持されているジョブログをクリアします。


ユーザー情報


 このメニューは、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で、[ユーザー認証] を [オン] に設定している場合に表示されます。

[システム] — [インポート/エクスポート] — [ユーザー情報] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[インポート]	インポートする認証ユーザー登録情報ファイルのファイル名を入力します。
[参照] ボタン	プリンターへ転送する認証ユーザー登録情報ファイルを検索します。
[インポート] ボタン	プリンターに認証ユーザー登録情報ファイルを転送します。
[エクスポート] ボタン	認証ユーザー登録情報をコンピューターへ転送します。

認証

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。


 このメニューは、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で [ユーザー認証] と [部門認証] を [オフ] に、[パブリック許可] を [制限] に設定している場合は表示されません。

デフォルト設定

[システム] — [認証] — [デフォルト設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[機能許可] [プリント]	パブリックユーザーモードでログインした場合に、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

ユーザー登録






 このメニューは、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で [ユーザー認証] を [オン] に設定している場合に表示されます。


[システム] — [認証] — [ユーザー登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号検索]	登録済みユーザーの登録番号を指定して検索します。 範囲： 1 - 1000 初期値： 1 - 50
[番号]	登録済みユーザーの登録番号が表示されます。
[ユーザー名]	登録済みユーザーのユーザー名が表示されます。
[編集] アイコン	登録済みユーザーの登録情報を編集できます。
[削除] アイコン	登録済みユーザーを削除できます。
[新規登録] ボタン	新規登録画面が開き、新しくユーザーを登録できます。


ユーザー登録（新規登録）

[システム] — [認証] — [ユーザー登録] — [新規登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[ユーザー登録]	[番号] 新規ユーザーの登録番号が表示されます。
	[ユーザー名] 新規ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 64 文字（全角 32 文字）以下 初期値：（空白）  ユーザー名を重複して設定することはできません。  ユーザー名を [Public] として設定することはできません。
	[ユーザーパスワード] 新規ユーザーのパスワードを設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）  パスワード欄を空白のまま登録することもできます。
	[ユーザーパスワード再入力] 確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値：（空白）
[アカウント名]	アカウント名を設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）  新規登録画面（[システム] — [認証] — [アカウント登録] — [新規登録]）でアカウントを先に作成してから、本設定を行ってください。本設定を行う際に存在しないアカウント名は設定できません。  この項目は、ユーザー認証画面（[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証]）で、[ユーザー認証] と [部門認証] を [オン] に、[ユーザー認証 / 部門認証連動] を [連動する] に設定している場合に表示されます。
[機能許可]	[プリント] 新規ユーザーが、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]

項目		説明
[出力許可]	[カラー印刷]	新規ユーザーが、カラー印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[エコノミー印刷モードのみ]、[制限] 初期値： 許可
	[白黒印刷]	新規ユーザーが、白黒印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。  設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、設定しなおしてください。
[クリア] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。
[キャンセル] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットして、ユーザー登録画面に戻ります。

アカウント登録



 このメニューは、ユーザー認証画面（[ネットワーク] - [認証] - [ユーザー認証]）で [部門認証] を [オン] に設定している場合に表示されます。

[システム] - [認証] - [アカウント登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号検索]	登録済みアカウントの登録番号を指定して検索します。 範囲： 1 - 1000 初期値： [1 - 50]
[番号]	登録済みアカウントの登録番号が表示されます。
[アカウント名]	登録済みアカウントのアカウント名が表示されます。
[編集] アイコン	登録済みアカウントの登録情報を編集できます。
[削除] アイコン	登録済みアカウントを削除できます。
[新規登録] ボタン	新規登録画面が開き、新しくアカウントを登録できます。

アカウント登録（新規登録）

[システム] — [認証] — [アカウント登録] — [新規登録] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明	
[アカウント登録]	[番号]	新規アカウントの登録番号が表示されます。
	[アカウント名]	新規アカウントのアカウント名を設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）  アカウント名を重複して設定することはできません。
	[アカウントパスワード]	新規アカウントのパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）
	[アカウントパスワード再入力]	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値：（空白）
[機能許可]	[プリント]	新規アカウントが、プリントを行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
[出力許可]	[カラー印刷]	新規アカウントが、カラー印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[エコノミー印刷モードのみ]、[制限] 初期値： 許可
	[白黒印刷]	新規アカウントが、白黒印刷を行うことを許可するかどうか設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。  設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、設定しなおしてください。	
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。	
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、ユーザー登録画面に戻ります。	

日付 / 時刻

マニュアル設定

[システム] — [日付 / 時刻] — [マニュアル設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[年]	プリンターに内蔵されている時計の日付の、年を設定します。 [2008] — [2032] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [日付]
[月]	プリンターに内蔵されている時計の日付の、月を設定します。 [1] — [12] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [日付]
[日]	プリンターに内蔵されている時計の日付の、日を設定します。 [1] — [31] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [日付]
[時]	プリンターに内蔵されている時計の時刻の、時間を設定します。 [0] — [23] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [時刻]
[分]	プリンターに内蔵されている時計の日付の、分を設定します。 [0] — [59] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [時刻]
[タイムゾーン]	E-mail 通知を行うときのタイムゾーンを設定します。 [GMT-12:00] — [GMT+13:00] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [時計設定] — [タイムゾーン]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

時間補正設定

[システム] — [日付 / 時刻] — [時間補正設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[時間補正]	NTP サーバーにより自動的に時刻を補正するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]
[NTP サーバーアドレス]	NTP サーバーのアドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、または FQDN を設定できます。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [0.0.0.0]
[ポート番号]	NTP サーバーのポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： [123]
[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。 範囲： -12:00 ～ +13:00 初期値： [+9:00]
[補正時間]	最後に時間補正が行われた日時を表示します。 初期値： [不明]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

管理者パスワード

[システム] — [管理者パスワード] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[現在のパスワード]	現在のパスワードを入力します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値： (空白)
[新しいパスワード]	管理者モードでログインするための新しいパスワードを設定します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値： (空白)



項目	説明
[新しいパスワードの再入力]	確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 16 文字以下 初期値： (空白) 💡 パスワードは半角 16 文字までのアルファベット (大文字、小文字) および数字を使用して設定することができます。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。 💡 設定内容に誤りがある場合は、新しい設定が適用されません。内容を確認し、設定しなおしてください。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。


💡 新しく設定したパスワードを忘れてしまったときは、プリンターの [システムメニュー] — [メニュー設定初期化] — [全てのメニュー] を選択してリセットしてください。(ただし、他のすべての設定も工場出荷時の初期値に戻ります。)

マシン設定

[システム] — [マシン設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[管理者名]	プリンターの管理者名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[デバイス名]	プリンター名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[デバイスの設置場所]	プリンターの設置場所を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[デバイス情報]	プリンターの情報を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[スタートページの印刷]	プリンターの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [スタートオプション] — [スタートページ]

項目	説明
[自動継続]	<p>プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [自動継続]</p>
[保存ジョブタイムアウト]	<p>ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。</p> <p>[無効] に設定した場合は、時間によるプリントジョブの消去を行いません。</p> <p>設定値： [無効]、[1 時間]、[4 時間]、[1 日]、[1 週間]</p> <p>初期値： [無効]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [保存ジョブタイムアウト]</p> <p> この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。</p>
[節電時間]	<p>節電モードへ移行するまでの時間を設定します。</p> <p>設定値： [5 ～ 15 分]、[30 分]、[1 時間]、[3 時間]</p> <p>初期値： [5 分]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [節電時間]</p> <p> この項目は、[節電設定] が [オン] に設定されている場合に表示されます。</p>

項目	説明
[モノクロページ]	<p>カラー印刷時におけるモノクロページの動作を設定します。</p> <p>[自動] に設定すると、印刷前にカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを自動判別します。</p> <p>[モノクロページ] に設定すると、ページごとにモノクロかどうかの判別を行います。印刷速度が遅くなる場合がありますが、カラーのトナーカートリッジと感光体ユニットの消費を抑えることができます。</p> <p>[カラーページ] に設定すると、モノクロページがあってもカラーで印刷します。</p> <p>設定値： [自動]、[モノクロページ]、[カラーページ]</p> <p>初期値： [自動]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [モノクロページ]</p>
[ジョブログ]	<p>ジョブログ機能を有効にするかどうかを設定します。</p> <p>設定値： [有効]、[無効]</p> <p>初期値： [無効]</p> <p> この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ表示されます。</p>
[個人情報非表示]	<p>プリントジョブにファイル名を表示して、印刷するかどうかを設定します。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p>
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

ROM バージョン

[システム] — [ROM バージョン] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[エンジン ROM バージョン]	プリンターエンジンの ROM バージョンが表示されます。
[コントローラー ROM バージョン]	プリンターコントローラーの ROM バージョンが表示されます。
[ブート ROM バージョン]	ブート ROM のバージョンが表示されます。

メンテナンス

設定の初期化

[システム] — [メンテナンス] — [設定の初期化] 画面では、プリンターの設定を工場出荷時の値に戻すことができます。

項目	説明
[プリンター設定]	プリンターの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [メニュー設定初期化] — [用紙 / 品質 / システム]
[ネットワーク設定]	ネットワークの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [メニュー設定初期化] — [ネットワーク]
[全ての設定]	すべての設定を初期値に戻します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [メニュー設定初期化] — [全てのメニュー]
[クリアー] ボタン	クリックすると、[工場出荷時設定に戻しても良いですか?] というメッセージが表示されます。 [OK] をクリックすると、プリンターが自動的に再起動し、設定を工場出荷時の値に戻します。

プリンターのリセット

[システム] — [メンテナンス] — [プリンターのリセット] 画面では、プリンターコントローラーをリセットすることができます。

項目	説明
[リセット] ボタン	クリックすると、[プリンターをリセットしても良いですか?] というメッセージが表示されます。 [OK] をクリックすると、プリンターコントローラーをリセットします。

状態通知設定

[システム] — [状態通知設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
[IP アドレス]	[通知アドレス]	通知先の IP アドレスを設定します。IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を設定できます。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [0.0.0.0]
	[ポート番号] [(1 ~ 65535)]	SNMP トラップのポート番号を設定します。 範囲： 1 ~ 65535 初期値： [162]
	[コミュニティー名]	SNMP トラップのコミュニティー名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [public]
[IPX アドレス]	[通知アドレス]	通知先の IPX アドレスを設定します。 範囲： 半角 8 文字以下 初期値： [00000000]
	[ノードアドレス]	通知先のノードアドレスを設定します。 範囲： 半角 12 文字以下 初期値： [000000000000]
	[コミュニティー名]	SNMP トラップのコミュニティー名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [public]
[電子メールアドレス]	[電子メール通知]	プリンターに警告が発生した時に、メールで通知を行うかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[通知アドレス]	通知を行うメールアドレスを設定します。 範囲： 半角 320 文字以下 初期値： (空白)

項目	説明
[警告]	[用紙なし] 用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[紙詰まり] 紙詰まりを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[メンテナンス] 定期点検時期を通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[トナーなし] トナーがないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[排紙トレイフル] 排紙トレイがいっぱいであることを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[定着ユニット終了] 定着ユニットが寿命であることを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[オペレーターコール] オペレーターを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[サービスコール] 用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[ジョブ完了] 印刷ジョブが正常終了したことを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[ジョブエラー] エラーが発生して印刷できなかったジョブがあることを通知するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]

項目	説明
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

ジョブ画面

ジョブ画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できません。

処理中ジョブリスト

[ジョブ] — [処理中ジョブリスト] 画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] — [マシン設定] — [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[ジョブの状態]	プリントジョブの現在の状況（解析中、印刷中、キャンセル、保留中、停止）が表示されます。
[登録時刻]	ジョブの登録時刻が表示されます。
[削除] ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

[ジョブ] — [処理済ジョブリスト] 画面では、最大 50 個のプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。 [個人情報非表示]（[システム] — [マシン設定] — [マシン設定] 画面）が [オン] に設定されている場合は、この項目は空欄になります。
[終了時刻]	印刷が終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（[OK]、[エラー]、[キャンセル済み]）が表示されます。
[詳細] ボタン	詳細画面が表示されます。

処理済ジョブリスト（詳細）

[ジョブ] — [処理済ジョブリスト] — [詳細] 画面では、選択されたプリントジョブの以下の項目を確認できます。

項目	説明
[ジョブ番号]	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンターに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
[ユーザー名]	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
[ファイル名]	プリントファイル名が表示されます。
[配信方法]	ジョブの配信方法（[ボックス保存&印刷]、[確認プリント]、[IPP プリント]、[機密プリント]、[ボックス保存]、[レポートプリント]、[通常印刷]）が表示されます。
[登録時刻]	ジョブが登録した時刻が表示されます。
[終了時刻]	印刷を終了した時刻が表示されます。
[結果]	プリントジョブの結果（[OK]、[エラー]、[キャンセル済み]）が表示されます。
[戻る] ボタン	処理済ジョブリスト画面に戻ります。

プリント画面

プリント画面では、より詳細なプリンターの設定を行うことができます。

ローカルインターフェース


[プリント] — [ローカルインターフェース] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[I/O タイムアウト]	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲： 5 ～ 300 初期値： 15 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェースメニュー] — [ジョブタイムアウト]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

デフォルト設定

一般設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [一般設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[PDL]	デフォルトのプリンター制御言語を設定します。 設定値： [自動]、[PS] 初期値： [自動] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [エミュレーション] — [優先エミュレーション]
[給紙トレイ]	通常使用される給紙トレイを設定します。 設定値： [トレイ 1]、[トレイ 2]、[トレイ 3] 初期値： [トレイ 2] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [優先トレイ]  [トレイ 3] はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
[両面]	[長辺綴じ] が選択されている場合は、長辺とじて両面印刷を行います。 [短辺綴じ] が選択されている場合は、短辺とじて両面印刷を行います。
[排紙トレイ]	排紙トレイの名称が表示されます。

項目	説明
[部数]	デフォルトの印刷部数を設定します。 範囲： 1 ～ 9999 初期値： [1] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [印刷枚数]
[用紙サイズ]	デフォルトの用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [用紙設定] — [デフォルト用紙] — [用紙サイズ]
[幅]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm ～ 216 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [用紙設定] — [デフォルト用紙] — [カスタムサイズ] — [幅]
[長さ]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm ～ 356 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [用紙設定] — [デフォルト用紙] — [カスタムサイズ] — [長さ]
[用紙種類]	デフォルトの用紙種類を設定します。 設定値： [普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[ハガキ]、[レターヘッド]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[両面不可紙]、[特殊紙] 初期値： [普通紙] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [用紙設定] — [デフォルト用紙] — [用紙種類]
[部単位印刷]	[オン] に設定すると、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 [オフ] に設定すると、文書は部単位で印刷されません。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [部単位印刷]



この項目は、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。

項目	説明
[計測単位]	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）を設定します。 設定値： インチ、ミリメートル 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [用紙設定] — [計測単位]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

給紙トレイ設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [給紙トレイ設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[トレイ 1] [用紙サイズ]	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを設定します。 設定値： [任意]、[レター]、[リーガル]、 [EXE]、[A4]、[A5]、[A6]、[B5]、 [GLT]、[HLT]、[F4]、[GLG]、[洋形 6 号]、[長形 3 号]、[ハガキ]、[往復ハガ キ]、[カスタム] 初期値： [A4] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 1] — [用紙 サイズ]


項目		説明
[トレイ 1]	[幅]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm ~ 216 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メユ] — [給紙トレイ] — [トレイ 1] — [カスタムサイズ] — [幅]
	[長さ]	[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm ~ 356 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メユ] — [給紙トレイ] — [トレイ 1] — [カスタムサイズ] — [長さ]
	[用紙種類]	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： [任意]、[普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[封筒]、[ハガキ]、[レターヘッド]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[両面不可紙]、[特殊紙] 初期値： [普通紙] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メユ] — [給紙トレイ] — [トレイ 1] — [用紙種類]

項目	説明
[トレイ 2]	<p>[用紙サイズ]</p> <p>トレイ 2 にセットする用紙のサイズを設定します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： 設定値： [レター]、[A4] 初期値： [A4] [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 2] — [用紙サイズ]</p>
	<p>[幅]</p> <p>[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の幅を設定します。 範囲： 92 mm ~ 216 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 2] — [カスタムサイズ] — [幅]</p>
	<p>[長さ]</p> <p>[用紙サイズ] を [カスタム] に設定した場合、カスタム用紙の長さを設定します。 範囲： 148 mm ~ 297 mm 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 2] — [カスタムサイズ] — [長さ]</p>
	<p>[用紙種類]</p> <p>トレイ 2 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： [任意]、[普通紙]、[再生紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[ハガキ]、[レターヘッド]、[光沢紙 1]、[光沢紙 2]、[両面不可紙]、[特殊紙] 初期値： [普通紙] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 2] — [用紙種類]</p>
<p>[トレイ 3]</p> <p>この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。</p>	<p>[用紙サイズ]</p> <p>トレイ 3 にセットした用紙のサイズを表示します。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 3] — [用紙サイズ]</p> <p>[用紙種類]</p> <p>トレイ 3 にセットする用紙の種類を設定します。 設定値： [任意]、[普通紙]、[再生紙]、[両面不可紙]、[特殊紙] 初期値： [普通紙] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイ 3] — [用紙種類]</p>

項目		説明
[自動トレイ切り替え]	[自動トレイ切り替え]	[有効] を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズ of 用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 [無効] を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [自動トレイ切り替え]
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

トレイマッピング設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [トレイマッピング設定] 画面では、以下の項目を確認できます。

項目	説明
[トレイマッピングモード]	トレイマッピング機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイマッピング] — [トレイマッピングモード]
[論理トレイ 0 ~ 9]	他社のプリンタードライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 [論理トレイ 1] のみ工場出荷時の設定値が [物理トレイ 1] に設定されています。[論理トレイ 1] 以外は、[物理トレイ 2] が工場出荷時の設定値です。 設定値： [物理トレイ 1]、[物理トレイ 2]、[物理トレイ 3] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [用紙メニュー] — [給紙トレイ] — [トレイマッピング] — [論理トレイ 0 ~ 9]  [物理トレイ 3] はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

PS 設定


[プリント] — [デフォルト設定] — [PS 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[印刷待ちタイムアウト]	<p>ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。</p> <p>[0] を設定した場合は、タイムアウトを行いません。</p> <p>範囲： 0 ～ 300 (秒)</p> <p>初期値： [0]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [エミュレーション] — [ポストスクリプト] — [ウェイトタイムアウト]</p>
[PS プロトコル]	<p>PS プロトコルを設定します。</p> <p>設定値： [自動]、[標準]、[バイナリ]</p> <p>初期値： [自動]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [エミュレーション] — [ポストスクリプト] — [PS プロトコル]</p>
[PS エラーの印刷]	<p>エラープリントをするかどうかを設定します。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [エミュレーション] — [ポストスクリプト] — [PS エラーページ]</p>
[自動トラッピング]	<p>絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p> <p>同機能の本機操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [エミュレーション] — [ポストスクリプト] — [自動トラッピング]</p>

項目	説明
[ブラックオーバープリント]	黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 設定値： [オフ]、[テキスト]、[テキストとグラフィック] 初期値： [オフ] 同機能の本機操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [イミュレーション] — [ホストスクリーン] — [ブラックオーバープリント]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

XPS 設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [XPS 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。

 本製品は XPS プリンタードライバーに対応していません。

項目	説明
[電子署名]	電子署名を確認するかどうかを設定します。有効な電子署名がない場合は印刷されません。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [イミュレーション] — [XPS] — [電子署名]
[XPS エラープリント]	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オン] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [システムメニュー] — [イミュレーション] — [XPS] — [XPS エラープリント]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

印刷品質設定

[プリント] — [デフォルト設定] — [印刷品質設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[印刷品質設定]	[カラーモード] カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを設定します。 [カラー] を選択した場合、フルカラーで印刷されます。 [モノクロ] を選択した場合、モノクロで印刷されます。 設定値： [カラー]、[モノクロ] 初期値： [カラー] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [カラーモード]
	[カラーセパレーション] 色分解を行うかどうかを設定します。 [オン] を選択した場合、色分解が行われます。 [オフ] を選択した場合、色分解は行われません。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [カラーセパレーション]

項目	説明
[明るさ調整]	<p>印刷する画像の明るさを設定します。 設定値： [+15%]、 [+10%]、 [+5%]、 [0]、 [-5%]、 [-10%]、 [-15%]</p> <p>初期値： 0 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [明るさ調整]</p>
[スクリーン] ([イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷])	<p>[イメージ]、[テキスト]、[グラフィックス] の中間色の再現性を設定します。 [高精細] に設定すると、高精密に中間色を再現します。 [精細] に設定すると、精細に中間色を再現します。 [スムーズ] に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値： [高精細]、[精細]、[スムーズ] 初期値： [精細] ([イメージ] / [グラフィックス])、[高精細] ([テキスト]) 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [スクリーン]</p>
[エッジ強調] ([イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷])	<p>[イメージ]、[テキスト]、[グラフィックス] のエッジ強調を行うかどうかを設定します。 [オン] を選択した場合、エッジ強調を行います。 [オフ] を選択した場合、エッジ強調は行われません。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ] ([イメージ])、[オン] ([テキスト] / [グラフィックス]) 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [エッジ強調]</p>


項目	説明
[エッジ強度]	<p>エッジ強調を行う場合のエッジ強度を設定します。</p> <p>[オフ] を選択した場合、エッジ強調は行われません。</p> <p>[下部] を選択した場合、エッジが少し強調されます。</p> <p>[中間部] を選択した場合、エッジが平均的に強調されます。</p> <p>[上部] を選択した場合、エッジが非常に強調されます。</p> <p>設定値： [オフ]、[下部]、[中間部]、[上部]</p> <p>初期値： [中間部]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [エッジ強度]</p>
[エコノミー印刷モード]	<p>エコノミー印刷を行うかどうかを設定します。</p> <p>エコノミー印刷モードでは、絵が多い印刷を行う場合に、トナー消費量を抑制することができます。</p> <p>設定値： [オン]、[オフ]</p> <p>初期値： [オフ]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [エコノミー印刷]</p>

項目		説明
[PS 印刷設定]	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB ソース)]	<p>RGB データの色空間を設定します。 設定値： [デバイス色]、[sRGB]、[AppleRGB]、[AdobeRGB1998]、[ColorMatchRGB]、[BlueAdjustRGB]、[Custom Profile] 初期値： [sRGB] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [イメージ] / [テキスト] / [グラフィックス印刷] — [RGB ソース]</p>
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB 特性)]	<p>RGB データを CMYK データに変換するときの特性を設定します。 設定値： [鮮やか]、[写真調]、[相対色]、[絶対色] 初期値： [写真調] ([イメージ])、[鮮やか] ([テキスト] / [グラフィックス]) 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [イメージ] / [テキスト] / [グラフィックス印刷] — [RGB 特性]</p>
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (RGB グレー再現)]	<p>RGB データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値： [4 色 (CMYK) トナー]、[全て黒 (K) トナー]、[黒のみ黒 (K) トナー] 初期値： [4 色 (CMYK) トナー]、([イメージ])、[全て黒 (K) トナー] ([テキスト] / [グラフィックス]) 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [イメージ] / [テキスト] / [グラフィックス印刷] — [グレー再現]</p>
	[イメージ印刷] / [テキスト印刷] / [グラフィックス印刷 (出力プロファイル)]	<p>印刷に使用される出力プロファイルを設定します。 設定値： [自動]、[Custom Profile] 初期値： [自動] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [イメージ] / [テキスト] / [グラフィックス印刷] — [出力プロファイル]</p>

項目		説明
[PS 印刷設定]	[シミュレーションプロファイル]	印刷に使用されるシミュレーションプロファイルを設定します。 設定値： [なし]、[SWOP]、[Euroscale]、[CommercialPress]、[TOYO]、[DIC]、[Custom Profile] 初期値： [なし] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [シミュレーション] — [シミュレーションプロファイル]
	[シミュレーション (特性)]	印刷に使用されるシミュレーション特性を設定します。 設定値： [相対色]、[絶対色] 初期値： [相対色] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [シミュレーション] — [シミュレーション特性]
	[シミュレーション (CMYK グレー再現)]	CMYK4 色で作成された黒色とグレーの再現方法を設定します。 設定値： [4 色 (CMYK) トナー]、[全て黒 (K) トナー]、[黒のみ黒 (K) トナー] 初期値： [4 色 (CMYK) トナー] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [PS 印刷設定] — [シミュレーション] — [CMYK グレー再現]


項目		説明
[階調補正]	[濃度補正]	濃度補正を行うかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オン] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [階調補正] — [濃度補正]
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (ハイライト部)]	ハイライト部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： [+3]、[+2]、[+1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3] 初期値： [0] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [階調補正] — [CMYK 濃度調整] — [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] — [ハイライト部]
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (中間部)]	中間部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： [+3]、[+2]、[+1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3] 初期値： [0] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [階調補正] — [CMYK 濃度調整] — [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] — [中間部]
	[シアン濃度] / [マゼンタ濃度] / [イエロー濃度] / [ブラック濃度 (シャドウ部)]	シャドウ部の CMYK 濃度を設定します。 設定値： [+3]、[+2]、[+1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3] 初期値： [0] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [品質メニュー] — [階調補正] — [CMYK 濃度調整] — [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [ブラック] — [シャドウ部]
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。

フォント / フォームのダウンロード

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合に表示されます。


PS フォント

[プリント] — [フォント / フォームのダウンロード] — [PS フォント] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[PS フォントのダウンロード]	[HDD/ メモリーカード] フォントをダウンロードする場所を指定します。  EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
	[テキストボックス] ダウンロードするフォントのファイル名を指定します。
	[参照] ボタン フォントファイルを参照するダイアログを表示します。
	[送信] ボタン 指定したフォントファイルを、プリンターに送信します。
[PS フォントの削除]	[チェックボックス] 削除したいフォントのチェックボックスを選択して [削除] をクリックすると、そのフォントがプリンターから削除されます。
	[番号] フォントの管理番号が表示されます。
	[フォント名] フォント名称が表示されます。
	[保存場所] フォントが保存されている場所が表示されます。
[削除] ボタン	削除するフォントのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのフォントが削除されます。


フォーム

[プリント] — [フォント/フォームのダウンロード] — [フォーム] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[フォームのダウンロード]	[HDD/メモリーカード] フォームをダウンロードする場所を指定します。  EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
	[テキストボックス] ダウンロードするフォームのファイル名を指定します。
	[参照] ボタン フォームのファイルを参照するダイアログを表示します。
	[送信] ボタン 指定したフォームのファイルを、プリンターに送信します。
[フォームの削除]	[チェックボックス] 削除したいフォームのファイルのチェックボックスを選択して [削除] をクリックすると、そのフォームがプリンターから削除されます。
	[番号] フォームの管理番号が表示されます。
	[ファイル名] フォームのファイル名が表示されます。
	[保存場所] フォームが保存されている場所が表示されます。
[削除] ボタン	削除するフォームのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのフォームが削除されます。

カラープロファイル

[プリント] — [フォント/フォームのダウンロード] — [カラープロファイル] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明	
[カラープロファイルのダウンロード]	[HDD/ メモリーカード]	カラープロファイルをダウンロードする場所を指定します。  EpsonNet Config 画面、ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。
	[テキストボックス]	ダウンロードするカラープロファイルのファイル名を指定します。
	[参照] ボタン	カラープロファイルのファイルを参照するダイアログを表示します。
	[送信] ボタン	指定したカラープロファイルのファイルを、プリンターに送信します。
[カラープロファイルの削除]	[チェックボックス]	削除したいカラープロファイルのファイルのチェックボックスを選択して [削除] をクリックすると、そのカラープロファイルがプリンターから削除されます。
	[番号]	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
	[ファイル名]	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
	[プロファイル名]	カラープロファイル名が表示されます。
	[クラス]	カラープロファイルのクラスが表示されます。
	[色空間]	カラープロファイルの色空間が表示されます。
	[保存場所]	カラープロファイルが保存されている場所が表示されます。
[削除] ボタン	削除するカラープロファイルのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのカラープロファイルが削除されます。	

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第4章「ネットワーク印刷」を参照してください。

TCP/IP




TCP/IP


[ネットワーク] — [TCP/IP] — [TCP/IP] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[TCP/IP]	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [有効]
[速度]	イーサネットの動作モードと速度を設定します。 設定値： [自動]、[10Base-T (Half)]、[10Base-T (Full)]、[100Base-TX (Half)]、[100Base-TX (Full)]、[1000Base-T (Full)] 初期値： [自動] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [SPEED/DUPLEX]
[LPD]	LPD を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[SLP]	SLP を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [SLP] — [有効]
[LLMNR]	LLMNR が有効かどうか表示されます。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

IPv4 設定



[ネットワーク] — [TCP/IP] — [IPv4 設定] 画面では、以下の項目を設定できません。TCP/IP の詳細については、第 4 章 “ネットワーク印刷” を参照してください。

項目	説明
[Auto IP]	<p>プリンターの IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。</p> <p>設定値： [DHCP]、[BootP]、[ARP/PING]</p> <p>初期値： [DHCP]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルの設定メニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [DHCP]、[BOOTP]、[ARP/PING]</p> <p> 手動で IP アドレスを設定した場合、[DHCP]、[BootP]、[ARP/PING] は自動で [オフ] になり、初期値は何も設定されていない状態になります。</p>
[IP アドレス] *	<p>プリンターの IP アドレスを設定します。</p> <p>範囲： 各 3 桁の数値が 0 ~ 255</p> <p>初期値： [0.0.0.0]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルの設定メニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IP アドレス]</p> <p> 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p>
[サブネットマスク] *	<p>プリンターのサブネットマスクアドレスを設定します。</p> <p>範囲： 各 3 桁の数値が 0 ~ 255</p> <p>初期値： [0.0.0.0]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルの設定メニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [サブネットマスク]</p> <p> 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p>

項目	説明
[デフォルトゲートウェイ] *	<p>ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。</p> <p>範囲： 各 3 桁の数値が 0 ~ 255</p> <p>初期値： [0.0.0.0]</p> <p>同機能のプリンター操作パネルの設定メニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [ゲートウェイ]</p> <p> 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、[適用] ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。</p>
[ドメイン名自動取得]	<p>ドメイン名の自動取得を行うかどうかを選択します。</p> <p>DHCP が有効の場合に設定します。</p>
[DNS サーバー自動取得]	<p>DNS サーバーアドレスの自動取得を行うかどうかを設定します。</p> <p>DHCP が有効の場合に設定します。</p>
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
<p>* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。</p>	

IPv6 設定

[ネットワーク] — [TCP/IP] — [IPv6 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 4 章 “ネットワーク印刷” を参照してください。

項目	説明
[IPv6]	IPv6 を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPv6] — [有効]
[IPv6 自動設定]	IPv6 アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPv6] — [自動設定]
[IPv6 リンクローカルアドレス]	IPv6 リンクローカルアドレスが表示されます。 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPv6] — [リンクローカルアドレス]
[IPv6 グローバルアドレス]	IPv6 グローバルアドレスを設定します。 範囲： 半角 43 文字以下 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPv6] — [グローバルアドレス]  IPv6 自動設定が [有効] に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。
[IPv6 ゲートウェイアドレス]	IPv6 ゲートウェイアドレスを設定します。 範囲： 半角 39 文字以下 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPv6] — [ゲートウェイ]  IPv6 自動設定が [有効] に設定されている場合、ここでの設定変更は適用されません。

項目	説明
[DHCPv6]	DHCPv6 を使用して IPv6 アドレスを取得するかどうかを選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[DNS サーバー自動取得]	DNS サーバーアドレスを自動取得するかどうかを選択します。 DHCPv6 が有効の場合に設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[検索ドメイン名の自動取得]	検索ドメイン名の自動取得を行うかどうかを選択します。 DHCP が有効の場合に設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[NTP サーバーの自動取得]	NTP サーバーの IPv6 アドレスを自動取得する場合は、[有効] を選択します。 IPv6 を使用し、かつ DHCPv6 が有効の場合に設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。


RAW ポート設定

[ネットワーク] — [TCP/IP] — [RAW ポート設定] 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 4 章 “ネットワーク印刷” を参照してください。

項目	説明
[RAW ポート]	RAW ポートを使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [RAW ポート] — [有効]
[RAW ポート番号]	プリンターの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値： [1-65535] 初期値： [9100] 現在使用されているポート番号と、161、443 および 631 は指定できません。
[RAW ポート双方向]	RAW ポートの双方向通信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [RAW ポート] — [双方向]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

DNS 設定


[ネットワーク] — [TCP/IP] — [DNS 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IP の詳細については、第 4 章 “ネットワーク印刷” を参照してください。



項目	説明
[ホスト名]	ホスト名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [LP-S820-xxxxxx]  xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
[ドメイン名]	ドメイン名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[DNS サーバー (IPv4)]	DNS サーバーを設定します。 最大 3 つまで登録できます。 初期値： [0.0.0.0]
[DNS サーバー (IPv6)]	DNS サーバーを設定します。 最大 3 つまで登録できます。 初期値： [::]
[検索ドメイン名]	DNS 検索ドメイン名を設定します。 初期値： (空白)
[ダイナミック DNS]	ダイナミック DNS を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [ダイナミック DNS] — [有効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。



IP アドレスフィルタリング

[ネットワーク] — [TCP/IP] — [IP アドレスフィルタリング] 画面では、IP アドレスを指定して、プリンターへのアクセスを制限します。

 以下の設定は、DNS サーバーおよび DHCP サーバーへの通信には適用されません。

 [許可アドレス] で許可した IP アドレスの範囲が、[拒否アドレス] で拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、[拒否アドレス] の拒否設定が優先されます。

項目	説明
[許可アドレス]	<p>[有効] に設定すると、プリンターへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。許可する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。また、指定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスは拒否されます。</p> <p>[無効] に設定すると、アクセス許可設定は無効になります。</p> <p>設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IP アドレス フィルター] — [アクセス許可]</p>
[アクセスを許可する IP アドレス範囲] *	<p>プリンターへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。</p> <p>範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： [0.0.0.0]</p> <p> 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスと同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。</p> <p> 終了 IP アドレスよりも開始 IP アドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。</p>
[拒否アドレス]	<p>[有効] に設定すると、プリンターへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。拒否する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。</p> <p>[無効] に設定すると、アクセス拒否設定は無効になります。</p> <p>設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IP アドレス フィルター] — [アクセス 拒否]</p>

項目	説明
[アクセスを拒否する IP アドレス範囲] *	<p>プリンターへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。</p> <p>範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： [0.0.0.0]</p> <p> 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスと同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。</p> <p> 終了 IP アドレスよりも開始 IP アドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。</p>
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IPsec

[ネットワーク] — [TCP/IP] — [IPsec] 画面では、以下の項目を設定できます。TCP/IPの詳細については、第4章“ネットワーク印刷”を参照してください。

項目	説明	
[一般設定]	[IPsec]	IPsec が有効かどうか表示されます。
	[IKE 使用期限]	IKE の使用期限が表示されます。
	[IKE Diffie-Hellman グループ]	IKE Diffie-Hellman グループが表示されます。
	[IPsec SA 使用期限]	IPsec SA の使用期限が表示されます。
	[編集] アイコン	クリックすると、一般設定画面が表示されます。
[IKE 設定] / [IPsec SA 設定] / [IPsec Peer 設定]	登録されている設定が表示されます。	
[IKE 設定] / [IPsec SA 設定] / [IPsec Peer 設定] ([編集] アイコン)	クリックすると、設定画面が表示されます。	
[IKE 設定] / [IPsec SA 設定] / [IPsec Peer 設定] ([削除] アイコン)	クリックすると、設定が削除されます。	

IPsec (一般設定)

[ネットワーク] — [IPsec] — [一般設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[IPsec]	IPsec を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPSEC] — [有効]
[IKE 使用期限]	IKE の使用期限を設定します。 範囲： 80 ～ 604800 (秒) 初期値： [28800]

項目	説明
[IKE Diffie-Hellman グループ]	IKE Diffie-Hellman グループを選択します。 設定値： [グループ 1]、[グループ 2] 初期値： [グループ 2]
[IPsec SA 使用期限]	IPsec SA の使用期限を設定します。 範囲： 120 ～ 604800 (秒) 初期値： [3600]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec (IKE 設定)

[ネットワーク] — [IPsec] — [IKE 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。
[暗号化アルゴリズム]	制御用トンネルを作るときに使用する暗号化アルゴリズムを指定します。 設定値： [DES-CBC]、[3DES-CBC] 初期値： [DES-CBC]
[認証アルゴリズム]	制御用トンネルを作るときに使用する認証アルゴリズムを指定します。 設定値： [MD5]、[SHA-1] 初期値： [MD5]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec (IPsec SA 設定)

[ネットワーク] — [IPsec] — [IPsec SA 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。
[セキュリティプロトコル]	セキュリティプロトコルを設定します。 設定値： [AH]、[ESP]、[ESP & AH] 初期値： [AH]
[ESP 暗号化アルゴリズム]	セキュリティプロトコルが [ESP] に設定されている場合、ESP 暗号化アルゴリズムを設定します。 設定値： [なし]、[DES-CBC]、[3DES-CBC]、 [AES-CBC]、[AES-CTR] 初期値： [なし]
[ESP 認証アルゴリズム]	セキュリティプロトコルが [ESP] に設定されている場合、ESP 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： [なし]、[MD5]、[SHA-1] 初期値： [なし]
[AH 認証アルゴリズム]	セキュリティプロトコルが [AH] に設定されている場合、AH 認証アルゴリズムを設定します。 設定値： [MD5]、[SHA-1] 初期値： [MD5]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。

IPsec (IPsec Peer 設定)


[ネットワーク] — [IPsec] — [IPsec Peer 設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[番号]	登録番号が表示されます。
[パーフェクトフォワードセキュリティー]	IKE の強度を上げたい場合は、[使用] を選択します。 設定値： [使用しない]、[使用] 初期値： [使用しない]

項目	説明
[Peer アドレス]	通信先の IP アドレスを設定します。 範囲： 半角 2 ～ 39 文字以下 初期値： (空白)
[プレ共有キー]	通信相手先と共有する Pre-Shared Key 文字列を設定します。 範囲： 半角 64 文字以下 初期値： (空白)
[カプセル化モード]	IPsec の動作モードを設定します。 設定値： [使用しない]、[トンネルモード]、[トランスポートモード] 初期値： [使用しない]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、IPsec 画面に戻ります。





Bonjour

[ネットワーク] — [Bonjour] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[Bonjour]	Bonjour 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [BONJOUR] — [有効]
[Bonjour 名]	プリンターの Bonjour 名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [Epson LP-S820(xx:xx:xx)]  xx:xx:xxには、MACアドレスの後半6桁が16進数で表示されます。
[優先プロトコル]	Bonjour で優先的に接続するプロトコルを指定します。 設定値： [LPD]、[RAW ポート]、[IPP] 初期値： [RAW ポート]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

WSD

[ネットワーク] — [WSD] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[WSD プリント]	WSD プリント機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [WSD 印刷] — [有効]
[安全モード]	WSD 通信を SSL で行うかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]  SSL/TLS 設定が有効な場合に表示されます。
[デバイス名]	デバイス名が表示されます。 初期値： [Epson LP-S820(xx:xx:xx)]  システム — マシン設定画面で設定されたデバイス名が表示されます。
[デバイスの設置場所]	デバイスの設置場所が表示されます。 初期値： (空白)  システム — マシン設定画面で設定されたデバイスの設置場所が表示されます。
[デバイス情報]	デバイスの情報が表示されます。 初期値： (空白)  システム — マシン設定画面で設定されたデバイスの情報が表示されます。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

LLTD

[ネットワーク] — [LLTD] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[LLTD]	LLTD 機能を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

NetWare

NetWare

[ネットワーク] — [NetWare] — [NetWare] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明	
[NetWare]	[NetWare 印刷]	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェースメニュー] — [イーサネット] — [NETWARE] — [有効]
[NetWare]	[フレームタイプ]	フレームタイプを設定します。 設定値： [自動]、[Ethernet 802.2]、 [Ethernet 802.3]、[Ethernet II]、[Ethernet SNAP] 初期値： [自動]
[NetWare]	[モード]	NetWare のモードを設定します。 設定値： [無効]、[PServer]、[Nprinter/Rprinter] 初期値： [無効]

項目	説明
[PServer]	<p>[プリントサーバー名]</p> <p>プリンターのサーバー名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [LP-S820-xxxxxx]</p> <p> xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。</p>
[プリントサーバーパスワード]	<p>プリントサーバーのパスワードを設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： (空白)</p>
[パスワードの再入力]	<p>確認のため、新しいパスワードを再入力します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： (空白)</p>
[プリントキュー取得間隔]	<p>キュースキャン間隔を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 (秒) 初期値： [1]</p>
[Bindery/NDS]	<p>Bindery の設定を行います。 設定値： [NDS]、[Bindery/NDS]、 [Bindery] 初期値： [NDS]</p>
[優先ファイルサーバー]	<p>プリンターの優先ファイルサーバーを設定します。 範囲： 半角 47 文字以下 初期値： (空白)</p>
[優先 NDS コンテキスト名]	<p>プリンターの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲： 半角 191 文字以下 初期値： (空白)</p>
[優先 NDS ツリー名]	<p>プリンターの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)</p>

項目		説明
[Nprinter/ Rprinter]	[プリンター名]	プリンター名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： [LP-S820-xxxxxx] 💡 xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
	[プリンター番号]	プリンター番号を設定します。 範囲： 0 ～ 255 初期値： [255]
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン		この画面で行った設定変更をリセットします。


NetWare ステータス




[ネットワーク] — [NetWare] — [NetWare ステータス] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[ファイルサーバー]	NetWare のファイルサーバーが表示されます。
[キュー名]	NetWare のキュー名が表示されます。
[キューの状態]	NetWare のキューの状態が表示されます。

IPP

[ネットワーク] — [IPP] 画面では、以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 4 章 “ネットワーク印刷” を参照してください。

 設定を有効にするためには、設定後にプリンターを再起動してください。

項目	説明
[IPP 印刷]	IPP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [IPP] — [有効]
[IPP ジョブの受信]	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
[プリンター名]	プリンター名が表示されます。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： [Epson LP-S820(xx:xx:xx)]  [システム] — [マシン設定画面] で設定します。
[プリンターの場所]	プリンターを設置してある場所が表示されます。 初期値： (空白)  [システム] — [マシン設定画面] で設定します。
[プリンターの情報]	プリンターの情報が表示されます。 初期値： (空白)  [システム] — [マシン設定画面] で設定します。

項目	説明	
[プリンター URI]	プリンターの URI が表示されます。 - http://IP アドレス /ipp - http://FQDN:/ipp - ipp://IP アドレス /ipp - ipp://FQDN:/ipp - https://IP アドレス /ipp - https://FQDN:/ipp  "https://IP アドレス /ipp" および "https://FQDN:/ipp" は、SSL/TLS 設定が有効な場合にのみ表示されます。	
[サポートする操作]	[ジョブのプリント]	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブの確認]	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブのキャンセル]	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブ属性の取得]	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[ジョブの取得]	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
	[プリンター属性の取得]	この項目をチェックすると、プリンターの属性を取得できるようになります。 初期値：(チェック済み)
[IPP 認証]	IPP 印刷時の認証方式を設定します。 設定値： [なし]、[要求ユーザー名]、 [ベーシック認証]、[ダイジェスト認証] 初期値： [要求ユーザー名]	

項目	説明
[ユーザー認証名]	ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するユーザー名を設定します。 範囲： 半角 20 文字以下 初期値： [user]
[パスワード]	ベーシック認証、ダイジェスト認証で使用するパスワードを設定します。 範囲： 半角 20 文字以下 初期値： [pass]
[領域]	認証方式がベーシック認証またはダイジェスト認証の場合、領域を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： [IPP]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

FTP

サーバー



[ネットワーク] — [FTP] — [サーバー] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[FTP サーバー]	FTP サーバーを有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [FTP] — [有効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

SNMP

[ネットワーク] — [SNMP] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目		説明
[SNMP]	[SNMP]	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 設定値： 有効、無効 初期値： 有効 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェースメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [SNMP] — [有効]
	[SNMP v1/v2c(IP)]	SNMP v1/v2c(IP) を使用する場合は、[有効] を選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[SNMP v3(IP)]	SNMP v3(IP) を使用する場合は、[有効] を選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[SNMP v1(IPX)]	SNMP v1(IPX) を使用する場合は、[有効] を選択します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[UDP ポート]	UDP ポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： [161]
[SNMP v1/v2c(IP)]	[リード コミュニティ名]	読み取り時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [public]
	[ライト]	読み書きを有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[ライト コミュニティ名]	読み書き時に使用されるコミュニティ名を設定します。 範囲： 半角 15 文字以下 初期値： [private]

項目		説明
[SNMP v3]	[コンテキスト名]	コンテキスト名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
	[開示]	検出用ユーザー名を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効]
	[開示ユーザー名]	検出用ユーザー名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： [public]
	[リードユーザー名]	読み取り専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： [initial]  開示ユーザー名とは別の名前を設定してください。
	[リードセキュリティレベル]	読み取り専用ユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値： [なし]、[認証パスワード]、[認証パスワード / プライバシーパスワード] 初期値： [認証パスワード / プライバシーパスワード]
	[リード認証パスワード]	読み取り専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ~ 32 文字 初期値： [AuthPassword]
	[リードプライバシーパスワード]	プライバシー (暗号) に使用する読み取り専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ~ 32 文字 初期値： [PrivPassword]
	[ライトユーザー名]	読み書き専用ユーザーのユーザー名を設定します。 範囲： 半角 32 文字以下 初期値： [restrict]  開示ユーザー名とは別の名前を設定してください。

項目	説明
[SNMP v3]	[ライトセキュリティレベル] 読み書き専用ユーザーのセキュリティレベルを設定します。 設定値： [なし]、[認証パスワード]、[認証パスワード / プライバシーパスワード] 初期値： [認証パスワード / プライバシーパスワード]
	[ライト認証パスワード] 読み書き専用ユーザーの認証パスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： <Mac address> (コロンは含まない)
	[ライトプライバシーパスワード] プライバシー (暗号化) に使用される読み書き専用ユーザーのプライバシーパスワードを設定します。 範囲： 半角 8 ～ 32 文字 初期値： <Mac address> (コロンは含まない)
	[暗号化アルゴリズム] 暗号化アルゴリズムを選択します。 設定値： [DES]、[AES-128] 初期値： [DES]
	[認証方法] 認証方式を選択します。 設定値： [MD-5]、[SHA-1] 初期値： [MD-5]
[TRAP 設定]	[許可設定] TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
	[認証失敗時の TRAP 設定] 認証失敗時に TRAP 機能を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

AppleTalk

[ネットワーク] — [AppleTalk] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[AppleTalk]	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [APPLETALK] — [有効]
[プリンター名]	プリンター名を設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： [LP-S820-xxxxxx]  xxxxxx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
[ゾーン名]	ゾーン名を設定します。 範囲： 半角 31 文字以下 初期値： [*]
[現在のゾーン名]	現在設定されているゾーン名が表示されます。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

電子メール

電子メールの送信

[ネットワーク] — [電子メール] — [電子メールの送信] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[電子メールの送信]	[送信] 電子メールの送信を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [有効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [TCP/IP] — [SMTP] — [有効]
	[SMTPサーバーアドレス*] メール送信サーバーのアドレスを設定します。 IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を設定できます。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値： [0.0.0.0]
	[ポート番号] メール送信サーバーのポート番号を設定します。 範囲： 1 ～ 65535 初期値： [25]
	[接続タイムアウト] メール送信時の接続タイムアウト時間を設定します。 範囲： 30 ～ 300 (秒) 初期値： [60]
SMTP 認証	SMTP 認証 SMTP サーバー認証を有効にするかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]
	アカウント SMTP 認証で使用されるアカウント名を設定します。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値： (空白)
	パスワード SMTP 認証で使用されるパスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値： (空白)
	領域 認証方式が [Digest-MD5] の場合、realm を設定します。 範囲： 半角 255 文字以下 初期値： (空白)
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

SSL/TLS

SSL/TLS 情報

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [SSL/TLS 情報] 画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

 SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。[設定] ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[設定] ボタン	SSL/TLS 設定画面が表示されます。

SSL/TLS 設定（証明書がインストールされていない場合）

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [SSL/TLS 設定] 画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
[証明書の自己作成]	証明書を自己作成します。
[証明書の要求]	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
[証明書のインストール]	認証局が発行した証明書をインストールします。
[次へ] ボタン	選択した画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


SSL/TLS 設定（証明書がインストールされている場合）

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [SSL/TLS 設定] 画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
[SSL/TLS 暗号化強度の設定]	暗号化の強度を設定できます。また、SSL/TLS を無効に設定することもできます。
[証明書の破棄]	証明書を破棄できます。
[SSL/TLS で通信するモード]	SSL で通信するモードを設定します。
[次へ] ボタン	選択した画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

自己作成証明書の設定


[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [自己作成証明書の設定] 画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
[Common Name]	SSL 証明書の作成に使用する、プリンターの共通名が表示されます。共通名は [プリンターのホスト名 .DNS サーバー名] で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、共通名にはプリンターのホスト名のみが使用されます。  この文字列は変更できません。
[Organization]	組織名または団体名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Organization Unit]	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Locality]	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[State/Province]	州名または県名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)

項目	説明
[Country]	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲： 半角 2 文字 初期値： (空白)
[Email Address]	電子メールのアドレスを指定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[有効期間開始日]	現在時刻が表示されます。
[有効期間]	有効期間を設定します。 範囲： 1 ~ 3650 (日) 初期値： [1]
[暗号化の強度]	暗号の強度を選択します。 設定値： <ul style="list-style-type: none"> - [AES_256bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits]、[RC4_128bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits]、[RC4_128bits]、[DES_56bits]、[RC4_40bits] 初期値： [AES_256bits]、[3DES_168bits]、[RC4_128bits]、[DES_56bits]、[RC4_40bits]
[作成] ボタン	自己証明書を作成します。 💡 証明書を作成するために数分かかります。 💡 自己作成証明書が作成された後、以下のメッセージが表示されたときは、[ブロックされたコンテンツを表示]をクリックして、操作を続けてください。 「セキュリティ保護のため、セキュリティ証明書にエラーのあるコンテンツの表示が Internet Explorer によりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください ...」
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の要求

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [証明書の要求] 画面では、以下の項目が設定できます。

項目	説明
[Common Name]	SSL 証明書の作成に使用する、プリンターの共通ネームが表示されます。共通ネームは [プリンターのホスト名 .DNS サーバー名] で構成されています。DNS サーバーが利用できない場合には、共通ネームにはプリンターのホスト名のみが使用されます。  この文字列は変更できません。
[Organization]	組織名または団体名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Organization Unit]	部署名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値： (空白)
[Locality]	市町村名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[State/Province]	州名または県名を設定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[Country]	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲： 半角 2 文字 初期値： (空白)
[Email Address]	電子メールのアドレスを指定します。 範囲： 半角 127 文字以下 初期値： (空白)
[次へ] ボタン	証明書発行のための要求データを作成します。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の要求

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [証明書の要求] 画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
[証明書の要求]	認証機関に提出するためのデータを表示します。このデータは証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）と呼ばれ、ユーザーから認証機関に提出されることとなります。
[保存] ボタン	証明書発行要求用データを、名前を付けて保存します。
[OK] ボタン	SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書のインストール

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [証明書のインストール] 画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
[証明書のインストール]	署名済みの証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）をこのテキストエリアに貼り付けます。
[次へ] ボタン	暗号化の強度の設定画面が表示されます。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


暗号化の強度の設定

 このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [暗号化の強度の設定] 画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
[暗号化の強度]	暗号の強度を設定します。 設定値： - [AES_256bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits]、 [RC4_128bits] - [AES_256bits]、[3DES_168bits]、 [RC4_128bits]、[DES_56bits]、 [RC4_40bits] 初期値： [AES_256bits]、[3DES_168bits]、 [RC4_128bits]、[DES_56bits]、 [RC4_40bits]
[作成] ボタン	暗号化の強度を設定します。[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [証明書のインストール] 画面から移動してきた場合には、証明書をインストールします。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

証明書の破棄

 このメニューは、証明書がインストールされている場合に表示されます。

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [証明書の破棄] 画面では、インストールされている証明書を削除できます。

項目	説明
[OK] ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で [OK] ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。

項目	説明
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。

SSL/TLS で通信するモード


 このメニューは、証明書がインストールされている場合にのみ表示されます。

[ネットワーク] — [SSL/TLS] — [SSL/TLS で通信するモード] 画面では、SSL で通信するモードを設定できます。


項目	説明
[SSL/TLS で通信するモード]	SSL で通信するモードを選択します。 設定値： [無効]、[有効] 初期値： [無効]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリアー] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。
[戻る] ボタン	SSL/TLS 設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、SSL/TLS 情報画面に戻ります。


認証

ユーザー認証

 このメニューは、オプションの増設ストレージ HDD が装着されている場合にのみ表示されます。

[ネットワーク] — [認証] — [ユーザー認証] 画面では、以下の項目を設定できます。

 ユーザー認証画面で、[ユーザー認証] または [部門認証] を [オン] に、[パブリック許可] を [制限] に設定した場合、認証設定可能なホスト (Windows 用プリンタードライバ) 以外からの印刷はできなくなります。また、リソース (フォント、カラープロファイル、フォーム) のダウンロード、ファームウェアのアップデートも行うことができません。

項目	説明
[ユーザー認証]	ユーザー認証を行うかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ]
[パブリック許可]	ユーザー認証有効時に、パブリックユーザーのログインを許可するかどうかを設定します。 設定値： [許可]、[制限] 初期値： [許可]
[部門認証]	部門認証を行うかどうかを設定します。 設定値： [オン]、[オフ] 初期値： [オフ]
[部門認証方法]	部門認証の認証方法を設定します。 設定値： [アカウント名とパスワード]、[パスワードのみ] 初期値： [アカウント名とパスワード]  部門認証方法を [アカウント名とパスワード] から [パスワードのみ] に変更した場合、登録してある部門情報はクリアされます。
[ユーザー認証 / 部門認証連動]	ユーザー認証と部門認証を連動させるかどうかを設定します。 設定値： [連動する]、[連動しない] 初期値： [連動する]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

オートログアウト



[ネットワーク] — [認証] — [オートログアウト] 画面では、以下の項目を設定できます。


項目	説明
[管理者モードログアウト時間]	管理者モードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： 1 – 60 (Minutes) 初期値： [10]
[ユーザーモードログアウト時間]	ユーザーモードのログインタイムアウトを設定します。 範囲： 1 – 60 (Minutes) 初期値： [60]
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

IEEE802.1x

[ネットワーク] — [認証] — [IEEE802.1x] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[IEEE802.1x]	IEEE802.1x を使用するかどうかを設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効] 同機能のプリンター操作パネルのメニュー： [インターフェイスメニュー] — [イーサネット] — [IEEE802.1x] — [有効]
[EAP タイプ]	IEEE802.1x で使用する認証方式を指定します。 設定値： [なし]、[EAP-MD5]、[EAP-TLS]、 [EAP-TTLS]、[PEAP]、[サーバーの規格 に従う] 初期値： [なし]
[ユーザー ID]	EAP タイプを [EAP-MD5]、[EAP-TLS]、 [EAP-TTLS]、[PEAP] または [サーバーの規格に 従う] に設定した場合、ユーザー ID を設定しま す。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値： (空白)


項目	説明
[パスワード]	EAP タイプを [EAP-MD5]、[EAP-TTLS]、[PEAP] または [サーバーの規格に従う] に設定した場合、パスワードを設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値： (空白)
[TTLS 匿名]	[EAP] - [TTLS 一次認証] で使用するログイン名を設定します。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [サーバーの規格に従う] に設定した場合に設定します。 範囲： 半角 128 文字以下 初期値： [anonymous]  EAP タイプが [サーバーの規格に従う] で実際の認証方式が EAP-MD5 の場合、ユーザー ID と同じ値を入力してください。
[TTLS 認証タイプ]	[EAP] - [TTLS] の phase2 認証手順を指定します。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [サーバーの規格に従う] に設定した場合に設定します。 設定値： [PAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2] 初期値： [MS-CHAPv2]
[サーバー証明書検証]	サーバー証明書の検証を行うかどうかを設定します。EAP タイプを [EAP-TLS]、[EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。 設定値： [有効期間]、[CA チェイン]、[サーバー ID] 初期値： [有効期間]
[クライアント証明書送信]	サーバーからクライアント証明書を要求された場合に、クライアント証明書を送付するかどうかを設定します。EAP タイプを [EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。 設定値： [有効]、[無効] 初期値： [無効]
[クライアント証明書]	クライアント証明書がインストールされているかどうかが表示されます。  証明書のインストールは [ネットワーク] - [SSL/TLS] 画面で行います。

項目	説明
[CA 証明書]	<p>サーバー証明書の CA 信頼性検証に使用される CA 証明書がインストールされているかどうかが表示されます。</p> <p> 証明書のインストールは [ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] 画面で行います。</p>
[サーバー ID]	<p>サーバー証明書の CN アトリビュート値と後方一致で検証させるための文字列を設定します。EAP タイプを [EAP-TLS]、[EAP-TTLS] または [PEAP] に設定した場合に設定します。</p> <p>範囲： 半角 64 文字以下 初期値： (空白)</p>
[暗号化の強度]	<p>EAP-TLS/TTLS/PEAP での TLS パケットの暗号化強度を設定します。</p> <p>設定値： [下部]、[中間]、[上部] 初期値： [下部]</p>
[ネットワーク停止までの時間]	<p>認証が成功しない場合の、認証開始からネットワーク停止までの猶予時間を設定します。[0] に設定すると、認証が成功しない場合でも、ネットワークは停止しません。</p> <p>範囲： 0、60 ~ 255 (秒) 初期値： [0]</p>
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットします。

CA 証明書

CA 証明書情報

[ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] — [CA 証明書情報] 画面では、CA 証明書の情報を確認することができます。

 初期状態では、CA 証明書はインストールされていません。証明書をインストールする場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。

項目	説明
[設定] ボタン	CA 証明書設定画面が表示されます。

CA 証明書設定（証明書がインストールされている場合）

[ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] — [CA 証明書設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[証明書の破棄]	証明書を破棄します。
[次へ] ボタン	選択した設定画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、証明書情報画面に戻ります。

CA 証明書設定（証明書がインストールされていない場合）

[ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] — [CA 証明書設定] 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
[証明書のインストール]	認証局で発行された証明書をインストールします。
[次へ] ボタン	選択した設定画面が表示されます。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、証明書情報画面に戻ります。

証明書のインストール

[ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] — [証明書のインストール] 画面では、認証局で発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
[証明書のインストール]	認証局から送付されてきたテキスト形式の CSR（証明書署名要求）を画面に貼り付けてインストールします。
[次へ] ボタン	証明書が有効な場合、証明書情報画面に戻ります。証明書が無効な場合、証明書エラー画面が表示されます。
[戻る] ボタン	CA 証明書設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	この画面で行った設定変更をリセットして、CA 証明書情報画面に戻ります。

証明書の破棄

[ネットワーク] — [認証] — [CA 証明書] — [証明書の破棄] 画面では、インストールされた証明書を破棄することができます。

項目	説明
[OK] ボタン	確認画面が表示されます。確認画面で [OK] をクリックすると、証明書が破棄されます。
[戻る] ボタン	CA 証明書設定画面に戻ります。
[キャンセル] ボタン	CA 証明書情報画面に戻ります。